SONY®

3-068-331-**02** (1)

デジタルビデオカメラレコーダー

Mini DV Digital Video Cassette

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Digital Handycam

DCR-PC9

必ずお読みください

お使いになる前に

別売りのアクセサリーキットについて
本機をお使いになるには、別売りのアクセサリーキットが必要です。
お持ちでない場合は、お買い求めください。
詳しい内容については、アクセサリーキットの取扱説明書をご覧ください。

CM カセットメモリー付きのミニDVカセットをおすすめします
本機はDV方式のビデオカメラレコーダーです。ミニDVカセットでのみご使用になれます。本機ではカセットメモリー付きのミニDVカセットを推奨しています。

カセットメモリーの有無により操作方法の違う機能
エンドサーチ（26ページ）
日付サーチ（61ページ）
フォトサーチ（63ページ）

カセットメモリー付きカセットでのみできる機能
「タイトル場面を頭出しする－タイトルサーチ」（59ページ）
「タイトルを入れる」（89ページ）
「カセットに名前を付ける－カセットラベル」（95ページ）
詳しくは162ページをご覧ください。

カセットメモリー付きカセットでのみできる機能には、説明の前に左のマークが付いています。

カセットメモリー付きミニDVカセットにはCMマークが付いています。

ためし撮り
必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません。
万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がなされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

著作権について
あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

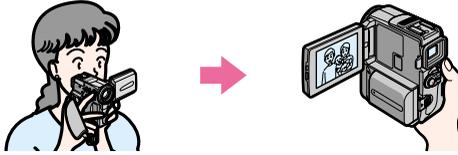
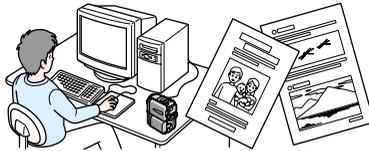
液晶画面、ファインダー（搭載機種のみ）およびレンズについて
・液晶画面やファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されませんのでご安心してお使いください。
・液晶画面やファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
・直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できます。

本書内の写真について
液晶画面やファインダーの映像を説明するのに、スチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

カール ツァイスレンズ搭載
本機はカール ツァイスレンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスとソニーで共同開発した、MTF*測定システムを用いてその品質を管理され、カール ツァイスレンズとしての品質を維持しています。

*Modulation（モジュレーション） Transfer（トランスファー） Function（ファンクション）の略。
被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値。

こんなことができます

動画や静止画を撮影して、再生できます。

画像をパソコンに取り込めます。

さらにこんなことができます

明るさが気になるときの撮影
- 逆光補正（23ページ）
- NIGHTSHOT/SUPER NIGHTSHOT（24ページ）
- プログラム AE（42ページ）
- ホワイトバランス（44ページ）
- 明るさ調節（45ページ）
- フレキシブルスポット測光（47ページ）

インパクトのある画像を作るための機能
- デジタルズーム［メニュー］（98ページ）
  お買い上げ時の設定は「切」になっています。（10倍を超えるズームを使うにはメニューで「デジタルズーム」の倍率を選択してください。）
- フェーダー（37ページ）
- ピクチャーエフェクト（39ページ）
- デジタルエフェクト（40ページ）
- デジタルプログラムエディット（68ページ）
- タイトル（89ページ）
- メモリーミックス（123ページ）

さりげなく自然な画像にするための機能
- 手動ピント合わせ（48ページ）
- スポーツレッスン（42ページ）
- 風景（42ページ）

撮影し終わったテープで行う機能
- エンドサーチ（26ページ）
- エディットサーチ（27ページ）
- レックレビュー（27ページ）
- データコード（30ページ）
- フォトサーチ（63ページ）
- フォトスキャン（65ページ）
- 再生ズーム（57ページ）
- ゼロセットメモリー（58ページ）
- タイトルサーチ（59ページ）

目次

編集する

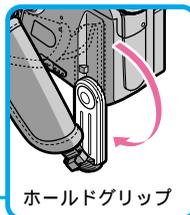
お買い上げ時の設定を変える

“メモリースティック”を使う

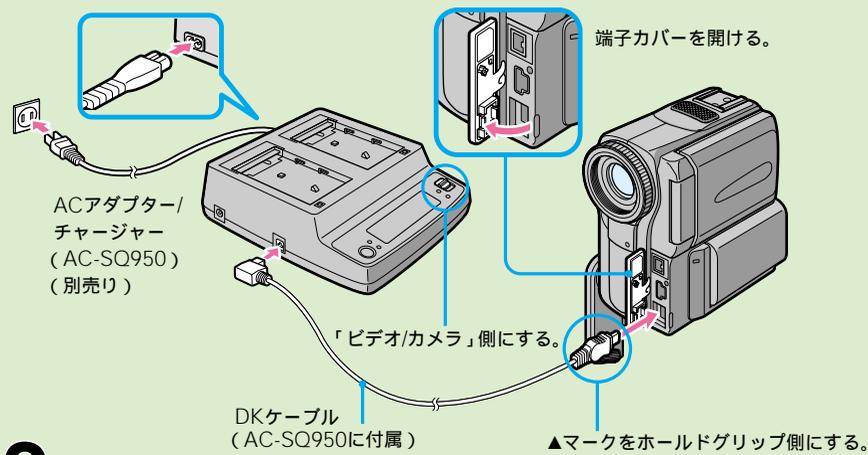
故障かな？と思ったら

その他

検索する

とにかく撮って見る

ここでは本機の使い方を簡単に説明します。詳しくは（　）内のページをご覧ください。
図のようにホールドグリップを下げて、グリップベルトに手を通してお持ちください。

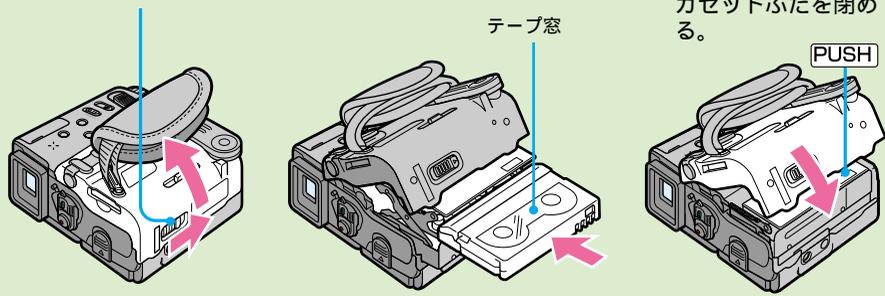
1 電源をつなぐ（12ページ）

屋外ではバッテリーを使います →11ページ

2 カセットを入れる（15ページ）

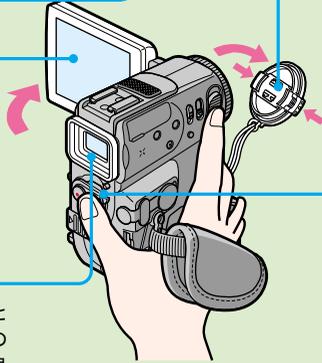
❶ **開く/⏏カセット取出しつまみを矢印の方向へずらしてから、カセットぶたを開ける。**

❷ **カセットの背の中央部を押して、テープ窓を上にして入れる。**

テープ窓

❸ **PUSH マークを押して、カセット入れを閉める。**
カセット入れが完全に引き込まれたら、カセットぶたを閉める。

3 撮影する（18ページ）

❶ レンズキャップをはずす。

❷ OPENボタンを押しながら液晶画面を開ける。

ファインダー
液晶画面を閉じているときは、ファインダーをのばし、ここから画像を見ます。

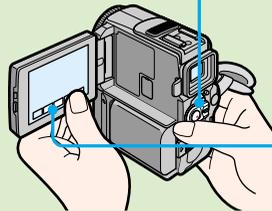
お買い上げ時には日付・時刻の設定はされていません。撮影する前に日付・時刻を合わせてください。（13ページ）

❸ 緑のボタンを押しながら「カメラ」にする。

❹ スタート／ストップボタンを押す。
撮影が始まる。

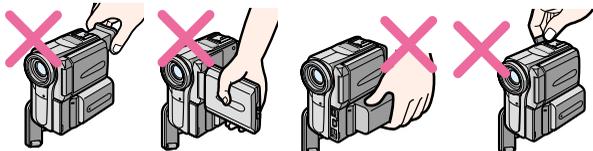
もう1度押すと止まる。

4 液晶画面で見る（28ページ）

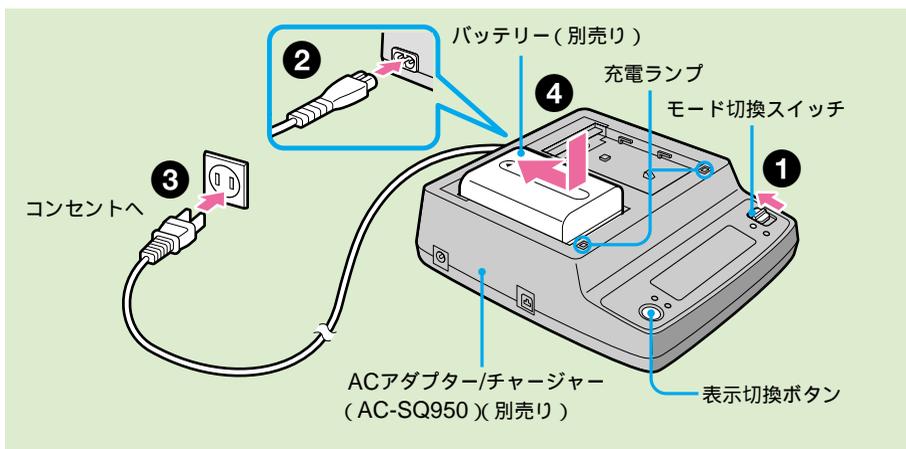
❶ 緑のボタンを押しながら「ビデオ」にする。

❷ タッチパネルの ◀◀ 巻戻しボタンを押してテープを巻き戻す。

❸ ▶ II 再生ボタンを押すとテープが再生される。

ご注意
タッチパネルを使うときは、液晶画面の裏側をささえながら親指で軽く押してください。ペンなどの先の尖ったもので押さないでください。

ご注意
ファインダーや液晶画面、バッテリー、端子カバーをつかんで、本機を持ち上げないでください。

準備1　電源を準備する

バッテリーを充電する

ACアダプター／チャージャー（別売り）の取扱説明書もあわせてご覧ください。
バッテリーは充電してからお使いください。
本機の電源には、別売りの“インフォリチウム”バッテリー（Mシリーズ）を使用します。それ以外のバッテリーはお使いになれません。
“インフォリチウム”バッテリーについて、詳しくは164ページをご覧ください。

ご注意

充電する場合はACアダプター/チャージャーのモード切換スイッチを「充電」側にしてください。「ビデオ/カメラ」側にしていると充電できません。

充電中の表示窓の表示
以下の場合、充電異常を表示、または充電ランプが点滅することがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられていない。
- バッテリーが故障している。

ACアダプター/チャージャーは
コンセントの近くでお使いください。
本機をご使用中に不具合が生じた時はすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。

❶ モード切換スイッチを「充電」にする。

❷ 電源コードをつなぐ。

❸ コンセントにつなぐ。

❹ バッテリーを押しながら矢印の方向にずらして取り付ける。

充電が始まると、充電ランプが点灯する。
充電が終わると、表示窓のバッテリーマークがすべて点灯する「▰▰▰」**（実用充電）**。さらに充電ランプが消え、バッテリーマーク「FULL」が表示されるまで充電を続けると、若干長く使える**（満充電）**。

ご注意

- ACアダプター/チャージャーのDKプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプター/チャージャーの表示切換ボタンを押すと使用可能時間と充電終了時間を切り換えることができます。

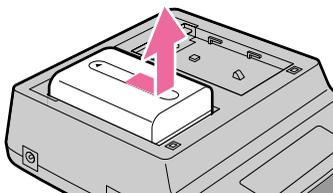
ACアダプター/チャージャーの使用可能時間表示は
ファインダーを使って撮影するときの使用可能時間です。本機の残量時間表示と多少異なる場合がありますが、故障ではありません。

バッテリー残量の表示時間が充分なのに電源がすぐに切れるときは
満充電をすると正しく表示されます。

バッテリーは
室温10℃〜30℃で充電することをおすすめします。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは
“インフォリチウム”バッテリーに対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能を持ったリチウムイオンバッテリーです。本機は“インフォリチウム”バッテリー（Mシリーズ）対応です。それ以外のバッテリーはお使いになれません。“インフォリチウム”バッテリーMシリーズには InfoLITHIUM M SERIES マークがついています。
InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。

海外でも充電できます
詳しくは168ページをご覧ください。

❺ 充電終了後、バッテリーをACアダプター/チャージャーから取りはずす。

充電時間

バッテリー	満充電時間（実用充電時間）
NP-FM50	105（45）
NP-FM70	150（90）
NP-FM90	195（135）
NP-FM91	205（145）
NP-QM70	115（55）
NP-QM91	150（90）

使い切ったバッテリーを25℃で充電したときの時間（約　分）。
NP-QM70/QM91はスーパークイック（SQ）チャージ対応バッテリーです。

スーパークイック（SQ）チャージとは
SQ 及び SQ Super Quick マークのある“インフォリチウム”バッテリーとその対応機器との組み合わせにより実現する、急速充電機能及び電源システムの総称です。従来の急速充電（または通常充電）と比べ、充電時間の大幅な短縮を実現します。

－当社比　急速充電対応システム（AC-VQ850/VQ800，NP-FM91/FM70）と比較した場合
実用充電*比：約40%短縮／満充電比約20%以上短縮

注*「実用充電」での撮影時間／再生時間は満充電時のおよそ90%です。

準備

撮影時間

バッテリー	ファインダーで撮影		液晶画面で撮影	
	連続撮影時*	実撮影時**	連続撮影時*	実撮影時**
NP-FM50	185	100	140	75
NP-FM70/QM70	385	210	295	160
NP-FM90	580	315	450	245
NP-FM91/QM91	670	365	520	285

満充電してからの時間（約　分）。

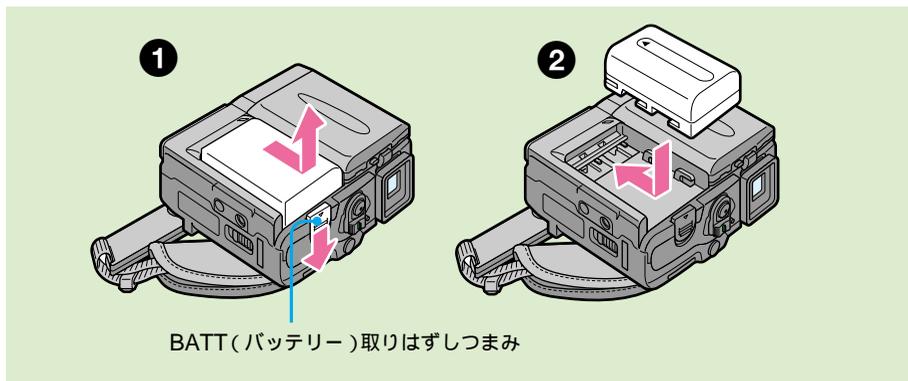
* 25℃で連続撮影したときの時間の目安。低温では使用時間が短くなります。

** 録画、スタンバイ、電源入/切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間の目安。実際にはこれよりも短くなることがあります。

再生時間

バッテリー	液晶画面で再生	液晶画面を閉じて再生
NP-FM50	150	200
NP-FM70/QM70	310	415
NP-FM90	475	630
NP-FM91/QM91	550	725

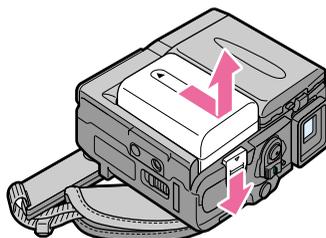
満充電してからの時間（約　分）。
25℃で連続再生したときの時間の目安。低温では使用時間が短くなります。

バッテリーを取り付ける

本機を保管するときは
バッテリー端子カバーを取りつけてください。これはバッテリー端子を保護するためです。

1 **BATT（バッテリー）取りはずしつまみをずらしながら、バッテリー端子カバーを取りはずす。**

2 **バッテリーを押しながら、カチッとロックするまで矢印の方向へずらす。**

本体から取りはずす

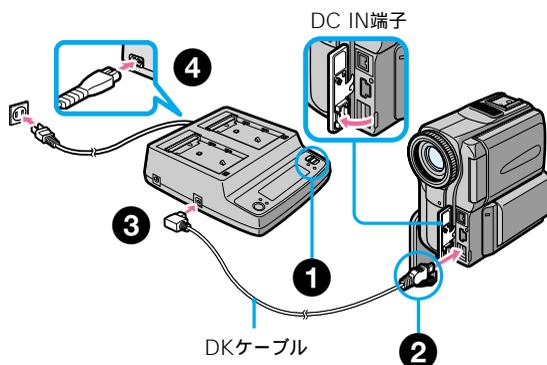
手順1のようにして取りはずす。

コンセントにつないで使う

ご注意

- コンセントにつないで使う場合は、ACアダプター/チャージャーのモード切換スイッチを「ビデオ/カメラ」側にしてください。「充電」側にしていると電源は供給されません。
- バッテリーをつけたままでもお使いいただけます。
- 電源供給はDC IN端子が優先されます。バッテリーで使用するとき、コンセントから電源コードを抜いても、DC IN端子にコードが差し込まれているとバッテリーから電源は供給されません。

自動車の電源では

ACアダプター/チャージャーAC-SQ950をお持ちの場合は、別売りのカーバッテリーコードをお使いください。詳しくは、ACアダプター/チャージャーの取扱説明書をご覧ください。

テープを再生するときなど長時間使用するときは、家庭用のコンセントを使うとバッテリー切れの心配なく使えます。

❶ **ACアダプター/チャージャーのモード切換スイッチを「ビデオ/カメラ」にする。**

❷ **DKケーブルを本機のDC IN端子につなぐ。**

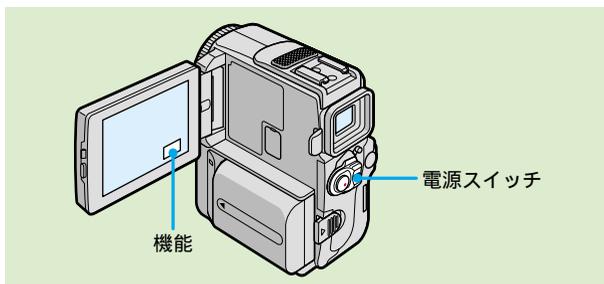
端子カバーを開け、DKケーブルのプラグの▲マークをホールドグリップ側にしてつなぐ。

❸ **DKケーブルをACアダプター/チャージャーにつなぐ。**

❹ **電源コードをACアダプター/チャージャーとコンセントにつなぐ。**

準備2 日付・時刻を合わせる

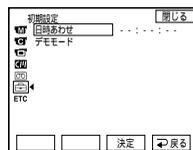
本機をはじめて使うときは、日付・時刻を設定してください。設定しないと電源を入れ、撮影状態にするたびお知らせメッセージが出ます。3ヶ月近く使わなかったときなどに内蔵の充電式ボタン電池が放電して日付・時刻の設定が解除されることがあります。その場合、充電式ボタン電池を充電してから合わせ直してください。（170ページ）

日時を設定しないと
テープと"メモリースティック"のデータコードには「---- -- --」と「--:--:--」が記録されます。

年→月→日→時→分の順で合わせます。

1 電源スイッチを「カメラ」または「メモリー」にする。

2 「機能」を押し、ページ1画面を出す。（16ページ）

3 「メニュー」を押して、メニュー画面を出す。

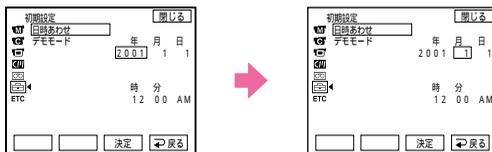
4 「↓」／「↑」を押して「ETC」を選び、「決定」を押す。

5 「↓」／「↑」を押して「日時あわせ」を選び、「決定」を押す。

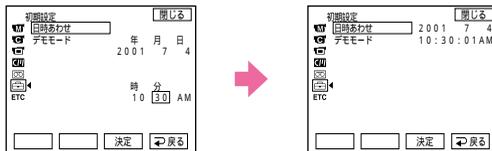
次のページへつづく

準備

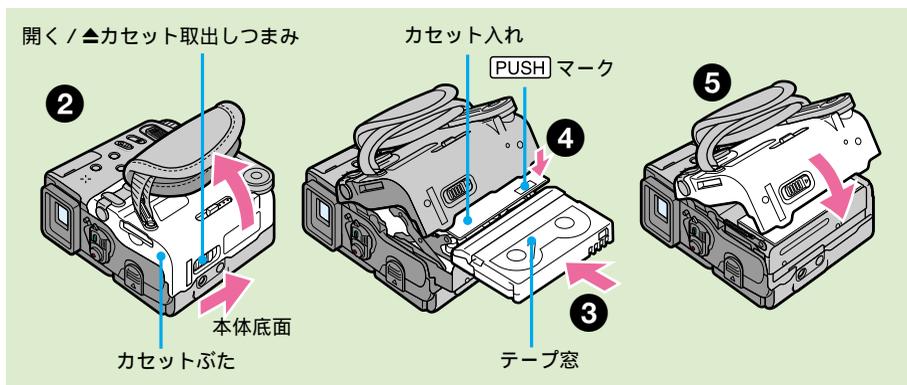
真夜中、正午は
真夜中は12:00:00AM、正午は12:00:00PMと表示します。

❻ **「↓」／「↑」を押して「年」を合わせ、「決定」を押す。**

年表示は次のように変わる。

❼ **手順6と同様に「月」、「日」、「時」、「分」を合わせる。**

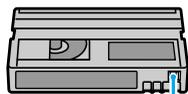
「↓」／「↑」を押して「分」を合わせて時報と同時に「決定」を押す。時計が動き始める。

機能画面に戻す

「閉じる」を押す。

準備3 カセットを入れる

ご注意

カセット入れを無理に押し込まないでください。故障の原因になります。PUSH マーク以外を押しているとカセット入れが閉まらないことがあります。

カセットメモリー付きミニDVカセットをご使用のとき
カセットメモリー機能を正しくお使いいただくために162ページをご覧ください。

間違って消さないために
カセットの背にある誤消去防止ツマミを横にずらし「赤」にします。

❶ バッテリーまたはACアダプター／チャージャーをつなぐ。（8〜12ページ）
ACアダプター／チャージャーのモード切換スイッチは「ビデオ／カメラ」側にする。

❷ 開く／≜カセット取出しつまみを矢印の方向へずらしてから、カセットぶたを開ける。
カセット入れが自動的に出て開く。

❸ カセットの背の中央部を押して、カセットを入れる。
テープ窓を上にして、まっすぐ奥まで押し込む。

❹ PUSH マークを押して、カセット入れを閉める。
カセット入れが自動的に引き込まれる。

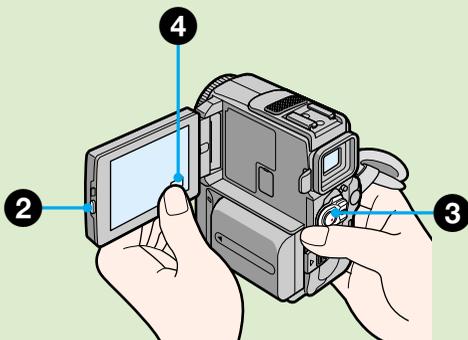
❺ カセット入れが完全に引き込まれたら、カセットぶたを閉める。

カセットを取り出す

「カセットを入れる」の手順で操作し、手順3で取り出す。

準備4 タッチパネルの使い方

本機では、操作に必要なボタンが液晶画面に表示されます。指で直接押して操作します（タッチパネル操作）。ここでは、テープを使った撮影／再生時のタッチパネルの操作のしかたを説明します。

ご注意

- タッチパネルを使うときは、液晶画面の裏側をささえながら親指で押すか、人差し指で軽く押してください。ペンなどの先の尖ったもので押さないでください。
- 液晶画面を必要以上に強く押さないでください。
- ぬれた手で液晶画面に触れないでください。
- 「機能」が表示されていないときは、液晶画面を軽く押すと表示されます。液晶画面の表示は、本体の画面表示／タッチパネルボタンを押して出したり消したりすることができます。
- 押したボタンが動作しないときは調節（キャリブレーション）が必要です。（171ページ）
- 液晶画面が汚れたときは付属のクリーニングクロスをお使いください。

各々の項目が設定されているときは
緑色のバー表示が項目の上に出ます。

選択できないボタンは
グレー表示になります。

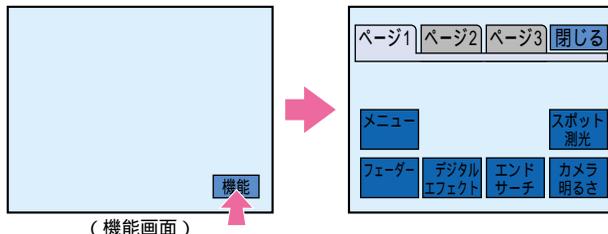
❶ **バッテリーまたはACアダプター／チャージャーをつなぐ。（8～12ページ）**

ACアダプター／チャージャーのモード切換スイッチは「ビデオ／カメラ」側にする。

❷ **OPENボタンを押しながら、液晶画面を開ける。**

❸ **緑のボタンを押しながら電源スイッチを「カメラ」（撮影時）または「ビデオ」（再生時）にする。**

❹ **「機能」を押す。**

操作に必要なボタンが出る。（ページ1画面）

（機能画面）

電源スイッチが
「カメラ」のとき

タッチパネルは
ファインダーを見ながら操作することもできます。
（53ページ）

「機能」を押すと
液晶画面に操作画面が現れます。
［カメラ］ページ1画面のとき
•「メニュー」
•「スポット測光」
•「フェーダー」
•「デジタルエフェクト」
•「エンドサーチ」
•「カメラ明るさ」

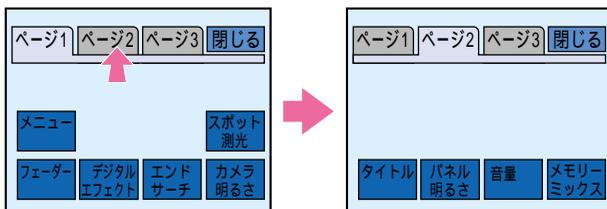
［カメラ］ページ2画面のとき
•「タイトル」
•「パネル明るさ」
•「音量」
•「メモリーミックス」

［カメラ］ページ3画面のとき
•「セルフタイマー」

［ビデオ］ページ1画面のとき
•「メニュー」
•「パネル明るさ」
•「音量」
•「エンドサーチ」

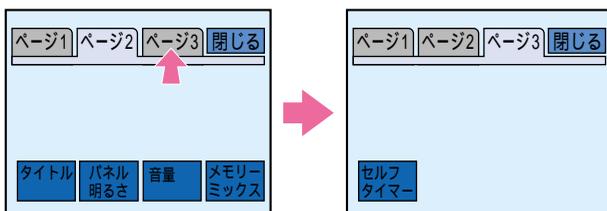
［ビデオ］ページ2画面のとき
•「タイトル」
•「デジタルエフェクト」
•「再生ズーム」

［ビデオ］ページ3画面のとき
•「データコード」
•「変速再生」
•「アフレコそうさ」
•「録画そうさ」

電源スイッチを「メモリー」にしたときは108ページをご覧ください。

❺「ページ2」を押す。

操作に必要なボタンが出る。（ページ2画面）

❻「ページ3」を押す。

操作に必要なボタンが出る。（ページ3画面）

❼希望の項目を押す。

詳しくは各機能の説明をご覧ください。

機能画面に戻す

「閉じる」を押す。

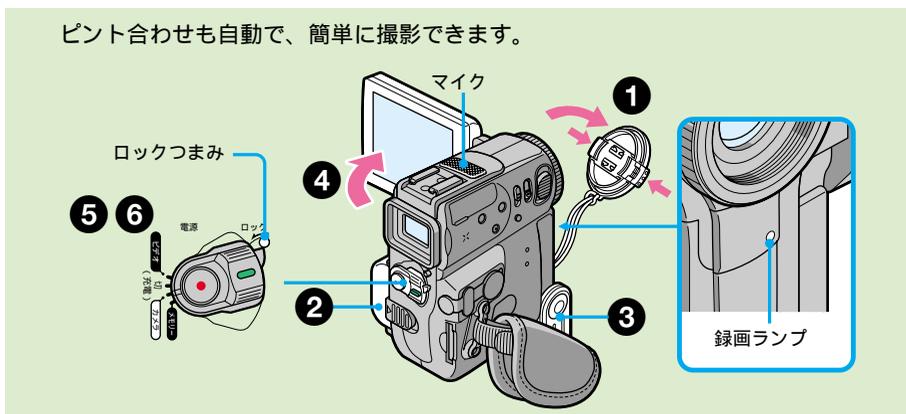
設定を決定する

「⮐決定」を押す。ページ1／ページ2／ページ3画面に戻る。

設定を解除する

「⮐切」を押す。ページ1／ページ2／ページ3画面に戻る。

撮影する

ピント合わせも自動で、簡単に撮影できます。

ご注意

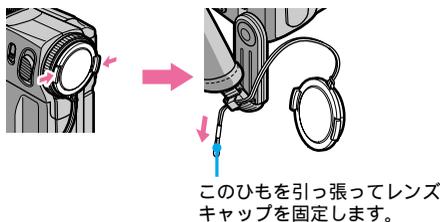
- グリップベルトをしっかりしめてください。
- マイクに手が触れないようにしてください。

長時間録画したいときは
メニューの「録画モード」を「LP」にします（98ページ）。録画時間がSP（標準）モードの1.5倍になります。本機のLPモードで録画したテープは本機で再生することをおすすめします。

きれいなつなぎ撮りのために
カセットを取り出さない限り、電源を切っても撮影した映像はきれいにつながります。また、以下の点にご注意ください。

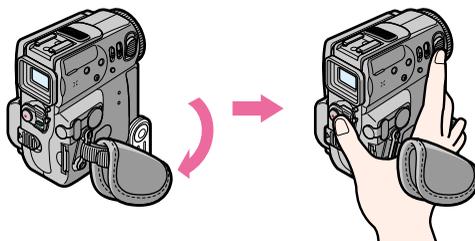
- バッテリーの交換は電源スイッチを「切（充電）」にしてから行う。
- カセットメモリー付きのカセットでは、カセットを取り出した後でもエンドサーチ（26ページ）を使うと、きれいにつながります。

❶ レンズキャップの両側をつまんで取りはずす。

このひもを引っ張ってレンズキャップを固定します。

❷ バッテリーなどの電源を付け、カセットを入れる。

「準備1~3」（8～15ページ）をご覧ください。

❸ ホールドグリップを下げる。

グリップベルトに手を通して本機を握る。

撮影スタンバイが5分以上続くと
自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するためです。再び撮影を始めるには電源スイッチを１度「切（充電）」にしてから、「カメラ」に戻します。ただし、カセットが入っていなければ、撮影スタンバイが5分以上続いても電源は切れません。

次のようなときは
つなぎ撮りの部分で再生画像や音声が乱れたりタイムコードが正しくつながらないことがあります。
- テープの途中で録画モード（SP/LP）を変える。
- LPモードでつなぎ撮りをする。

撮影日時/カメラデータは
画面には出ません。自動でテープ上に記録され、再生時に「データコード」を押せば見ることができます。リモコンも使えます。（30ページ）

液晶画面を使って撮影するときのバッテリーの使用時間は
ファインダーを使っての撮影時間より若干短くなります。

❹ OPENボタンを押しながら液晶画面を開ける。

❺ 緑のボタンを押しながら電源スイッチを「カメラ」にする。

撮影スタンバイになる。

ロックつまみについて

ロックつまみを左側（ロック）にすると、気付かないうちに電源スイッチが「メモリー」になるのを防ぎます。（お買い上げ時は右側（解除）になっています。）

❻ スタート/ストップボタンを押す。

撮影が始まり、「● 録画」の表示が出る。録画ランプが点灯する。もう一度押すと止まる。

撮影が終わったら

1　**電源スイッチを「切（充電）」にする。**

2　**液晶画面を閉じて、ホールドグリップを元の位置に戻す。**

3　**カセットを取り出す。**

4　**バッテリーを取りはずす。**

液晶画面を調整する

液晶画面は90°まで開きます。また、レンズの方向に180°まで、ファインダーの方向に90°まで回転し、角度を調節できます。

液晶画面を閉じるときは、液晶画面を垂直にしてから本体に向かって閉じます。

ご注意

液晶画面を開いているときは、ファインダーには画像が映りません。

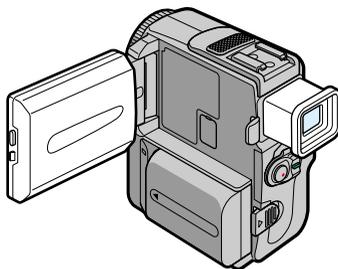
液晶画面は

屋外では日差しの加減で見えにくい場合があります。ファインダーでの撮影をおすすめします。

角度を調節する場合は必ず90°まで 開いた状態で行ってください。

対面撮影する

ファインダーと液晶画面で画像が確認できます。

被写体が画像を自分で確認したいときなどに使用してください。

[撮影中]・[撮影スタンバイ中] または電源スイッチを「メモリー」にしたとき

ファインダーをのばして、液晶画面を180°回転させる。

ファインダーと液晶画面に☺が出ます。

電源スイッチを「カメラ」にしたとき、撮影スタンバイ中には❚❚●、撮影中には●が表示されます。

その他の表示では左右が反転するものもあります。また、表示が出ないものもあります。

対面撮影では

液晶画面に映る画像は鏡のように左右が反転しますが、記録される画像は実際の被写体と同じになります。

対面撮影中は

- リモコンのゼロセットメモリーボタンは働きません。
- ファインダー内の「機能」は反転して見えます。

「機能」を押したときは

ファインダー内と液晶画面に☺は出ません。

液晶バックライトの明るさは
バッテリーを取り付けている場合、メニューの「パネルバックライト」で変えることができます（101ページ）。

パネル明るさ／パネルバックライトは
調節してもテープ上に記録される画像に変化はありません。

液晶画面の明るさを調節する

❶ ［撮影中］・［撮影スタンバイ中］または電源スイッチを「メモリー」にしたとき
「機能」を押し、「ページ2」を押してページ2画面を出す。
［再生中］・［再生一時停止中］のとき
「機能」を押し、ページ1画面を出す。（16ページ）

❷ **「パネル明るさ」を押す。**
パネル明るさ画面が出る。

❸ **「－」／「＋」を押して明るさを調節する。**
－：暗くするとき
＋：明るくするとき

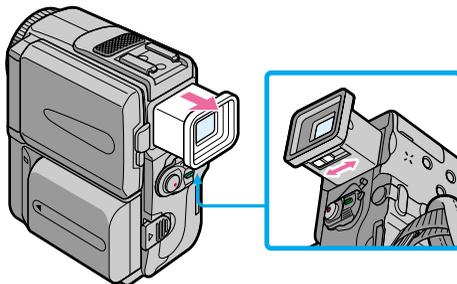
バー表示

❹ **「決定」を押す。**
ページ1/ページ2画面に戻る。

機能画面に戻す
「閉じる」を押す。

ファインダーの視度を調節する

液晶画面を閉じて撮影するときは、ファインダーで画像を見ます。自分の視力に合わせてファインダー内の文字がはっきり見えるように、調節します。

ファインダーをのばして、視度調節つまみを動かす。

［撮影中］・［撮影スタンバイ中］または電源スイッチを「メモリー」にしたとき液晶画面を外側に向けて閉じると、ファインダーを見ながら液晶画面を押して画面上のボタンを操作することができます。（53ページ）

ファインダーのバックライトの明るさは
バッテリーを取り付けている場合、メニューの「VFバックライト」で明るさを変えることができます。（101ページ）

VFバックライトは
調節してもテープ上に記録される画像に変化はありません。

ズームする

ズームレバーを動かす。

10倍を超えるズームはデジタルズームになります。
デジタルズームを使うには、メニューで「デジタルズーム」の倍率を選択してください。（98ページ）

このラインよりT側がデジタルズームになります。メニューで「デジタルズーム」の倍率を選ぶと表示されます。

近くのものにピントがうまく合わないときは
ズームレバーをW側に動かして広角にします。ピントが合うのに必要な被写体との距離は、W側では約1cm以上、T側では約80cm以上です。

デジタルズームを使うと
- ズーム倍率は20倍または120倍までになります。
- 画像をデジタル処理するため画質が低下します。

電源スイッチを「メモリー」にすると
デジタルズームは使えません。

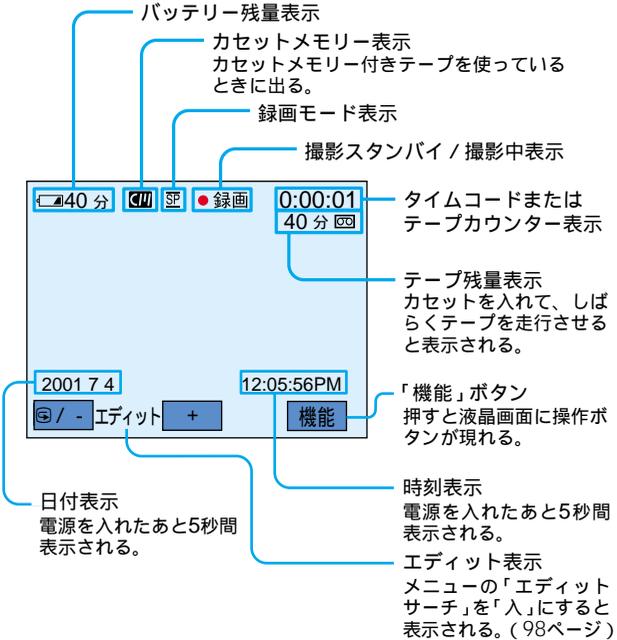
バッテリー残量表示について
連続撮影時間の目安を表示します。使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。液晶画面を開閉したときは、正しい残量時間（分）を表示するのに約1分かかります。

タイムコードについて
テープ走行時間が「0:00:00」（時:分:秒）と出ます。再生中のときには「0:00:00:00」（時:分:秒:フレーム）と出ます。あとからこのタイムコードだけを書き直すことはできません。

テープの残量表示について
テープの種類によっては正しく表示されないことがあります。

撮影日時/カメラデータは
画面には出ません。自動でテープ上に記録され、再生時に「データコード」を押せば見ることができます。リモコンも使えます。（30ページ）

撮影中の表示

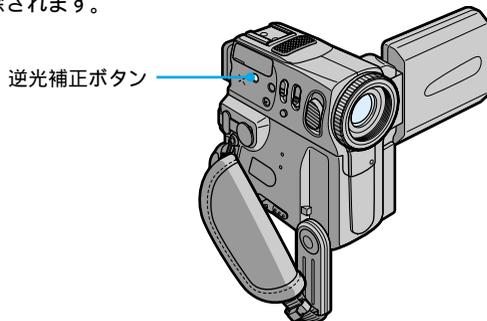
これらの表示はテープには記録されません。

逆光補正をする

逆光補正中に
「カメラ明るさ」の「マニュアル」または「スポット測光」を押すと（45、47ページ）
逆光補正は解除されます。

被写体のうしろに光源があり、被写体が暗く映る時などに明るさの補正をします。

［撮影中］・［撮影スタンバイ中］または電源スイッチを「メモリー」にしたとき

逆光補正ボタンを押す。

逆光補正表示が出ます。逆光補正ボタンをもう一度押すと解除されます。

暗闇で撮るーNIGHTSHOT（ナイトショット）/ SUPER NIGHTSHOT（スーパーナイトショット）

ご注意

- 昼間の屋外の明るいところではお使いにならないでください。故障の原因になります。
- NIGHTSHOTで撮影中の画像は、正しい色が表現されません。
- NIGHTSHOT時、オートフォーカスが合いにくい時は、マニュアルフォーカスをご使用ください。
- NIGHTSHOTで撮影中は、指などで赤外線発光部をかくさないでください。

NIGHTSHOT中は以下の操作ができません
- カメラ明るさ
- フレキシブルスポット測光
- プログラムAE
- ホワイトバランス

夜間に動植物を観察するときやキャンプなど、暗い場所で撮影できます。

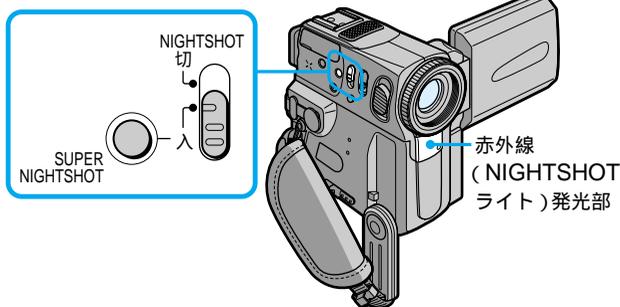
［撮影中］・［撮影スタンバイ中］または電源スイッチを「メモリー」にしたとき

NIGHTSHOT**スイッチを「入」にする。**

NIGHTSHOT表示◉と“ NIGHTSHOT ”が点滅します。
NIGHTSHOTスイッチを「切」にすると解除されます。

SUPER NIGHTSHOT時のシャッタースピードは
明るさによって自動的に変わります。このとき画像の動きは遅くなります。

SUPER NIGHTSHOT中は以下の機能が働きません
- フェーダー
- デジタルエフェクト
- プログラムAE
- ホワイトバランス
- カメラ明るさ
- フレキシブルスポット測光

電源スイッチを「メモリー」にすると
SUPER NIGHTSHOTは働きません。

SUPER NIGHTSHOT（スーパーナイトショット）を使う

SUPER NIGHTSHOTボタンを使うと、NIGHTSHOTの最大16倍の感度で被写体を明るく撮影できます。

1 ［撮影中］・［撮影スタンバイ中］に NIGHTSHOT**スイッチを「入」にする。**

◉表示と“ NIGHTSHOT ”が点滅します。

2 SUPER NIGHTSHOT**ボタンを押す。**

S◉表示と“ SUPER NIGHTSHOT ”表示が点滅します。

SUPER NIGHTSHOT**ボタンをもう一度押すと解除されます。**

NIGHTSHOTライトは
赤外線のため、目には見えません。ライトの届く範囲は約3mです。

NIGHTSHOTライトを使う

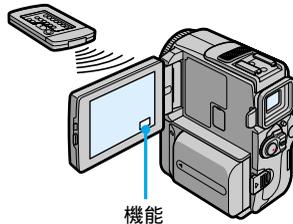
NIGHTSHOTライトを使うと画像がよりはっきりします。メニューで「N.S.ライト」を「入」にします。（98ページ）

セルフタイマー撮影

ご注意

次の場合、セルフタイマーは自動的に解除されます。
- セルフタイマー撮影を実行したあと。
- 電源スイッチを「切（充電）」または「ビデオ」にしたとき。

電源スイッチを「メモリー」にしたときでも
セルフタイマー撮影ができます。（117ページ）

セルフタイマーを使用すると、10秒後に自動的に撮影が始まります。リモコンも使えます。

❶ ［撮影スタンバイ中］に
「機能」を押し、「ページ3」を押してページ3画面を出す。（16ページ）

❷ **「セルフタイマー」を押す。**
セルフタイマー表示が出る。

❸ **スタート／ストップボタンを押す。**
セルフタイマーの秒読みが始まる。秒読み中はブザー音が鳴り、2秒前にブザー音が速くなる。ボタンを押してから10秒後に、自動的に撮影が始まる。

秒読みを停止するとき

スタート／ストップボタンを押す。再開するにはもう一度押す。

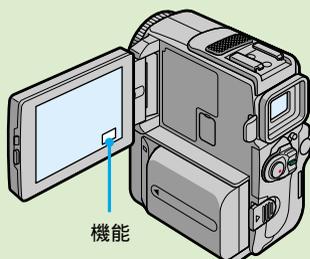
セルフタイマーで静止画を撮るとき

手順3でフォトボタンを押す。（33ページ）

セルフタイマーを止めるとき

撮影スタンバイ中にもう1度「セルフタイマー」を押して、セルフタイマー表示を消す。

次の撮影開始点を探す
－エンドサーチ/エディットサーチ/レックレビュー

撮った画面が気になるときや、最後に撮影した画面からつなぎ撮りしたいときに使います。

エンドサーチは
カセットメモリーの付いていないカセットでは、一度取り出すと働きません。カセットメモリー付きのカセットを使えば、カセットを一度取り出してもエンドサーチは働きます。

テープの途中に無記録部分があると
エンドサーチが正しく働かない場合があります。

エンドサーチ

最後に撮影した終わりの部分に戻ります。

❶ [撮影スタンバイ中]に
「機能」を押し、ページ1画面を出す。
(16ページ)

❷ **「エンドサーチ」を押す。**
最後に撮影した終わりの約5秒間が再生され、撮影スタンバイに戻る。
スピーカーまたはヘッドホンで音も確認できる。

機能画面に戻す

「閉じる」を押す。

サーチを止める

もう一度「エンドサーチ」を押す。

エディットサーチ

次の撮影開始点を探します。

❶ [撮影スタンバイ中]に
「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❷ **メニューで の項目の「エディットサーチ」を「入」にする。（98ページ）**

「 ／－」/「＋」を押し続ける。 画像が再生される。

＋：場面を進める

** ／－：場面を戻す**

指を離したところが、次の撮影開始点になる。音は出ない。

レックレビュー

最後の場面を確認します。

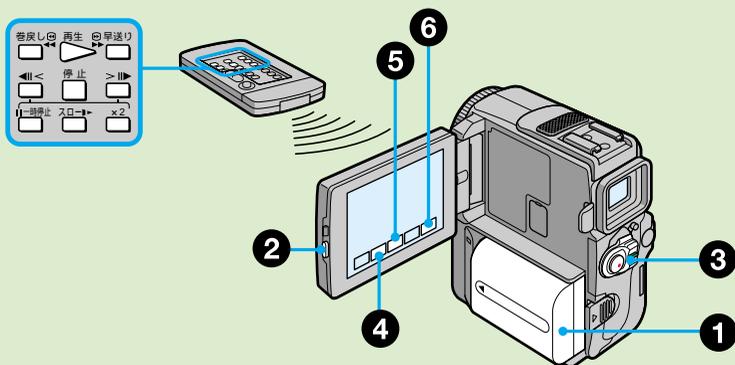
[撮影スタンバイ中] に

** ／－をポンと1回押す。**

テープを停止させた部分が数秒間出て、再び撮影スタンバイに戻る。スピーカーまたはヘッドホンで音も確認できる。

撮る

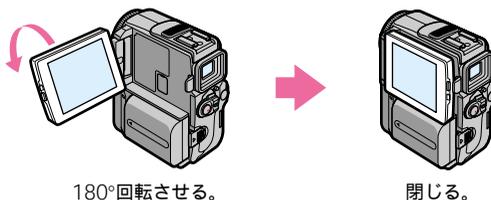
再生する

撮影した映像を液晶画面で見ます。液晶画面を閉じると、ファインダーで見ることもできます。
リモコンでも操作できます。

長時間電源を入れたままにしておくと
本体があたたかくなりますが故障ではありません。

液晶画面を開けたり閉じたりするときは
液晶画面を必ず垂直にしてから行ってください。

❶ バッテリーなどの電源を付け、再生したいカセットを入れる。

❷ OPENボタンを押して、液晶画面を開ける。

液晶画面を外側に向けて本体に閉じることもできます。

180°回転させる。　　閉じる。

❸ 緑のボタンを押しながら、電源スイッチを「ビデオ」にする。

❹ ⏪ 巻戻しボタンを押す。

巻き戻しが始まる。

❺ ▶ II 再生ボタンを押す。

画像が映る。

❻ 音量を調節する。

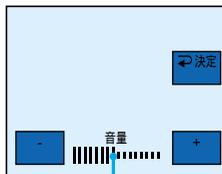
1 「機能」を押し、ページ1画面を出す。（16ページ）

2 「音量」を押す。

音量画面が出る。

3 「－」／「＋」を押して音量を調節する。

－：小さくするとき

＋：大きくするとき

バー表示

❼ 「↩決定」を押す。

ページ1画面に戻る。

機能画面に戻す

「閉じる」を押す。

再生を止める

■停止ボタンを押す。

カメラデータとは
撮影したときのビデオカメラの設定の情報です。撮影中は表示されません。

次のときは、「-- -- --」を表示します。
- 無記録部分
- テープの傷やノイズなどでデータコードを読み取れない
- 日付・時刻を設定しないで撮影したテープ

データコードは
本機をテレビにつなぐと、テレビ画面にも出ます。

再生中のバッテリー残量表示について
連続再生時間の目安を表示します。使用状況や環境によっては正しく表示されない場合があります。液晶画面を開閉したときは、正しい残量時間（分）を表示するのに約1分かかります。

テープカウンターなどの表示を出す – 画面表示機能

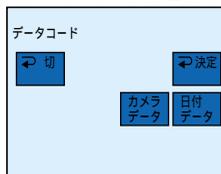
本機の画面表示／タッチパネルボタンまたはリモコンの画面表示ボタンを押す。

液晶画面の表示が消える。
出すときはもう1度押す。

データコードについて

本機は撮影時の日付・時刻およびカメラデータを自動的に画像とは別にテープに記録しています（データコード機能）。
データコードを表示させるにはタッチパネルまたはリモコンを使って以下の操作をおこないます。

タッチパネルで操作する

① ［再生中］に「機能」を押し、「ページ3」を押す。
②「データコード」を押す。

③「カメラデータ」または「日付データ」を選び、「決定」を押す。
④「閉じる」を押す。

リモコンで操作する

［再生中］にリモコンのデータコードボタンを押す。
押すたびに次のように表示が変わります。
「日付データの表示」→「カメラデータの表示」→（表示なし）

カメラデータを表示させないようにするときは
メニューの「データコード」で「日付データ」を選ぶ。（98ページ）
リモコンのデータコードボタンを押すたびに次のように表示が変ります。
「日付データの表示」↔（表示なし）

ボタンのマークについて

本体とリモコンではボタンのマークが異なります。

本体のマーク：

►II	再生/一時停止
■	停止
◄◄	巻戻し
►►	早送り
I►	スロー
>II►	コマ送り
◄II<	コマ送り（逆方向）
×2	倍速再生

リモコンのマーク：

►	再生
II	一時停止
◄◄	巻戻し
►►	早送り
I►	スロー
>II►	コマ送り
◄II<	コマ送り（逆方向）
×2	倍速再生

変速再生中は

- 音声は出ません。
- 前の映像がモザイク状に残ることがあります。

一時停止（静止画）について

5分以上続くと自動的に停止状態になります。再生するときは、►II/►再生ボタンを押します。

スロー再生について

本機にはスロー画像もなめらかに再生する機能があります。ただし i. DV端子から出力される画像にはこの機能は働きません。

逆方向再生について

画面の上下や、中央に横縞が入ることがありますが、故障ではありません。

いろいろな再生

電源スイッチが「ビデオ」のときに操作します。

タッチパネルで操作するとき

①「機能」を押し、「ページ3」を押してページ3画面を出す。
②「変速再生」を押す。

一時停止する（静止画を見る）

［再生中］に ►II/II一時停止ボタンを押す。
もう1度押すとふつうの再生に戻る。

早送りする

［停止中］に ►►/►►早送りボタンを押す。
►II/►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

巻き戻す

［停止中］に ◄◄/◄◄巻戻しボタンを押す。
►II/►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

逆方向に再生する

［再生中］に◄II</◄II<コマ送りボタンを押す。
►II/II再生/一時停止ボタンを押すと一時停止し、►II/►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

画像を見ながら早送り/巻き戻しする（ピクチャーサーチ）

［再生中］に ►►/►►早送り/ ◄◄/◄◄巻戻しボタンを押し続ける。
離すと、ふつうの再生に戻る。

早送り/巻き戻し中に画像を見る（高速アクセス）

［早送り中］または［巻き戻し中］に ►►/►►早送り／ ◄◄/◄◄巻戻しボタンを押し続ける。
離すと、早送りまたは巻き戻しに戻る。

スロー画を見る

［再生中］にI►/I►スローボタンを押す。
逆方向にスロー再生するときは、◄II</◄II<コマ送りボタンを押してからI►/I►スローボタンを押す。
►II/II再生/一時停止ボタンを押すと一時停止し、►II/►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

2倍速で見る（倍速再生）

［再生中］に×2/×2ボタンを押す。
逆方向に倍速再生するときは、◄II</◄II<ボタンを押してから×2/×2ボタンを押す。
►II/II再生/一時停止ボタンを押すと一時停止し、►II/►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

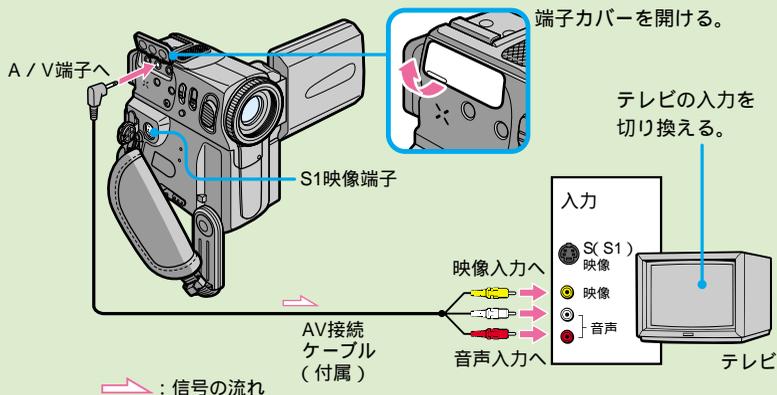
コマ送りで見る

［再生一時停止中］に>II►/>II►ボタンを押す。
逆方向にコマ送りするときは、◄II</◄II<コマ送り（逆方向）ボタンを押す。
►II/►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

最後に撮影した部分を探す（エンドサーチ）

［停止中］に「エンドサーチ」（ページ1画面）を押す。
最後に撮影した終わりの部分を約5秒間再生して止まる。

テレビで見る

撮影したテープなどをテレビで見るときは、本機を付属のAV接続ケーブルでつなぎます。再生のしかたは液晶画面で見るときと同じです。
電源は別売りのACアダプター／チャージャーを使って、コンセントからとることをおすすめします（12ページ）。接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

別売りのS映像ケーブルを使うと
再生画像がより忠実に再現できます。テレビにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色い端子（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルで本機のS1映像端子とテレビのS（S1）映像端子を接続することをおすすめします。
DV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

テレビ画面にカウンターなどの表示を出すには
メニューで「画面表示」を「ビデオ出力／パネル」にし（98ページ）、画面表示／タッチパネルボタンを押します。
消すときはもう１度押します。

すでにテレビにビデオがつながっているとき

本機をビデオの外部入力端子につなぐ。
ビデオの入力切り換えスイッチは「外部入力（ライン）」にしてください。

音声入力端子がひとつ（モノラル）のテレビにつなぐとき

AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぐ。
音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が聞こえます。
モノラル音声で聞くときは別売りの接続ケーブルをお使いください。

テープに静止画を撮る – テープフォト撮影

テープに静止画を記録できます。SPモードで60分記録できるテープならSPモードで約510枚、LPモードで約765枚撮れます。本機では“ メモリースティック ”にも静止画を記録できます。（115ページ）

- ビデオプリンターでプリントしたいとき
- 後からテレビやモニターで見たいとき

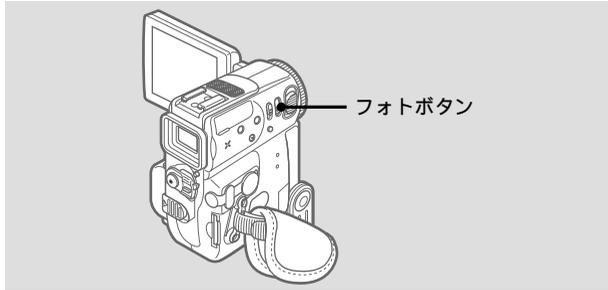
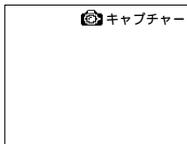
ご注意

- テープフォト撮影中はモードや設定を変更することはできません。
- 静止画を撮影するときは、本機を振らないでください。画像が乱れることがあります。
- 以下の設定中や操作中は、テープフォト撮影できません。
  – フェーダー
  – デジタルエフェクト

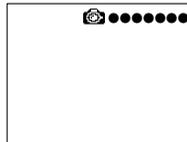
動きのある画像をテープフォト撮影すると
他の機器で再生したときに画像がぶれることがありますが、故障ではありません。

リモコンのフォトボタンで撮影すると
押したときに映っている画像が記録されます。

カメラ録画中にテープフォト撮影するときは
フォトボタンを軽く押して画像を確認することはできません。フォトボタンを深く押してください。約7秒間静止画を記録したあと、撮影スタンバイに戻ります。

ブレの少ない、美しい静止画を撮影するには
“ メモリースティック ”を使った「メモリーフォト撮影」をおすすめします。

1 ［撮影スタンバイ中］に
フォトボタンを軽く押したまま画像を確認する。

画像が静止画になり、キャプチャー表示が出る。
このとき録画はされません。

画像を選びなおすときはフォトボタンを離してからもう1度軽く押す。

2 **フォトボタンを深く押す。**

録画中は1秒ごとに赤い丸が消えていく。

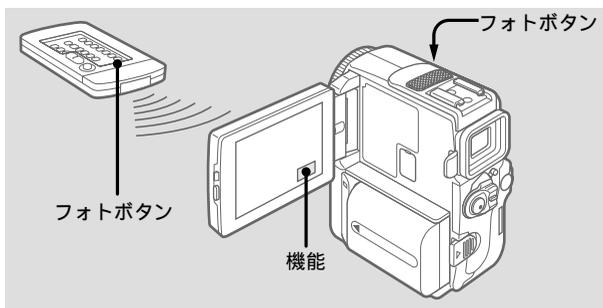
ボタンを押し込んだときの画像が約7秒間静止画で記録される。記録中の音声も同時に録音される。
記録中に映る画像は静止画となります。

次のページへつづく

ご注意

次の場合、セルフタイマーは自動的に解除されます。
- セルフタイマー撮影を実行したあと。
- 電源スイッチを「切（充電）」または「ビデオ」にしたとき。

セルフタイマーテープフォト撮影

セルフタイマーを使って静止画を撮影することができます。リモコンも使えます。

❶ ［撮影スタンバイ中］に
「機能」を押し、「ページ3」を押してページ3画面を出す。

❷ **「セルフタイマー」を押す。**
セルフタイマー表示が出る。

❸ **フォトボタンを深く押す。**
セルフタイマーの秒読みが始まる。秒読み中はブザー音が鳴り、2秒前にブザー音が速くなる。ボタンを押してから10秒後に、自動的に撮影される。

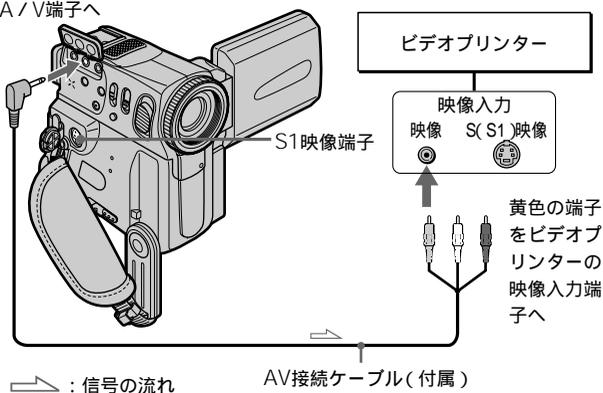
セルフタイマーを止めるとき

撮影スタンバイ中にもう1度「セルフタイマー」を押して、セルフタイマー表示を消す。

リモコンを使って撮影を中断することはできません。

ビデオプリンターにS（S1）映像入力端子がついているときは
別売りのS映像ケーブルでつなぐと、プリント画像がより鮮明になります。

静止画を別売りのビデオプリンターでプリントする

本機と別売りのビデオプリンターを使うとビデオプリンターに画像を取り込みプリントできます。

ビデオプリンターの取扱説明書もあわせてご覧ください。

横長の画面にする – ワイドTVモード

ワイドテレビでご覧になるときに、画面いっぱいに映るように撮影できます。接続するテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ワイドテレビで画面いっぱいに映るようにしたいとき

ワイドTVモードで撮影

液晶画面/ファインダー

通常のテレビで再生

ワイドテレビで再生

画像が縦長になります。

テレビをフルモードに切り換える

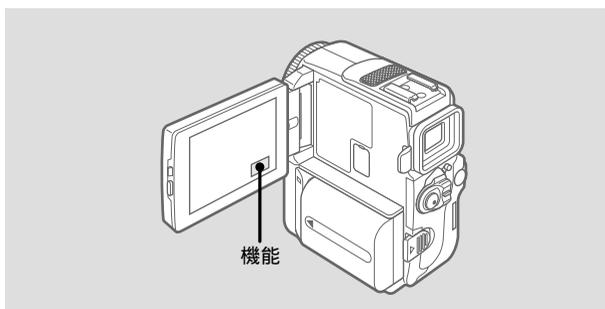
ワイドTVモード中は
以下の操作はできません。
- オールドムービー
- バウンド

録画中は
ワイドTVモードを選んだり、解除したりできません。
ワイドTVモードを解除するときは、必ず「撮影スタンバイ」にしてから、メニューの「ワイドTV」を「切」にしてください。

テレビの接続について
下記の接続のとき、「ワイドTVモード」で記録した画像を再生すると、画像は自動的にフルモードに切り換わります。
- ビデオIDシステム(ID-1/ID-2)方式対応のテレビと接続したとき。
- テレビのS(S1)映像入力端子に接続したとき。

ID-1方式とは
ビデオ信号のすきまに信号を加算することにより、画面の縦横比(16:9、4:3またはレターボックス)の情報を通信するシステムです。この方式に対応しているテレビとつなぐと、自動的にテレビのワイドモードが切り換わります。

ID-2方式とは
ID-1方式に加え著作権保護のための信号をアナログ接続において行うためのシステムです。

S1映像信号とは
通常のS映像信号にワイドモード自動選択用の信号が加算されています。

❶ [撮影スタンバイ中] に
「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❷ **メニューで の項目の「ワイドTV」を「入」にする。(98ページ)**

機能画面に戻す

「閉じる」を押す。

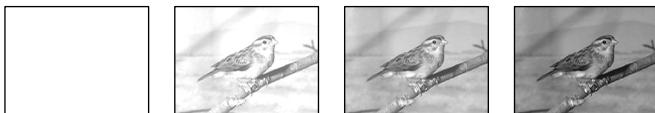
ワイドTVモードを解除する

メニューで「ワイドTV」の「切」を選ぶ。

効果的な場面転換をする – フェーダー

余韻を残して場面を変えたり徐々に画像と音を出したり（フェードイン）、逆に徐々に消したり（フェードアウト）して効果的な場面転換を演出できます。

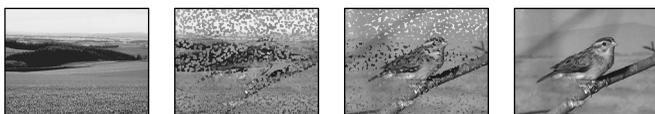
フェードイン

ノーマルフェーダー

モザイクフェーダー

バウンド 1) 2)

オーバーラップ 2)

ワイプ 2)

ドットフェーダー 2)

フェードアウト

モノトーンフェーダー　フェードインは白黒からカラーに、
フェードアウトはカラーから白黒になります。

1）メニューでデジタルズームが「切」になっているときのみ使えます。
2）フェードインのみ

次のページへつづく

効果的な場面転換をする － フェーダー（つづき）

ご注意

フェード中には以下の操作ができません。また以下の操作中にはフェードイン・フェードアウトはできません。

– デジタルエフェクト
– プログラムAEのキャンドル（オーバーラップ、ワイプまたはドットフェーダーのみ）＊
– SUPER NIGHTSHOT
– テープフォト撮影
– インターバル録画
– コマ撮り

＊ フェード中に操作するとキャンドルモード表示が点滅して使えません。

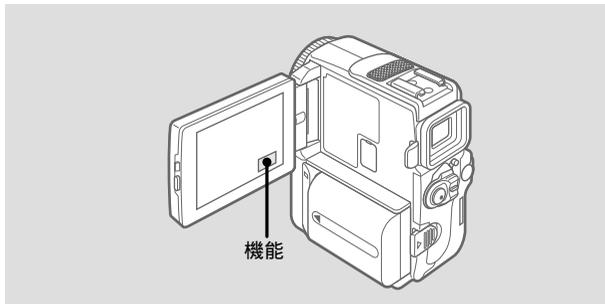
「オーバーラップ」、「ワイプ」または「ドットフェーダー」を選ぶと
本機が自動的に動作し、テープ上の画像を記憶します。記憶中は画面が消えます。
このときテープの状態によっては、きれいな画像が撮影できないことがあります。

バウンド動作中には以下の操作ができません

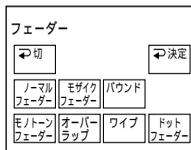
- カメラ明るさ
- フレキシブルスポット測光
- フォーカス
- ズーム
- ピクチャーエフェクト

以下の操作中にはバウンドが選択できません

- メニューでデジタルズームの「20×」または「120×」を選択しているとき
- ワイドTV
- ピクチャーエフェクト
- プログラムAE

電源スイッチを「メモリー」にしたときは
フェードイン・フェードアウトはできません。

❶ • フェードインは［撮影スタンバイ中］に
• フェードアウトは［撮影中］に
「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❷ 「フェーダー」を押す。

フェーダー画面が出る。

❸ 希望のフェーダー項目を選ぶ。

❹ 「↩ 決定」を押し、ページ1画面に戻す。「閉じる」を押し、機能画面に戻す。

フェーダーモード表示が点滅する。

❺ スタート/ストップボタンを押す。

フェーダーモード表示が点滅から点灯に変わり、フェード終了後に消える。フェードイン、フェードアウトはフェード終了後に自動的に解除される。

フェードイン・フェードアウトを解除する

スタート／ストップボタンを押す前に「↩切」を押す。ページ1画面に戻る。「閉じる」を押すと機能画面に戻る。

画像に特殊効果を加える – ピクチャーエフェクト

画像にデジタル処理をして、テレビや映画のような特殊効果を加えられます。

ネガアート
→写真のネガフィルムのように

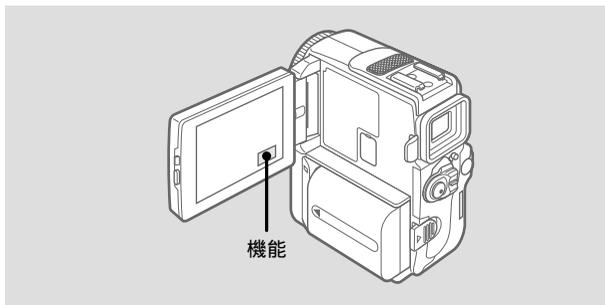
ソラリ
→明暗をはっきりさせたイラストのように

パステル
→淡い色のパステル画のように

モザイク
→タイルを組み合わせたように

セピア→古い写真のような色合いに　**モノトーン**→白黒に

ピクチャーエフェクト中は
オールドムービーは選べません。

電源スイッチを「切（充電）」にすると
ピクチャーエフェクトは自動的に解除されます。

❶ ［撮影中］または［撮影スタンバイ中］に
「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❷ **メニューで🄼の項目の「ピクチャーエフェクト」を選び、希望のピクチャーエフェクトを選ぶ。****（98ページ）**

機能画面に戻す

「閉じる」を押す。

ピクチャーエフェクトを解除する

メニューの「ピクチャーエフェクト」で「切」を選ぶ。

特殊な演出を加えて撮る – デジタルエフェクト

デジタル機能を使って撮影画像にさまざまな演出を加えることができます。音声はそのまま録音されます。

スチル
あらかじめ取り込んだ静止画に、動画を重ねて撮影する。

フラッシュ（フラッシュモーション）
コマ送り撮影をする。

ルミキー（ルミナンスキー）
あらかじめ取り込んだ静止画の明るい部分に、動画をはめ込む。

トレイル
被写体の動きが、尾を引くように撮影する。

スローシャッター
シャッタースピードを落とす。暗いところで撮影しやすい。

オールドムービー
画面を横長、画像をセピア、シャッタースピードを遅くして、昔の映画のように撮影する。

（スチル）

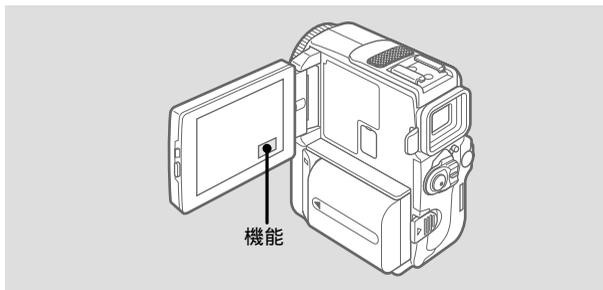
静止画　動画

（ルミキー）

静止画　動画

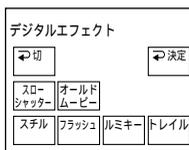
ご注意

- デジタルエフェクト操作中は以下の操作ができません。
  – フェーダー
  – プログラムAEのキャンドル（表示が点滅します）
  – テープフォト撮影
  – SUPER NIGHTSHOT
- スローシャッターを選ぶとプログラムAEは使えません。
- オールドムービーを選ぶと以下の操作ができません。
  – ワイドTV
  – ピクチャーエフェクト
  – プログラムAE

電源スイッチを「切（充電）」にすると
デジタルエフェクトは自動的に解除されます。

1 ［撮影中］または［撮影スタンバイ中］に
「機能」を押し、ページ1画面を出す。

2 **「デジタルエフェクト」を押す。**

デジタルエフェクト画面が出る。

デジタルエフェクト
切　決定
スロー シャッター　オールド ムービー
スチル　フラッシュ　ルミキー　トレイル

スローシャッターでは
自動でピントが合いにくくなることがあります。三脚などに固定して、手動でピントを合わせてください。

スローシャッターのシャッタースピードは

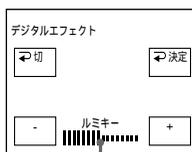
表示	シャッタースピード
スローシャッター1	1/30
スローシャッター2	1/15
スローシャッター3	1/8
スローシャッター4	1/4

❸ 希望のデジタルエフェクト項目を選ぶ。

スチルとルミキーでは、押したときの画像が静止画として記憶される。

❹ 「−」／「＋」を押して、効果を調節する。

−：効果を小さくするとき

＋：効果を大きくするとき

バー表示：スチル、フラッシュ、ルミキー、トレイルのときに表示される。

調節する内容は以下の通り。

スチル	撮影中の動画の背景にある静止画の写り具合。
フラッシュ	フラッシュの間隔。
ルミキー	静止画の、動画を取り込む部分の明るさの度合い。
トレイル	残像が残る時間。
スローシャッター	シャッタースピード。 数字を大きくするほど遅くなる。
オールドムービー	調節は必要ない。

❺ 「決定」を押す。

ページ1画面に戻る。

機能画面に戻す

「閉じる」を押す。

デジタルエフェクトを解除する

「切」を押す。ページ1画面に戻る。

撮影状況に合わせて撮る – プログラムAE

被写体や撮影状況により適した調節を自動的に行います。

スポットライト
結婚式や舞台など、強い光が当たっている被写体を撮影するときに人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぎます。

ソフトポートレート
人物、花などを撮影するときに背景をぼかして被写体を引き立てると同時に、ソフトな印象の映像になるようにします。

スポーツレッスン
ゴルフ、テニスなどの速い動きを撮影するときに被写体のぶれを少なくします。

ビーチ&スキー
真夏の砂浜や、冬山（スキー場）などの照り返しが強い場所で撮影するときに、人物の顔などが暗くなるのを防ぎます。

サンセット&ムーン
夕焼け、夜景、花火、ネオンサインを撮影するときに、雰囲気を損なわずに撮影することができます。

風景
山などの遠くの景色を撮影するときに景色をはっきりさせ、風景を窓ガラスや金網越しに撮影する場合、手前のガラスや金網にピントが合うのを防ぎます。

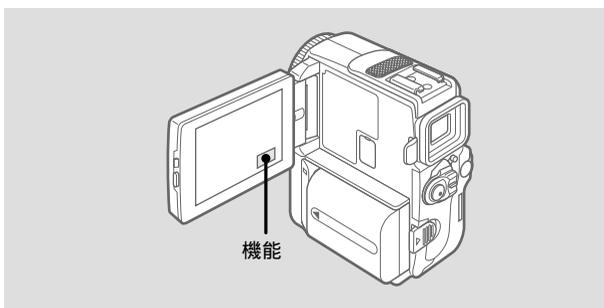
キャンドル
暗い場所でも、被写体を明るく撮影することができます。

ご注意

- 次のモードでは近くのものにピントが合わないようにフォーカスを制御します。
  – スポットライト
  – スポーツレッスン
  – ビーチ＆スキー
- 次のモードでは遠景のみにピントが合うようにフォーカスを制御します。
  – サンセット＆ムーン
  – 風景
- プログラムAE中は以下の操作ができません。
  – スローシャッター
  – オールドムービー
  – バウンド
- キャンドル中は以下の操作ができません。
  – デジタルエフェクト
  – オーバーラップ
  – ワイプ
  – ドットフェーダー
- 次の場合、プログラムAEモードは使えません。（表示が点滅します）
  – NIGHTSHOTを「入」にする。
  –“メモリースティック”にメモリーミックスする。
- 電源スイッチを「メモリー」にしたとき、以下の操作ができません。（表示が点滅します）
  – スポーツレッスン
  – キャンドル

ホワイトバランスを「オート」にしているときは
プログラムAEを使うときも自動的にホワイトバランスが調節されます。

プログラムAEモードで撮影中でも
「カメラ明るさ」、「スポット測光」を調節できます。

蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で撮影すると
次のモードでは画面が明るくなったりする現象（フリッカー）が起こったり、色が変化することがあります。このような場合にはプログラムAEを解除してください。
– ソフトポートレート
– スポーツレッスン

❶ ［撮影スタンバイ中］または電源スイッチを「メモリー」にしたとき
「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❷ **メニューで[M]の項目の「プログラムAE」を選び、希望のプログラムAEモードを選ぶ。**
（98ページ）

機能画面に戻す

「閉じる」を押す。

プログラムAEを解除する

メニューの「プログラムAE」で「オート」を選ぶ。

自然な色あいに調節する – ホワイトバランス

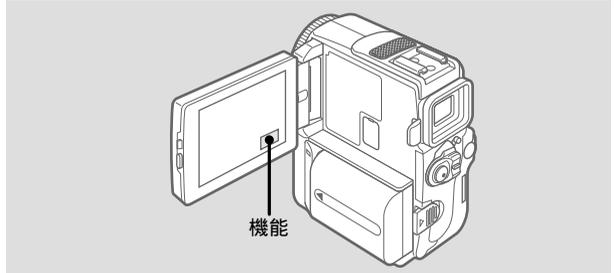
明るさや撮影する状況に合わせて、自然な色あいの画像になるように調節できます。通常は、自動的に色あいの調節が行われています。

- パーティー会場など照明条件が変化する場所で撮るとき
- 夜景やネオンサインなどを屋外で撮るとき

スタジオ照明やビデオライトで撮影する場合は
(屋内)に設定して撮影することをおすすめします。

蛍光灯照明下で撮影する場合は
ホワイトバランスを自動調節にするか、ホールドに設定して撮影することをおすすめします。 (屋内) に設定して撮影すると、ホワイトバランスが正しくとれない場合があります。

ホワイトバランスを「オート」にしたままで
次のように撮影条件を変えたときは、電源スイッチを「カメラ」にしてから10秒間くらい白っぽい被写体に向けるとよりよい色あいに調節されます。
- バッテリーを交換したとき
- 画像の明るさを固定させたまま屋外と屋内を行き来したとき

ホワイトバランスを「ホールド」にしたままで
次のように撮影条件を変えたときは、ホワイトバランスを一度「オート」にしてしばらくしてから「ホールド」に戻してください。
- プログラムAEのモードを変えたとき
- 屋外と屋内を行き来したとき

❶ [撮影中]・[撮影スタンバイ中] または電源スイッチを「メモリー」にしたとき
「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❷ **メニューで の項目の「ホワイトバランス」を選び、希望のホワイトバランスモードを選ぶ。(98ページ)**

HOLD (ホールド)
単一色の被写体や背景を撮るとき

(屋外)
- 夜景やネオン、花火などを撮るとき
- 日の出、日没などを撮るとき
- 昼光色蛍光灯の下で撮るとき

(屋内)
- パーティー会場など照明条件が変化する場所
- スタジオなどビデオライトの下で撮るとき
- ナトリウムランプや水銀灯の下で撮るとき

機能画面に戻す
「閉じる」を押す。

自動調節に戻す
メニューの「ホワイトバランス」で「オート」を選ぶ。
(98ページ)

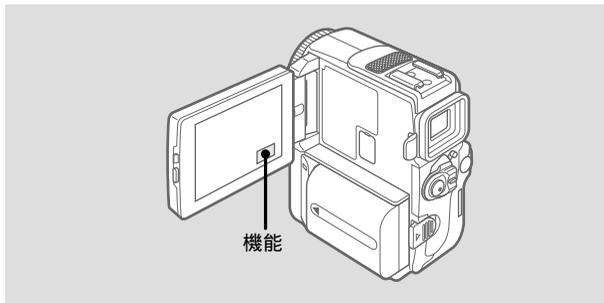
画像の明るさを調節する

画像をお好みの明るさに調節し、固定することができます。通常は、自動的に明るさの調節が行われています。

- 逆光補正を細かく行いたいとき
- 背景に比べて、被写体が明るすぎるとき
- 夜景を撮りたいとき

ご注意

「カメラ明るさ」調節をしているときは逆光補正ボタンは働きません。

次の場合、明るさ調節は自動に戻ります。

- プログラムAEのモードを変える。
- NIGHTSHOTを「入」にする。

❶ [撮影中]・[撮影スタンバイ中]または電源スイッチを「メモリー」にしたとき
「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❷ **「カメラ明るさ」を押す。**

カメラ明るさ画面が出る。

次のページへつづく

❸ 「マニュアル」を押し、「－」／「＋」を押して、明るさを調節する。

－：暗くするとき

＋：明るくするとき

❹ 「 決定」を押す。

ページ1画面に戻る。

機能画面に戻す

「閉じる」を押す。

自動調節に戻す

「 オート」を押す。ページ1画面に戻る。

撮りたいポイントの明るさを最適にする

－ フレキシブルスポット測光

撮りたいポイントを基準にして自動的に画像の明るさを調節し、固定することができます。

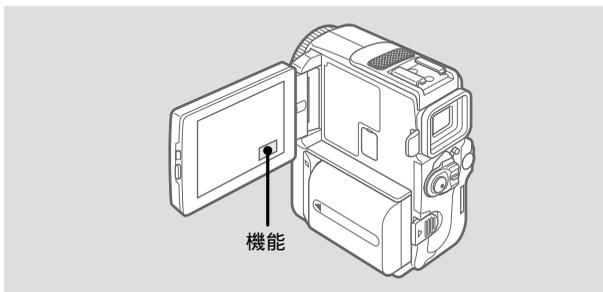
- 逆光のとき
- スポットライトで照明されたステージなど、被写体と背景のコントラストが強いとき

ご注意

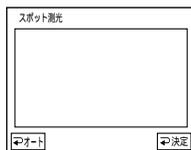
「スポット測光」調節をしているときは逆光補正ボタンは働きません。

スポット測光を使うと
「カメラ明るさ」は自動的に「マニュアル」になります。

次の場合、明るさ調節は自動に戻ります。

- プログラムAEのモードを変える。
- NIGHTSHOTを「入」にする。

1 [撮影中]・[撮影スタンバイ中] または電源スイッチを「メモリー」にしたとき
「機能」を押し、ページ１画面を出す。

2 **「スポット測光」を押す。**

スポット測光画面が出る。

3 **画面上の枠内の撮りたいポイントを押す。**

スポット測光の表示が点滅し、押したポイントの明るさが調節されます。

4 **「↩決定」を押す。**

ページ1画面に戻る。

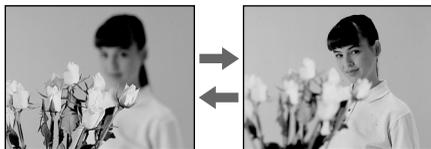
機能画面に戻す

「閉じる」を押す。

自動調節に戻す

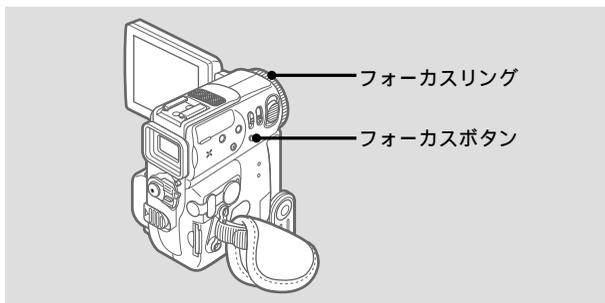
「↩オート」を押す。ページ1画面に戻る。

手動でピントを合わせる

撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。通常は自動的にピントの調節が行われています。

- 自動ではピントが合いにくいとき
  - 被写体が水滴のついた窓ごしにあるとき
  - 被写体が横縞だけのもののとき
  - 被写体と背景とのコントラストが弱いとき
- 手前の被写体から後方の被写体へと、意図的にピントの合う位置を変えたいとき
- 三脚を使い、静止した被写体をピントを固定して撮るとき

正確にピントを合わせるには
ズームをT側（望遠）でピントを合わせたあと、なるべくW側（広角）で撮るようにズームを調節するとピントが合いやすくなります。

近づいて大きく撮るとき
ズームをW側（広角）いっぱいにしてピントを合わせます。

手動でピント合わせをするとき、Ⓕが次のようなマークに変わります。
▲ 無限遠にあるとき。
👤 それ以上近くにピント合わせをすることができないとき。

❶ [撮影中]・[撮影スタンバイ中] または電源スイッチを「メモリー」にしたとき
フォーカスボタンを軽く1回押す。
手動ピント合わせ表示Ⓕが出る。

❷ **フォーカスリングを回し、ピントの合う位置を調節する。**

自動調節に戻す

フォーカスボタンを軽く押して、Ⓕまたは▲、👤表示を消す。

ピントを無限遠にして撮影する

フォーカスボタンを深く押すとピントは無限遠になり、▲の表示が出る。

指を離すとピント合わせが手動に戻る。

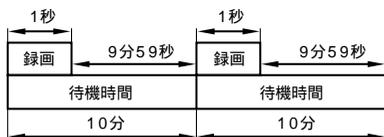
遠くの被写体を撮りたいのに、近くの被写体にピントがあってしまうときに使います。

一定時間おきに撮る – インターバル録画

あらかじめ設定した時間ごとに、録画と録画停止を交互に行います。

例

「ウェイトタイム」10分、「録画タイム」1秒を選んだ場合（約10分ごとに、約1秒録画されます）

花の開花や、昆虫の羽化などの場面を時間をおいて撮影するとき

ご注意

電源スイッチを「メモリー」にすると、インターバル録画はできません。

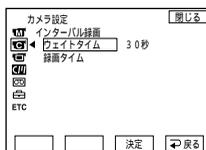
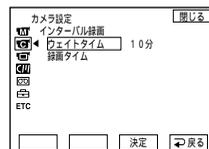
❶ ［撮影スタンバイ中］に
「機能」を押し、ページ1画面を出す。

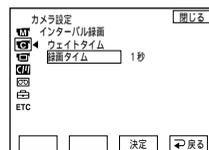
❷ **メニューでの項目の「インターバル録画」を「設定」にし、「決定」を押す。**（98ページ）

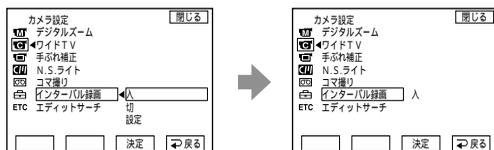
次のページへつづく

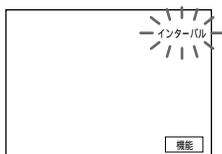
録画タイムは
最大±6フレーム程度の誤差が出ることがあります。

❸ 「ウェイトタイム」と「録画タイム」を設定する。

1 **「↓」/「↑」を押して「ウェイトタイム」を選び、「決定」を押す。**

2 **「↓」/「↑」を押して「ウェイトタイム」を設定し、「決定」を押す。**

3 **「↓」/「↑」を押して「録画タイム」を選び、「決定」を押す。**

4 **「↓」/「↑」を押して「録画タイム」を設定し、「決定」を押す。**

5 **「⮐戻る」を押す。**

❹ **「インターバル録画」を「入」にし、「決定」を押す。**

❺ **「閉じる」を押して、機能画面に戻す。**

インターバル表示が点滅する。

❻ **スタート／ストップボタンを押す。**

インターバル録画が始まる。

インターバル録画中は、インターバル表示が点灯する。

インターバル録画を解除する

次のいずれかの操作を行います。

- メニュー画面で「インターバル録画」を「切」にする。
- 電源スイッチを「カメラ」以外にする。

ウェイトタイム中に通常の録画をする

スタート／ストップボタンを押す。

インターバル表示が点滅し、1回だけ通常の録画ができます。インターバル録画に戻すには、録画を終了させ、もう1度スタート／ストップボタンを押す。インターバル表示は点滅から点灯に変わり、インターバル録画の録画タイムに入る。

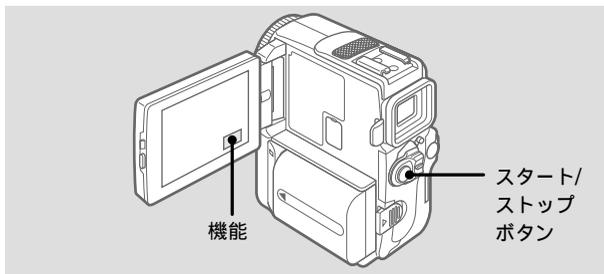
アニメーションのように撮る – コマ撮り

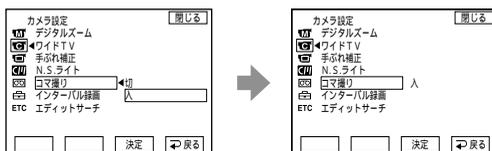
人形やおもちゃなどを少しずつ動かしながらコマ撮りをすると、アニメーションのような効果を出せます。本機を固定し、手順4以降をリモコンで操作することをおすすめします。

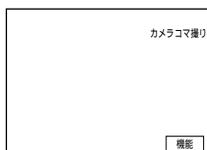
ご注意

コマ撮りを連続して行うと、テープ残量表示は正しく表示されません。

コマ撮りをすると

最終カットは通常の1コマよりも長くなります。

1 ［撮影スタンバイ中］に
「機能」を押し、ページ1画面を出す。

2 **メニューでの項目の「コマ撮り」を「入」にする。（98ページ）**

3 **「閉じる」を押して、機能画面に戻す。**

カメラコマ撮り表示が点灯する。

4 **スタート／ストップボタンを押す。**

1コマ（約6フレーム）分の撮影が行われ、撮影スタンバイに戻る。

5 **被写体を動かし、手順4を繰り返す。**

コマ撮りを解除するには

次のいずれかの操作を行います。

- メニュー画面で「コマ撮り」を「切」にする。
- 電源スイッチを「カメラ」以外にする。

ファインダーを見ながら操作する

ファインダーをのばし、液晶画面を外側に向けて本体に閉じると、ファインダーを見ながら液晶画面を押して画面上のボタンを操作することができます。

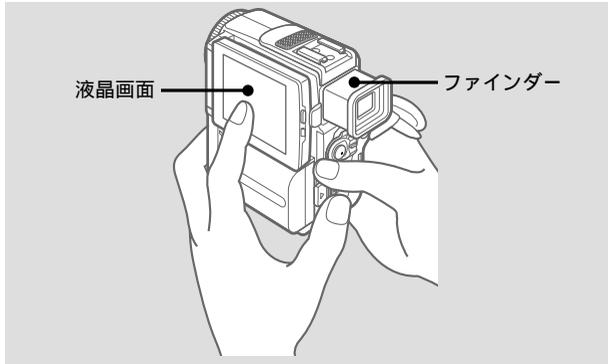
ファインダーで見ながら、カメラ明るさとフェーダーをタッチパネル操作するとき

ご注意

- 液晶画面はぬれた手で触れたり、ペンなどの先の尖ったもので押したりしないでください。
- 電源スイッチを「ビデオ」にしたとき、またはメモリー再生中は操作できません。

ファインダーに表示されない項目を操作したいときは
ファインダーと液晶画面を元の位置に戻し、液晶画面を見ながら操作してください。

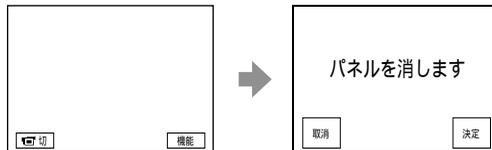
ファインダー内の「機能」と「切」は
反転して見えます。

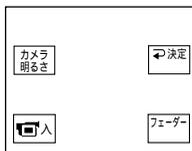
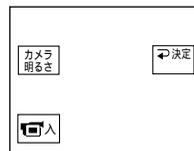
撮影可能時間は
ファインダーで撮影したときの時間になります。（10ページ）

❶ ［撮影中］・［撮影スタンバイ中］または電源スイッチを「メモリー」にしたとき
ファインダーをのばし、液晶画面を外側に向けて本体に閉じる。

❷ **「切」を押す。**
「パネルを消します」の表示がでる。

❸ **「決定」を押す。**
液晶画面が消える。

使いこなす―撮影―

次のページへつづく

❹ 液晶画面を押す。

「カメラ明るさ」、「⮐決定」、「[LCD]入」、「フェーダー」（カメラモードのみ）が出る。

電源スイッチが「カメラ」のとき

電源スイッチが「メモリー」のとき

❺ 液晶画面を押して希望の項目を選び、「⮐決定」を押す。

カメラ明るさ：「＋」「－」で調節する。

フェーダー：　「フェーダー」を押すごとに次の順で項目が変わる。

→ フェーダー → モザイクフェーダー → バウンド → モノトーンフェーダー ─
└ （表示なし）← ドットフェーダー ← ワイプ ← オーバーラップ ←┘

[LCD] 入：液晶画面が点灯する。

画面上のボタンを消すとき

「⮐決定」を押す。

画像にピクチャーエフェクトを加えて見る

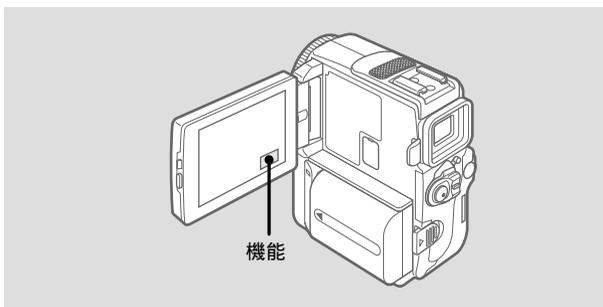
再生しているテープの画像にピクチャーエフェクトを加えて見ることができます。

再生中は、ピクチャーエフェクトのうち、ネガアート、セピア、モノトーン、ソラリが使えます。

ご注意

- 外部入力している画像にピクチャーエフェクトを加えて見ることはできません。
- ピクチャーエフェクトを加えた画像は本機のテープに録画できません。
  “ メモリースティック ”に取りこむか（118、121ページ）、本機を再生機とし他のビデオへ録画してください。

ピクチャーエフェクトを加えた画像は
i.LINK DV端子からは出力されません。

電源スイッチを「切（充電）」にするか、再生を停止すると
ピクチャーエフェクトは自動的に解除されます。

❶ ［再生中］または［再生一時停止中］に
「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❷ **メニューで[M]の項目の「ピクチャーエフェクト」を選び、希望のピクチャーエフェクトを選ぶ。（98ページ）**

各ピクチャーエフェクトについて詳しくは39ページをご覧ください。

機能画面に戻す

「閉じる」を押す。

ピクチャーエフェクトを解除する

メニューの「ピクチャーエフェクト」で「切」を選ぶ。

使いこなす―再生―

画像にデジタルエフェクトを加えて見る

再生しているテープの画像にデジタルエフェクトを加えて見ることができます。

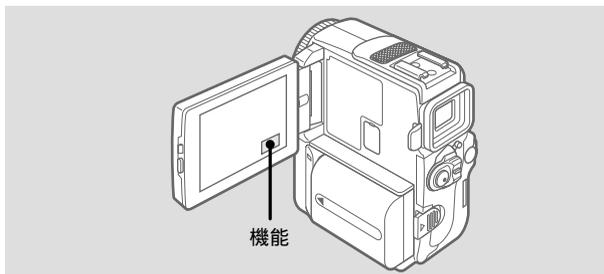
再生中は、デジタルエフェクトのうち、スチル、フラッシュ、ルミキー、トレイルが使えます。

ご注意

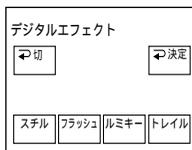
- 外部入力している画像にデジタルエフェクトを加えて見ることはできません。
- デジタルエフェクトを加えた画像は本機のテープに録画できません。
  “ メモリースティック ”に取りこむか（118、121ページ）、本機を再生機とし他のビデオへ録画してください。

デジタルエフェクトを加えた画像は

- i DV端子からは出力されません。
- 再生ズームはできません。

電源スイッチを「切（充電）」にするか、再生を停止するとデジタルエフェクトは自動的に解除されます。

1 ［再生中］または［再生一時停止中］に**「機能」を押し、「ページ2」を押してページ2画面を出す。**

2 **「デジタルエフェクト」を押す。**

デジタルエフェクト画面が出る。

3 **希望のデジタルエフェクトを選ぶ。**

スチルとルミキーでは、押したときの画像が静止画として記憶される。

4 **「－」／「＋」を押して、効果を調節する。**

詳しくは40ページをご覧ください。

5 **「決定」を押す。**

ページ2画面に戻る。

機能画面に戻す

「閉じる」を押す。

デジタルエフェクトを解除する

「切」を押す。ページ2画面に戻る。

撮影した画像を拡大する – テープ再生ズーム

テープに記録した動画や静止画を拡大できます。

本機では“ メモリースティック ”に記録した静止画も拡大できます。（143ページ）

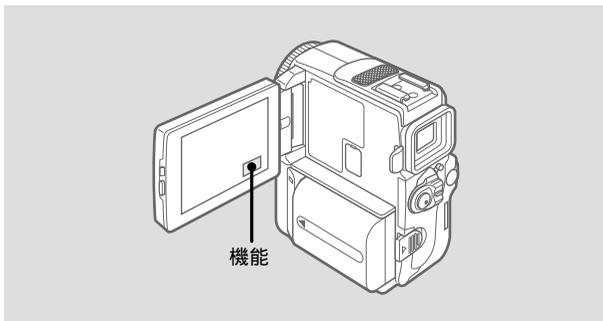
ご注意

- 外部入力している画像に再生ズームを加えて見ることはできません。
- 再生ズームを加えた画像は本機のテープに録画できません。
  “ メモリースティック ”に取りこむか（118、121ページ）、本機を再生機とし他のビデオへ録画してください。

再生ズーム中に以下の操作をすると再生ズームは自動的に解除されます

– 電源スイッチを「切（充電）」にする。
– 再生を停止する。

再生ズームを加えた画像は
i ＤＶ端子から出力することはできません。

再生ズーム中に
画面表示／タッチパネルボタンを押すと表示枠が消えます。このとき押した部分を画面の中心に移動することはできません。

画像の周辺部分は
拡大することはできますが、画面の中心には移動しません。

❶ ［再生中］または［再生一時停止中］に
「機能」を押し、「ページ2」を押してページ2画面を出す。

❷ **「再生ズーム」を押す。**

再生ズーム画面が出る。

❸ **画面上の枠内の拡大したい部分を押す。**

押した部分を中心に2倍に拡大された画像が再生されます。さらに枠内の別の場所を押すと、押した部分を画面の中心に移動することができます。

再生ズームを解除する

「終了」押す。

使いこなす—再生

見たい場面にすばやく戻す – ゼロセットメモリー

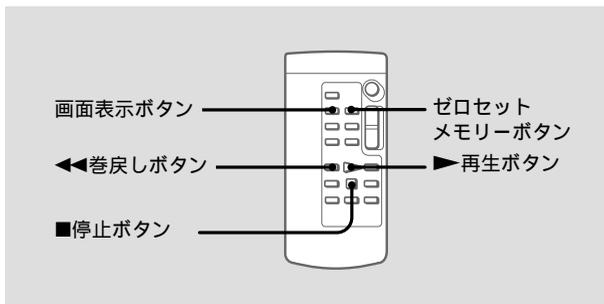
テープカウンター値が「0:00:00」の地点まで巻き戻しや早送りをして、自動的に停止するようにできます。リモコンも使います。

再生中に、後からもう一度見たいと思う場面があったとき

ご注意

- 巻き戻す前にゼロセットメモリーボタンをもう１度押すと、ゼロセットメモリーが解除されます。
- タイムコードとテープカウンターに多少誤差が出ることがあります。
- ゼロセットメモリー表示は、「機能」を押すと表示されません。

テープの途中に無記録部分があると

ゼロセットメモリー機能が正しく働かない場合があります。

❶ ［再生中］に
表示が出ていないときは画面表示ボタンを押す。

❷ **後から見たい場面でゼロセットメモリーボタンを押す。**
テープカウンター値が「0:00:00」になる。
ゼロセットメモリー表示が点滅する。

❸ **再生し終わったら■停止ボタンを押す。**

❹ **◀◀巻戻しボタンを押す。**
テープカウンター値が「0:00:00」の付近で自動的に停止する。テープカウンターがタイムコード表示に戻り、ゼロセットメモリー表示が消える。

❺ **►再生ボタンを押す。**
テープカウンター値が「0:00:00」の場面からもう１度再生が始まる。

タイトル場面を頭出しする – タイトルサーチ

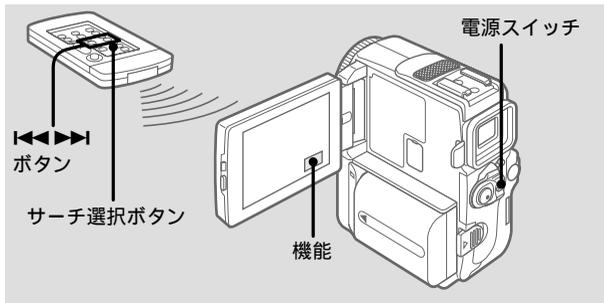
カセットメモリー付きカセットを使えば、タイトルを入れた場面を探せます。

リモコンも使います。

タイトルを入れた場面を探したいとき

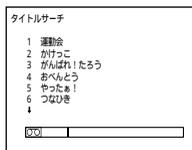
カセットメモリーの付いていないカセットでは
タイトルを入れたり、タイトル場面を頭出ししたりできません。

テープの途中に無記録部分があると
タイトルサーチが正しく働かないことがあります。

タイトルを入れるには
89ページをご覧ください。

メニューの「Cメモリーサーチ」を「入」にしてください。
（お買い上げ時には「入」に設定されています。）

❶ **電源スイッチを「ビデオ」にする。**

❷ **リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「タイトルサーチ」を選ぶ。**

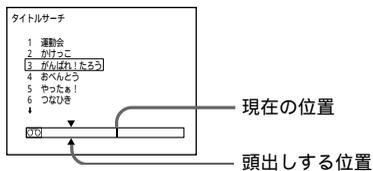
タイトルサーチ画面が出る。

タイトルサーチ
1 運動会
2 かけっこ
3 がんばれ！たろう
4 おべんとう
5 やったぁ！
6 つなひき

次の順で変わります。

→タイトルサーチ→日付サーチ→フォトサーチ→フォトスキャン→（表示なし）→

使いこなす―再生―

❸ リモコンの⏮または⏭ボタンを押して、頭出ししたいタイトルを選ぶ。

選んだタイトルの場面で自動的に再生が始まる。

サーチを止める

リモコンの■停止ボタンを押す。

撮影日で頭出しする – 日付サーチ

撮影した日付の変わり目を頭出しできます。カセットメモリー付きカセットを使うと便利です。
リモコンも使います。

撮影日の変わり目を確認したり、撮影日ごとに編集するとき

■カセットメモリーを使った日付サーチ ➡ 画面で撮影日を選んで頭出し

■カセットメモリーを使わない日付サーチ ➡ 撮影した日付の変わり目を頭出し

ご注意

日付の変更点の間隔は2分以上必要です。間隔が短いと正しく検出されない場合があります。

テープの途中に無記録部分があると
日付サーチが正しく働かないことがあります。

1つのカセットのカセットメモリーに入る日付データは
6つまでです。日付データが7つ以上あるときは、「カセットメモリーを使わずに頭出しする」（62ページ）の手順で検索してください。

カセットメモリーを使って頭出しする

- カセットメモリー付きカセットでのみできます。
- メニューの「Cメモリーサーチ」を「入」にしてください。
（お買い上げ時は「入」に設定されています。）

❶ 電源スイッチを「ビデオ」にする。

❷ リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「日付サーチ」を選ぶ。

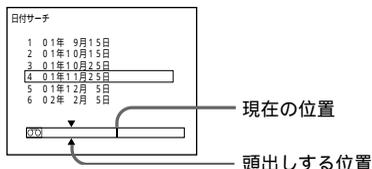
日付サーチ画面が出る。

次の順で変わります。

→ タイトルサーチ → 日付サーチ → フォトサーチ → フォトスキャン → (表示なし) → (タイトルサーチへ戻る)

使いこなす—再生—

❸ **リモコンの⏮ または⏭ボタンを押して、頭出ししたい日付を選ぶ。**

選んだ日付の場面で自動的に再生が始まる。

サーチを止める

リモコンの■停止ボタンを押す。

カセットメモリーを使わずに頭出しする

❶ **電源スイッチを「ビデオ」にする。**

❷ **「機能」を押し、ページ1画面を出す。**

❸ **メニューで［CM］の項目の「Cメモリーサーチ」を「切」にする。****（98ページ）**

❹ **リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「日付サーチ」を選ぶ。**

次の順で変わります。

日付サーチ → フォトサーチ → フォトスキャン → （表示なし） → 日付サーチ

❺ **リモコンの⏮ または⏭ボタンを押す。**

日付をさかのぼるときは、⏮ボタンを、日付を進めるときは、⏭ボタンを押す。日付の変わり目で、自動的に再生が始まる。

ボタンを押した回数だけ前（⏮）または後ろ（⏭）の場面が頭出しされる。

サーチを止める

リモコンまたは本体の■/▣停止ボタンを押す。

見たい静止画を探す – フォトサーチ／フォトスキャン

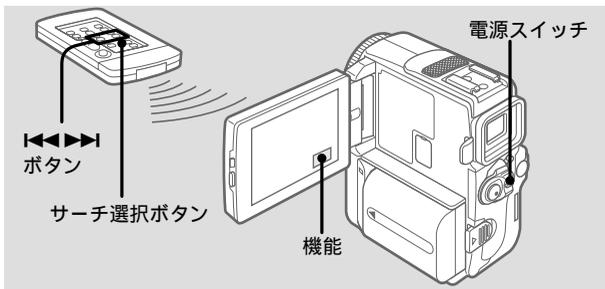
「テープフォト撮影」でテープに撮影した静止画を頭出しできます（フォトサーチ）。カセットメモリー付きカセットを使うと便利です。
また、カセットメモリーとは関係なく静止画を次々に探し、自動的に5秒ずつ再生することもできます（フォトスキャン）。
リモコンも使います。

静止画の場面を確認したり、静止画をまとめて編集するとき

■カセットメモリーを使ったフォトサーチ ➡ 画面で静止画の撮影日時を選んで頭出し

■カセットメモリーを使わないフォトサーチ ➡ 撮影日時とは関係なく静止画を探して頭出し

テープの途中に無記録部分があると
フォトサーチ／フォトスキャンが正しく働かないことがあります。

1つのカセットのカセットメモリーに入るフォトデータは12枚までです。13枚以上ある場合は、フォトスキャンで検索してください。

カセットメモリーを使って静止画を探す ーフォトサーチ

- カセットメモリー付きカセットでのみできます。
- メニューの「Cメモリーサーチ」を「入」にしてください。
  （お買い上げ時は「入」に設定されています。）

❶ 電源スイッチを「ビデオ」にする。

❷ リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「フォトサーチ」を選ぶ。

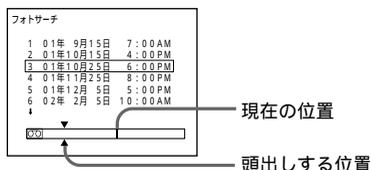
フォトサーチ画面が出る。

次の順で変わります。

→タイトルサーチ→日付サーチ→フォトサーチ→フォトスキャン→（表示なし）→

次のページへつづく

❸ リモコンの⏮または⏭ボタンを押して、頭出ししたい静止画の撮影日時を選ぶ。

選んだ撮影日時の静止画が出る。

サーチを止める

リモコンの■停止ボタンを押す。

カセットメモリーを使わずに静止画を探す －フォトサーチ

❶ 電源スイッチを「ビデオ」にする。

❷ 「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❸ メニューで📼の項目の「Cメモリーサーチ」を「切」にする。（98ページ）

❹ リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「フォトサーチ」を選ぶ。

次の順で変わります。

日付サーチ → フォトサーチ → フォトスキャン → （表示なし） → 日付サーチ

❺ リモコンの⏮または⏭ボタンを押す。

静止画の場面で、自動的に再生が始まる。

ボタンを押した回数だけ前（⏮）または後ろ（⏭）の場面が頭出しされる。

サーチを止める

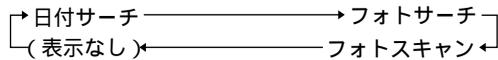
リモコンまたは本体の■/▣停止ボタンを押す。

静止画を次々に探すーフォトスキャン

❶ **電源スイッチを「ビデオ」にする。**

❷ **リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「フォトスキャン」を選ぶ。**

フォトスキャン画面が出る。

次の順で変わります。

❸ **リモコンの⏮ または⏭ボタンを押す。**

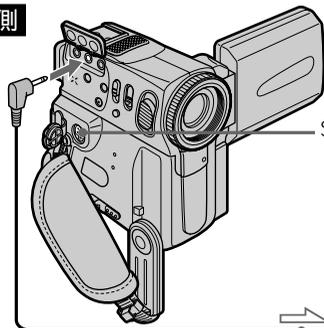
静止画が順に5秒ずつ表示される。

フォトスキャンを止める

リモコンまたは本体の■/▣停止ボタンを押す。

他のビデオへダビングする

AV接続ケーブルでつなぐ

本機を再生機として使い、接続した
ビデオで録画、編集できます。

相手側のビデオは以下のどの方式のビデオでも使えます。
8, Hi8, VHS, VHSC, SVHS, SVHSC, β, ED Beta, Mini DV, DV, Digital8

録画側ビデオの音声入力がひとつ(モノラル)の場合
AV接続ケーブルの黄色のプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぎます。音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が記録されます。

別売りのS映像ケーブルを使うと
録画画像をより忠実に再現できます。ビデオにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色端子（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルで本機のS1映像端子とビデオのS（S1）映像端子を接続することをおすすめします。
DV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

- メニューの「画面表示」を「パネル」にしてください。（お買い上げ時は「パネル」に設定されています。）
- 本機の画面表示/タッチパネルボタン、「データコード」または、リモコンの画面表示ボタン、データコードボタン、サーチ選択ボタンを押して画面表示を消してください。消さないでダビングするとテープに記録されます。

❶ カセットを準備する。

本機　：撮影済みのカセットを入れる。
録画機：録画用カセットを入れる。

❷ 録画機の準備をする。

入力切り換えスイッチを「外部入力（ライン）」にする。
詳しくは録画機の取扱説明書をご覧ください。

❸ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

❹ 本機で再生する。

❺ 録画機で録画を始める。

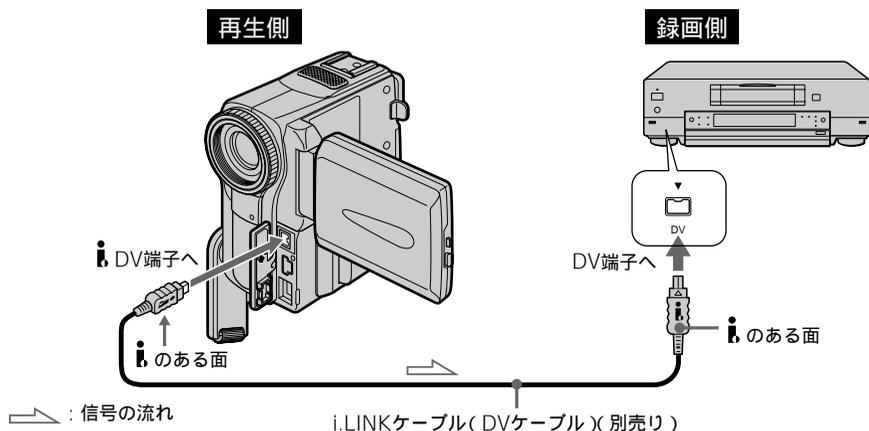
詳しくは録画機の取扱説明書をご覧ください。

ダビングが終わったら

録画機の録画を停止し、本機での再生を停止する。

i.LINKケーブル（DVケーブル）でつなぐ

本機とDV端子を持っている他のビデオ機器を1本のi.LINKケーブル（DVケーブル）（別売り）でつなぎダビング編集ができます。

デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。
タイトル、画面表示、カセットメモリーの内容、“ メモリースティック ”のインデックス画面の文字はダビングできません。

i.LINKケーブル（DVケーブル）で本機と接続できるのは1台だけです
i.LINKについて詳しくは165ページをご覧ください。

デジタルダビング編集中は以下の操作はできません。
• ピクチャーエフェクト
• デジタルエフェクト
• 再生ズーム

再生一時停止にしている画像は
DV端子を使ってダビングすると粗い画像になります。
また、他機で再生したとき画像がぶれることがあります。

❶ カセットを準備する。

本機　：撮影済みのカセットを入れる。
録画機：録画用カセットを入れる。

❷ 録画機の準備をする。

入力切り換えスイッチがある場合は、「DV入力」にする。詳しくは、録画機の取扱説明書をご覧ください。

❸ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

❹ 本機で再生する。

❺ 録画機で録画を始める。

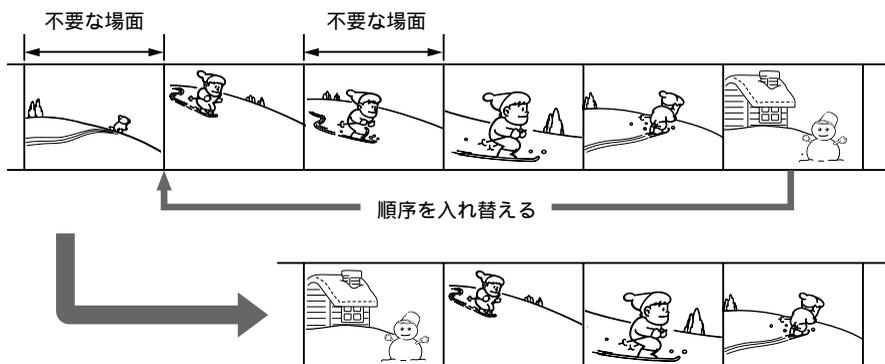
詳しくは、録画機の取扱説明書をご覧ください。

ダビングが終わったら

録画機の録画を停止し、本機での再生を停止する。

必要な場面を選びダビングする
– デジタルプログラムエディット

録画済みのテープから必要な場面（プログラム）を選び、お好みの順番でつなぎ合わせ、録画機を操作せずに別のテープに簡単にダビングできます。

場面はフレーム単位で選べます。
最大20プログラムまで設定できます。

ご注意

- タイトル、画面表示、カセットメモリーの内容はダビングできません。
- i.LINKケーブル（DVケーブル）で接続したとき、録画機の機種により正しく操作できない場合があります。本機の「コントロール選択」を「リモコン」に設定してください。
- デジタルプログラムエディットの操作信号は、LANC ◐ 端子では送信できません。

i.LINKケーブル（DVケーブル）でつなぐと
デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。

デジタルプログラムエディットには、次の準備が必要です。

準備1： 録画機をつなぐ。（68ページ）

準備2： 録画機を操作するための設定をする。（69、72ページ）

準備3： 録画機のタイミングを補正する。（73ページ）

上記の準備を1度行った録画機を使用する場合は準備2、3は不要です。

操作は以下の順で行ないます。

操作1： プログラムを作る。（75ページ）

操作2： デジタルプログラムエディットを実行する（ダビングする）。（78ページ）

準備1 録画機をつなぐ

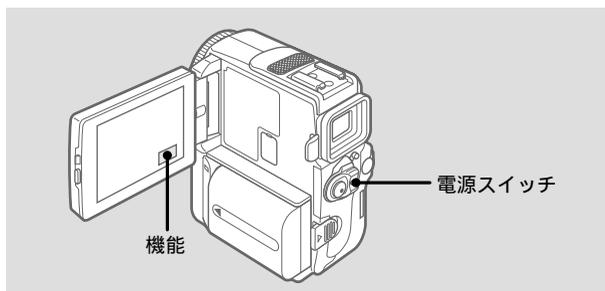
AV接続ケーブル、i.LINKケーブル（DVケーブル）どちらでも接続できます。AV接続ケーブルの場合は66ページ、i.LINKケーブル（DVケーブル）の場合は67ページの図のように接続します。

リモコンコードについて
本機には、下記のリモコンコードが記憶されています。お使いの録画機のリモコンコードを設定してください。
お買い上げ時、本機は「3」に設定されています。

メーカー	リモコンコード
ソニー	1、2、3、4、5、6
アイワ	47、54、55、57、60、64
キヤノン	97
コルディナ	34
富士通	34
フナイ	61、80
ゴールドスター	47
日立	43、47、75
ビクター	12、13、14、21
マルマン	26
三菱	22、27、28、29
ＮＥＣ	35、65、66、67
オリオン	69、72
松下	16、18、19、78、79、96
フィリップス	83
パイオニア	31
三洋	36、38、46
シャープ	88、89、90、98
東芝	39、40、68
ユピテル	47

リモコンコードが対応していない機種は、デジタルプログラムエディットはできません。

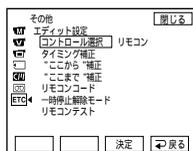
準備2 録画機を操作するための設定をする ー AV接続ケーブルでつなぐ

AV接続ケーブルで接続したときは、本機の赤外線発光部から録画機のリモコン受光部に録画機を操作するための信号を送ります。
正しく信号を送るために、以下の設定（❶〜❹）を行ってください。

❶ リモコンコードを設定する

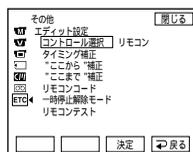
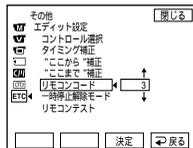
1 **本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。**

2 **録画機の電源を入れ、入力切換を選ぶ。**
録画機がビデオカメラレコーダーのときは、電源スイッチを「ビデオ」にする。

3 **「機能」を押し、ページ1画面を出す。**

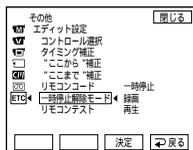
4 **メニューでETCの項目の「エディット設定」を選び、「決定」を押す。**（98ページ）

5 **「コントロール選択」を選び「決定」を押す。**

6 **「リモコン」を選び「決定」を押す。**

次のページへつづく

7　「リモコンコード」を選び「決定」を押す。

8　録画機のリモコンコード（番号）を選び「決定」を押す。

「リモコンコードについて」を参照する。

❷ 録画機の録画一時停止解除モードを設定する

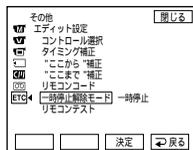
1　「一時停止解除モード」選び「決定」を押す。

2　録画機の録画一時停止解除モードを選び「決定」を押す。

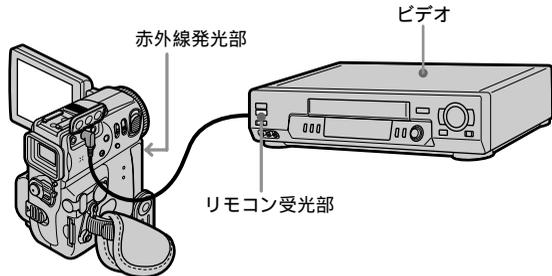
詳しくは録画機の取扱説明書をご覧ください。

録画一時停止解除モードについて

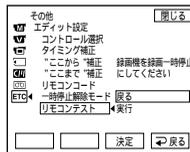
お使いの録画機で録画一時停止を解除し、録画を始めるときに押すボタンを下記よりお選びください。（ボタンの種類は録画機により異なります。）

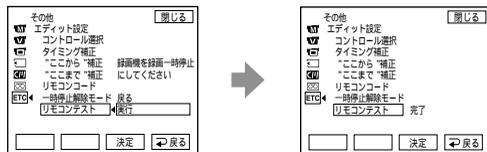
それぞれのボタンに合った録画一時停止解除モードを設定してください。

録画機のボタン	録画一時停止解除モード
❚❚（一時停止）	「一時停止」
●（録画）	「録画」
►（再生）	「再生」

❸ 本機の赤外線発光部と録画機のリモコン受光部を向かい合わせる。

機器の距離は約30cm離し、間に障害物等がない状態にする。

❹ 録画機が正しく動作するか確認する

1　録画機にカセットを入れ、録画一時停止にする。

2　「リモコンテスト」を選び「決定」を押す。

3　「実行」を選び「決定」を押す。

録画機が録画を開始すれば、正しく設定されている。終了すると本機の表示は「完了」に変わる。

録画機が正しく動作しないとき

- 「リモコンコードについて」のコードをご覧の上、「リモコンコード」または「録画一時停止解除モード」を設定し直す。
- 本機と録画機を約30cmまで離す。
- 録画機の取扱説明書をご確認ください。

準備2 録画機を操作するための設定をする－i.LINKケーブル（DVケーブル）でつなぐ

i.LINKケーブル（DVケーブル）で接続したときはこの設定を行ないます。

❶ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

❷ 録画機の電源を入れ、入力切換を「DV入力」にする。

録画機がデジタルビデオカメラレコーダーのときは、電源スイッチを「ビデオ」にする。

❸ 「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❹ メニューでETCの項目の「エディット設定」を選び「決定」を押す。（98ページ）

❺ 「コントロール選択」を選び「決定」を押す。

❻ 「i.LINK」を選び「決定」を押す。

ご注意

- タイミング補正用の画像が約50秒間録画されます。
- テープの頭から記録すると、始めの部分が切れることがあります。10秒ほどテープを送ってから記録してください。
- i.LINKケーブル（DVケーブル）接続で録画機の操作がうまく行えないときは、接続はそのままで、AV接続ケーブルでの設定（69ページ）を行ってください。映像/音声はデジタル信号で送られます。

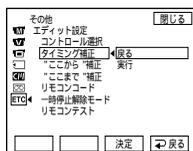
準備3 録画機のタイミングを補正する

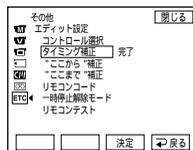
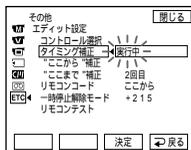
筆記具をご用意ください。
本機の動作と録画機の動作のタイミングの誤差を補正します。
本機のテープを取り出しておいてください。

1 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

2 録画機にカセットを入れ、録画一時停止にする。

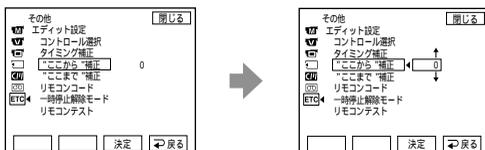
「コントロール選択」で「i.LINK」を選んだときは不要です。

3 「タイミング補正」を選び「決定」を押す。

4 「実行」を選び「決定」を押す。

録画機にタイミング補正用のカウンターが5回分入った画像が録画される。
終了すると本機の表示は「実行中」の点滅から「完了」の点灯に変わる。

5 録画機のカセットを巻き戻し、スロー再生する。

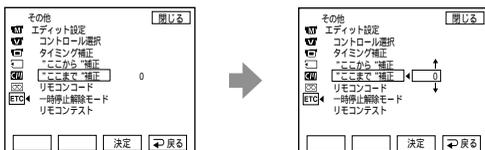
5回分の「ここから」のカウンター数値と「ここまで」のカウンター数値が表示される。これらのカウンター数値の中から、各回ごとに「ここから」の最初に表示される数値と「ここまで」の最後に表示される数値をメモする。

次のページへつづく

❻ 「ここから」の5回分の数値と「ここまで」の5回分の数値それぞれの平均値を計算する。

❼ 「”ここから”補正」を選び「決定」を押す。

❽ 「ここから」の平均値の数値を選び「決定」を押する。

録画開始のタイミングが補正される。

❾ 「”ここまで”補正」を選び「決定」を押す。

❿ 「ここまで」の平均値の数値を選び「決定」を押す。

録画停止のタイミングが補正される。

⓫ 「↩戻る」を押して決定する。

機能画面に戻す

「閉じる」を押す。

ご注意

デジタルプログラムエディット操作中は録画することはできません。

テープの無記録部分には
「ここから」「ここまで」の設定はできません。

「ここから」と「ここまで」の間に無記録部分があると
タイムコードが正しく表示されません。

操作1 プログラムをつくる

❶ 本機に再生するカセットを入れ、録画機に録画するカセットを入れる。

❷ 「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❸ メニューでETCの項目の「プログラムエディット」を選び「決定」を押す。（98ページ）

❹ 本機で録画したい部分の始めを探し、再生一時停止にする。

◀II＜／II▶＞で微調整できます。

❺ 「マークここから」を押す。

最初のプログラム「ここから」が設定され、最初のプログラムマークの上側が水色に変わる。

❻ 本機で録画したい部分の終わりを探し、再生一時停止にする。

編集する

次のページへつづく

❼ 「マークここまで」を押す。

最初のプログラム「ここまで」が設定され、最初のプログラムマークの下側が水色に変わる。

❽ 手順4〜7を繰り返し、プログラムを設定する。

プログラムが設定されると、プログラムマークが水色に変わる。
最大20プログラムまで設定できます。

一度設定したプログラムを消す

最後に設定したプログラムの「ここまで」、「ここから」の順で消去していきます。

1 「マークとりけし」を押す。

最後に設定したプログラムマークが点滅する。「実行」を押すと、設定が取り消されます。

消去を中止する

手順の1で「中止」を押す。

プログラムの全消去

1 メニューでETCの項目の「プログラムエディット」を選ぶ。（98ページ）

2 「全消去」を押す。

設定したプログラムマークすべてが点滅する。「実行」を押すと、設定が取り消されます。

全消去を中止する

手順の2で「中止」を押す。

プログラムを終了する

「↩終了」を押す。

設定したプログラムはテープを取り出さないかぎり記憶されます。

次の場合、録画機で録画できません

- テープが終わりになっている。
- テープが誤消去防止状態になっている。
- リモコンコードが合っていない。（「リモコン」に設定したとき）
- 録画一時停止解除モードがまちがっている。（「リモコン」に設定したとき）
- プログラムが未設定
- i.LINKケーブル（DVケーブル）を接続していない。（「i.LINK」に設定したとき）
- 接続している録画機の電源が入っていない。

操作2 デジタルプログラムエディットを実行する（ダビングする）

機器の接続と録画機が録画一時停止状態であることを確認する。（i.LINKでの接続のときは不要です。）

録画機がデジタルビデオカメラレコーダーのときは、電源スイッチを「ビデオ」にする。

❶ メニューでETCの項目の「プログラムエディット」を選択し、「スタート」を押す。

❷ 「実行」を押す。

最初のプログラムの始まりをサーチし、ダビングを開始する。このとき、実行中のプログラムマークが点滅する。
本機には、サーチ中は「サーチ中」、録画中は「エディット中」が表示される。
ダビングの終了したプログラムはプログラムマークが水色に点灯する。
ダビングが終わると本機も録画機も自動的に停止する。

エディット中にダビングを中止する

「中止」を押す。

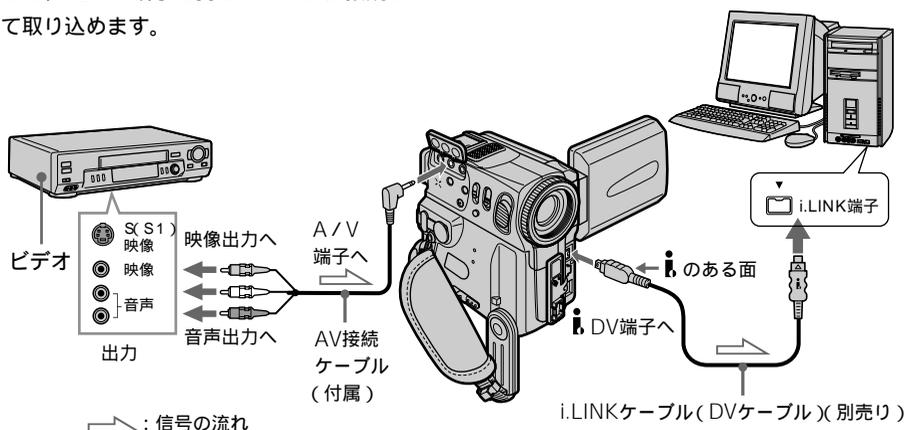
デジタルプログラムエディットを終了する

ダビングが終了すると本機は停止し、画面は「プログラムエディット」の設定画面に戻る。

終了するには、「⮐終了」を押す。

アナログ機器とパソコンをつなげて使う
– デジタル変換機能

アナログ機器に録画した映像音声を本機を通じて、i.LINK端子を持つパソコンに接続して取り込めます。

ビデオ
S（S1）映像
映像
音声
出力
映像出力へ
音声出力へ
A／V端子へ
AV接続ケーブル（付属）
のある面
DV端子へ
i.LINK端子
i.LINKケーブル（DVケーブル）（別売り）
：信号の流れ

ご注意

- ビデオ信号の取り込みや送り出しができるソフトウェアがパソコン側にインストールされている必要があります。
- 本機に入力される映像信号の状態によっては、本機からのDV出力をパソコンに入力した場合、正しいアナログ映像を出力することができないことがあります。受信機によっては色消えやノイズがでることがあります。
- 著作権保護の為の信号（ID-2方式など）が記録されているソフトを再生して本機に入力し、本機から出力された信号を録画したり、パソコンで取り込むことはできません。
- AV接続ケーブル（付属）のかわりにSケーブル（別売り）を使ってパソコンに取り込むことができます。

メニューの「画面表示」を「パネル」にしてください。
（お買い上げ時は「パネル」に設定されています。）

❶ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

❷ 「機能」を押し、ページ１画面を出す。

❸ メニューで の項目の「A/V入力→DV出力」を「入」にする。（98ページ）

❹ アナログビデオ機器で再生を始める。

❺ パソコンで取り込みを始める。

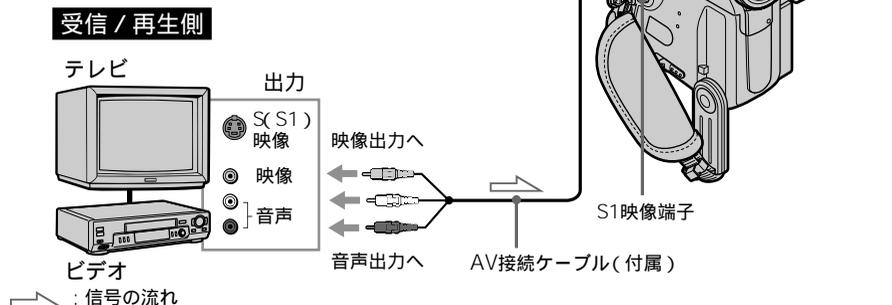
取り込む操作は、お使いになるパソコンのソフトウェアによって異なります。詳しくは、お使いになるソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

取り込みが終わったら

パソコンで取り込み動作を停止し、アナログビデオ機器の再生を停止する。

ビデオやテレビから録画する

AV接続ケーブルでつなぐ

本機を録画機として使い、再生側のビデオの画像やテレビ番組を録画・編集できます。

ビデオやテレビの音声出力端子がひとつ(モノラル)の場合
AV接続ケーブルの黄色いプラグを映像出力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぎます。音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が記録されます。

別売りのS映像ケーブルを使うと
録画画像をより忠実に再現できます。ビデオやテレビにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色端子（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルで本機のS1映像端子とビデオやテレビのS（S1）映像端子を接続することをおすすめします。
DV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

メニューの「画面表示」を「パネル」にしてください。
（お買い上げ時は「パネル」に設定されています。）

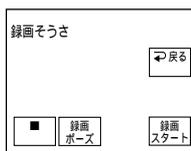
❶ カセットを準備する。

本機　：録画用カセットを入れる。
再生機：ビデオから録画するときは、録画済みのカセットを入れる。

❷ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

❸ 「機能」を押し、「ページ3」を押してページ3画面を出す。

❹ 本機を録画一時停止にする。

「録画そうさ」を押し、次に「録画ポーズ」を押す。

❺ 再生側のビデオを再生する。または、録画したいテレビ番組を受信する。

ビデオやテレビの画像が液晶画面またはファインダーに映る。

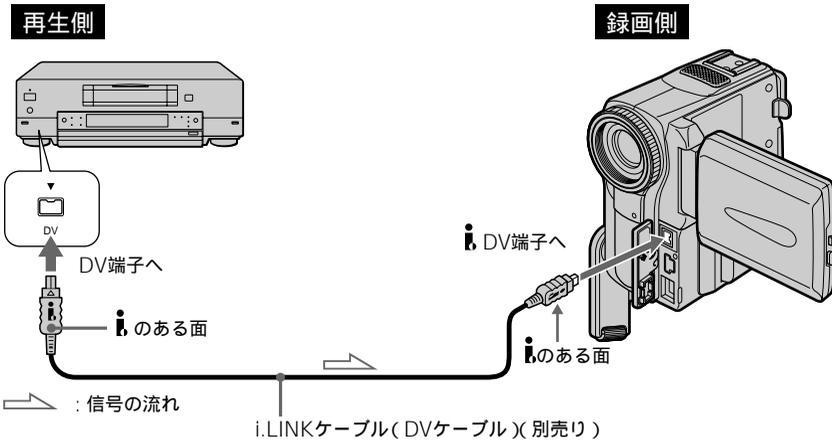
❻ 録画を始める。

録画したい場面で「録画スタート」を押す。

ダビングが終わったら

本機での録画を停止し、再生機で再生を停止する。

i.LINKケーブル（DVケーブル）でつなぐ

本機とDV端子を持っている他のビデオ機器を1本のi.LINKケーブル（DVケーブル）（別売り）でつなぎ、本機で録画・編集ができます。デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。

i.LINKケーブル（DVケーブル）で本機と接続できるのは1台だけです

デジタルダビング編集中は
モニター映像に色ムラが出ることがありますが、ダビングされた画像には影響ありません。

再生一時停止にしている画像は
DV端子を使ってダビングすると粗い画像になります。
また、本機で再生したとき画像がぶれることがあります。

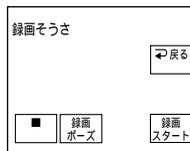
❶ カセットを準備する。

本機　：録画用カセットを入れる。
再生機：撮影済みのカセットを入れる。

❷ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

❸ 「機能」を押し、「ページ3」を押してページ3画面を出す。

❹ 本機を録画一時停止にする。

「録画そうさ」を押し、次に「録画ポーズ」を押す。

録画を始める前に
液晶画面またはファインダーに「DV入力」の表示が出ているのを確認してください。表示は両方の機器に出ることもあります。

❺ 再生側のビデオ機器を再生する。

DV機器の画像が液晶画面またはファインダーに映る。

❻ 「録画スタート」を押して、録画を始める。

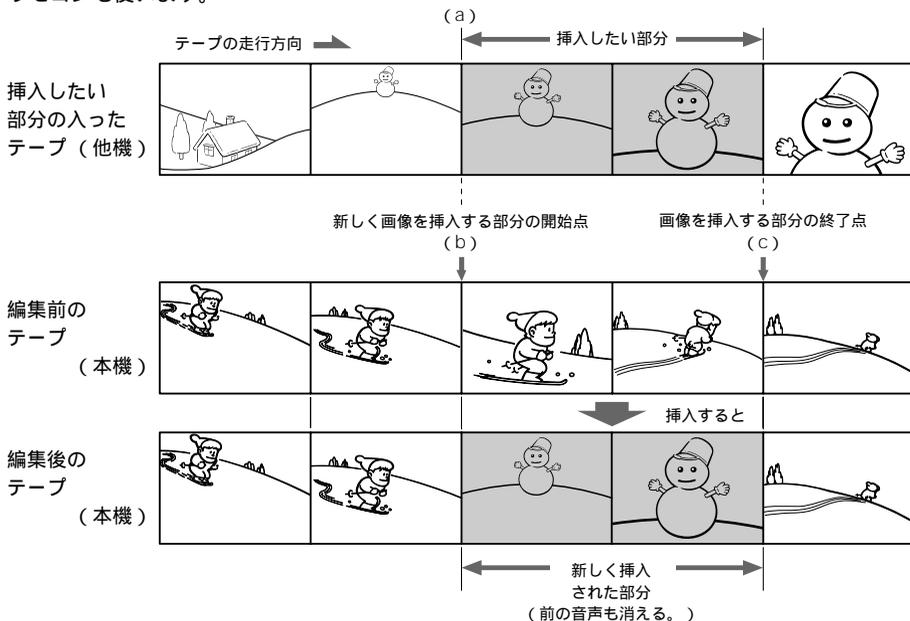
ダビングが終わったら

本機での録画を停止し、再生機での再生を停止する。

撮影したテープに新しく画像を挿入する

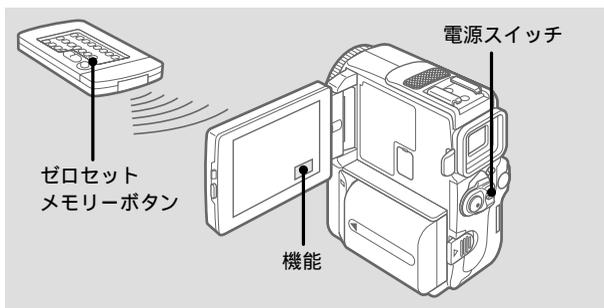
撮影、録画済みテープの指定した部分に、他のビデオからの映像・音声を挿入（インサート編集）できます。

リモコンも使います。

80ページまたは82ページの接続と準備をし、挿入したい部分の入ったテープを他機に入れておきます。

ご注意

新しく挿入された部分の編集前の映像と音声は消えます。

他のビデオで録画したテープに画像を挿入すると
画質や音質が劣化することがあります（本機以外のDCR-PC9を含む）。本機で録画したテープに挿入することをおすすめします。

新しく挿入された部分を再生すると
終了点の画像や音声が乱れることがありますが、故障ではありません。
LPモード時は、開始点と終了点の画像と音声が乱れることがあります。

❶ **本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。**

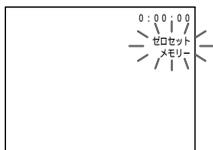
❷ **他機（再生側）で、挿入したい部分（a）の少し前で、再生一時停止状態にする。**

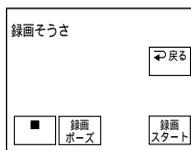
終了点を設定せずに録画するときは
手順3、4をとばします。
終了したいところで■停止ボタンを押します。

ゼロセットメモリー表示は
「機能」を押すと表示されません。

❸ 本機で、挿入部分の終了点（c）を探し、再生一時停止状態にする。

❹ リモコンのゼロセットメモリーボタンを押す。

「ゼロセットメモリー」が点滅し、挿入部分の終了点が記憶され、テープカウンター値が「0:00:00」になる。

❺ 本機で、挿入部分の開始点（b）を探し、録画一時停止状態にする。

「機能」を押してページ3画面を選び、「録画そうさ」を押す。次に「録画ポーズ」を押す。

❻ 他機（再生側）のII一時停止ボタンを先に押し、数秒後に本体の「録画スタート」を押す。

本機の挿入部分に、新たに他機（再生側）の映像と音声が記録され始める。
テープカウンター値が「0:00:00」の付近で、本機は自動的に停止になり、ゼロセットメモリーが解除される。

終了点の位置を変える

手順5の後でゼロセットメモリーボタンをもう1度押し、「ゼロセットメモリー」表示を消して、手順3からやり直す。

記録済みテープに音声を追加する – アフレコ

録画済みテープの指定した部分に音声を追加できます。撮影時の音声は消えません。

次のいずれかで、音声を録音してください。

ご注意

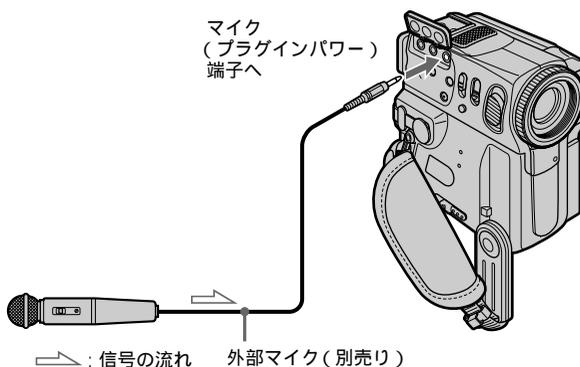
- 16BITモードで記録されたテープには、アフレコできません。（104ページ）
- LPモードで記録されたテープには、アフレコできません。
- i.DV端子からはアフレコできません。
- テープの無記録部分にはアフレコできません。
- A/V端子または内蔵マイクでアフレコするときは、S1映像端子、A/V端子から映像は出力されません。映像は液晶画面またはファインダーで確認してください。アフレコする音声はヘッドホンで確認してください。

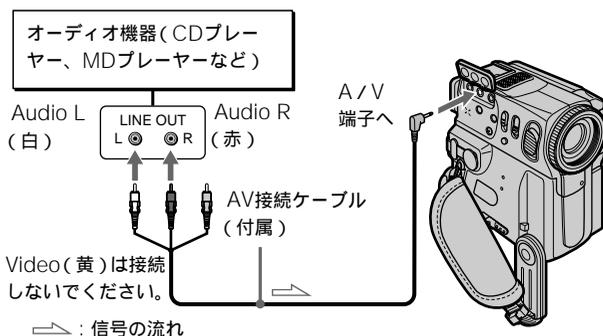
すべての接続をすると
追加する音声は、以下の順番で優先されて録音されます。
- マイク（プラグインパワー）端子
- A/V端子
- 内蔵マイク

i.LINKケーブル（DVケーブル）が接続されていると
アフレコできません。

本機で録画されたテープに
アフレコすることをおすすめします。他のビデオ（本機以外のDCR-PC9を含む）で録画したテープにアフレコすると音質が劣化することがあります。

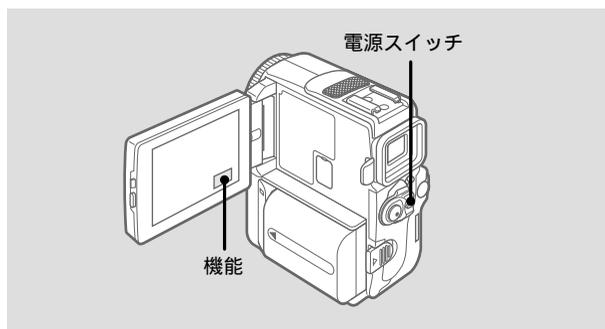
誤消去防止状態のカセットでは
アフレコできません。誤消去防止つまみを元に戻してください。

別売りの外部マイクをマイク端子につなぐ

AV接続ケーブルでテレビなどとつないで画像と音声を確認することができます。アフレコする音声はスピーカーから出力されません。ヘッドホンかテレビで確認してください。

A/V端子にオーディオ機器などをつなぐ

内蔵マイクでアフレコする場合

接続は不要です。

アフレコする

上記のいずれかの接続をして、次の操作をします。

❶ **本機に録画済みカセットを入れる。**

❷ **本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。**

❸ **アフレコの開始点を決める。**

▶ II 再生/一時停止ボタンを押して再生する。アフレコを始めたいところでもう一度押し、一時停止にする。
◀II< ／ >II▶ コマ送りで微調整できます。リモコンも使えます。

❹ **「機能」を押し、「ページ3」を押してページ3画面を出す。**

❺ **「アフレコそうさ」を押す。**

アフレコそうさ画面がでる。

❻ **「アフレコ」を押す。**

緑色の⊖IIマークが出る。

次のページへつづく

より正確にアフレコするには
再生中にアフレコを終了したいところで、あらかじめリモコンのゼロセットメモリーボタンを押しておきます。そのあと手順3からアフレコをはじめると、アフレコの終了点で自動的に録音が止まります。

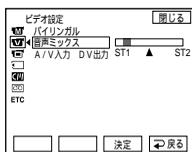
❼ ►II再生/一時停止ボタンを押すと同時に、オーディオ機器またはマイクで追加する音声を出す。

画像を再生しながら、ステレオ2に追加する音声を記録する。
アフレコ中は画面上に赤色の●マークが出る。

❽ アフレコを終了したいところで■停止ボタンを押す。

アフレコした音声を聞く

アフレコしたテープを再生する。

メニューで[VTR]の項目の「音声ミックス」を選び、撮影時の音声（ステレオ1）とアフレコした音声（ステレオ2）の音のバランスを調整します。（98ページ）

お買い上げ時はステレオ1の音声のみが出るように設定されています。メニューでバランスを調整しても、電源をはずして約5分たつとバランスはステレオ1の音のみが出る設定に戻ります。

タイトルを入れる

CM のみ カセットメモリー付きカセットを使うと、タイトルを入れられます（インデックスタイトラー機能）。再生すると、タイトルを入れた場面から約5秒間タイトルが出ます。

本機にあらかじめ登録してある8種類のタイトルと、自分で作ったオリジナルタイトル2種類（92ページ）の中から選べます。また、タイトルの色やサイズ、表示位置も選べます。

誤消去防止状態のカセットでは
タイトルを入れられません。誤消去防止ツマミを元に戻してください。

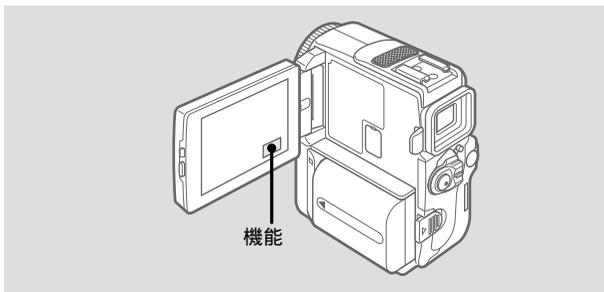
オリジナルタイトルを入れるときは
手順3で「🗈」を選びます。

テープの無記録部分には
タイトルを入れられません。

テープの途中に無記録部分があると
タイトルが正しく表示されないことがあります。

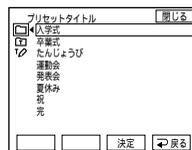
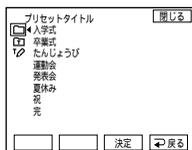
本機で入れたタイトルは
- インデックスタイトラー機能付きのMini DVビデオでのみ見られます。
- 他機で頭出ししたとき、インデックスデータとして誤検出されることがあります。

タイトルがたくさん打ち込まれている、または他のデータが記録されているテープには
メモリー不足でタイトルを入れられないことがあります。この場合は、不要なデータを消去してください。

タイトルを出したくないとき
メニューで「タイトル表示」を「切」にします。（98ページ）

1 ［再生中］・［再生一時停止中］または［撮影中］・［撮影スタンバイ中］のとき
「機能」を押し、「ページ2」を押してページ2画面を出す。

2 **「タイトル」を押す。**

タイトル画面が出る。

3 **「↓」／「↑」を押して「🗀」を選び、「決定」を押す。**

編集する

設定表示と表示順

- 「色設定」
  しろ→きいろ→むらさき→あか→みずいろ→みどり→あお
- 「サイズ設定」
  ちいさい↔おおきい
  12文字をこえるタイトルには「おおきい」サイズの設定はできません。12文字をこえるとサイズ決定後、「ちいさい」サイズに戻ります。
- 「位置設定」
  「ちいさい」サイズは9段階、「おおきい」サイズは8段階から選べます。

1つのカセットに記憶できるタイトルは

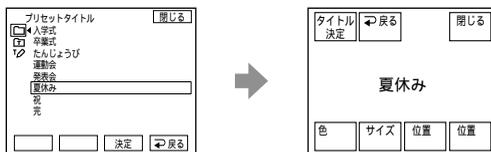
平均5文字で20タイトルです。ただし、カセットメモリーに日付データ／フォトデータ／カセットラベルデータが容量いっぱいに入っているときは、平均5文字で11タイトルです。１つのカセットのカセットメモリーに入る各データの容量は次の通りです。

- 日付データ　　6つ
- フォトデータ　12枚
- カセットラベル1つ

カセットメモリーの容量がいっぱいのときは

「カセットメモリーがいっぱいです」のお知らせメッセージが出ます。不要なタイトルを消してください。

❹ 「↓」／「↑」を押して入れたいタイトルを選び「決定」を押す。

タイトルが表示される。

❺ 「色」または「サイズ」、「位置↓」／「位置↑」を押して、希望の色、サイズ、位置を選択する。

表示されているタイトルの色、サイズ、位置でよいときは手順6にすすむ。

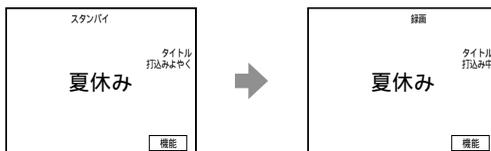
❻ 「タイトル決定」を押す。

❼ 「タイトル打込み」を押す。

［再生中］・［再生一時停止中］または［撮影中］のとき

［打込み中］の表示が出る。約5秒後に表示が消え、タイトルが記憶される。

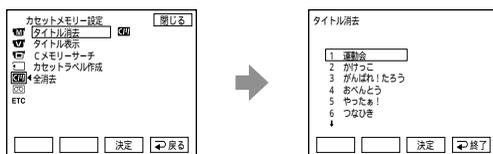
［撮影スタンバイ中］のとき

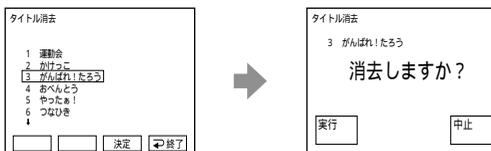
［打込みよやく］の表示が出る。スタート／ストップボタンを押して撮影を始めると同時に［打込み中］の表示になり、約5秒後に表示が消え、タイトルが記憶される。

タイトルを消す

❶ 電源スイッチを「カメラ」または「ビデオ」にする。

❷ 「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❸ メニューで [CM] の項目の「タイトル消去」を選び、「決定」を押す。(98ページ)

タイトル消去画面が出る。

❹ 「↓」/「↑」を押して消したいタイトルを選び、「決定」を押す。

「消去しますか?」の表示が出る。

❺ 消去するタイトルを確認し、「実行」を押す。

機能画面に戻す

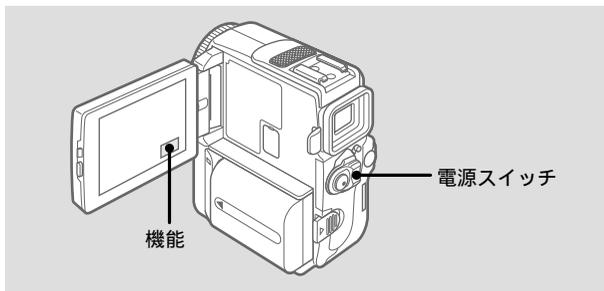
「閉じる」を押す。

タイトルの消去を中止する

手順5で「中止」を押す。

オリジナルタイトルを作る

20文字以内のタイトルを自分で作って2種類
まで本機に記憶できます。

撮影スタンバイ状態で、カセットを入れてタイトルを作成中に5分以上たつと自動的に電源が切れます
作成中のタイトルは残っています。一度電源スイッチを「切（充電）」にして、手順1からやり直してください。
5分以上かかりそうなときは「ビデオ」にしておくかカセットを取り出しておけば電源は切れません。

❶ **電源スイッチを「カメラ」または「ビデオ」にする。**

❷ **「機能」を押し、「ページ2」を押してページ2画面を出す。**

❸ **「タイトル」を押す。**

❹ **「↓」／「↑」を押して「T🖉」を選び、「決定」を押す。**

漢字変換機能はありません
「きごう」にある漢字以外をタイトルに使うことはできません。

文字を消すとき
「←」を押すと、一番後ろの文字が消えます。

空白を入れたいとき
「→」を押します。

同じボタン内の文字を入れたいとき
「→」でカーソルを移動させてから文字を入れます。

小さい「っ」などの文字を選ぶとき
ボタンを繰り返し押してください。

❺ 「↓」／「↑」を押して、「オリジナル1作成」または「オリジナル2作成」を選び、「決定」を押す。

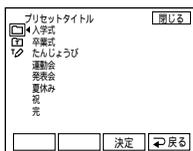
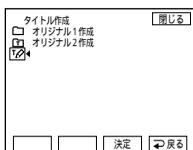
❻ 入力する文字の種類を選ぶ。

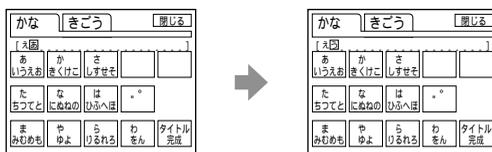
「かな」：ひらがなを入力するとき
「きごう」：アルファベットや数字を入力するとき

「かな」を選んだとき

「きごう」を選んだとき

❼ 希望の文字列を選び、ボタンを繰り返し押して希望の文字を入力する。

1つのボタンに複数の文字が割り当てられており、ボタンを押す回数によって文字が切り換わる。

❽ 「→」を押してカーソルを右に移動し、2文字目を入力する。

手順7を繰り返す。

❾ 「タイトル完成」を押す。

タイトルが記憶される。

機能画面に戻す

「閉じる」を押す。

作成したタイトルを変更する

手順5で変更したいオリジナルタイトルを選び、「決定」を押し、文字を選び直す。

カセットに名前を付ける – カセットラベル

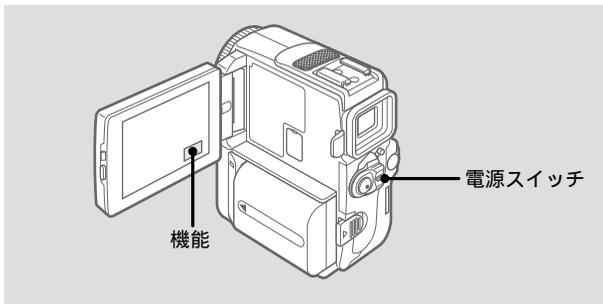
カセットメモリー付きカセットには、10文字までの名前を付けることができます。

名前を付けたカセットを入れ、電源スイッチを入れると、付けた名前が自動的に約5秒表示されます。

誤消去防止状態のカセットでは
名前をつけられません。誤消去防止ツマミを元に戻してください。

タイトルがたくさん打ち込まれている、または他のデータが記録されているテープには
メモリー不足でカセットに名前を付けられないことがあります。この場合は、不要なデータを消去してください。

タイトルが入れてあると
カセットの名前が表示されるときに、カセットに記憶されているタイトルが4つまで画面に出ます。

文字を入れるスペースが10文字分よりも少ないとき
カセットメモリー容量がいっぱいになっています。スペースが表示されている分だけ文字を入れることができます。

❶ 名前を付けたいカセットを入れる。

❷ 電源スイッチを「カメラ」または「ビデオ」にする。

❸ 「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❹ メニュー 項目の「カセットラベル作成」を選び、「決定」を押す。**（98ページ）**

カセットラベル作成画面が出る。

編集する

次のページへつづく

漢字変換機能はありません
［きごう］にある漢字以外を使うことはできません。

文字を消すとき
「←」を押すと、一番後ろの文字が消えます。

空白を入れたいとき
「→」を押します。

同じボタン内の文字を入れたいとき
「→」でカーソルを移動させてから文字を入れます。

小さい「っ」などの文字を選ぶとき
ボタンを繰り返し押してください。

❺ 入力する文字の種類を選ぶ。

「かな」：ひらがなを入力するとき
「きごう」：アルファベットや数字を入力するとき

「かな」を選んだとき

「きごう」を選んだとき

❻ 希望の文字列を選び、ボタンを繰り返し押して希望の文字を入力する。

1つのボタンに複数の文字が割り当てられており、ボタンを押す回数によって文字が切り換わる。

❼ 「→」を押してカーソルを右に移動し、2文字目を入力する。

手順6を繰り返す。

❽ 「ラベル完成」を押す。

カセットラベルが記憶される。

機能画面に戻す

「閉じる」を押す。

作成したカセットラベルを消す

手順4で「←」を選んで消す。

作成したカセットラベルを変更する

カセットラベルを変更したいカセットを入れ、カセットラベルを作るときと同じ手順で作り直す。

カセットメモリーのデータを全て消去する

カセットメモリーに保存されている全てのデータを一度に消去することができます。

❶ 電源スイッチを「カメラ」または「ビデオ」にする。

❷ 「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❸ メニューでCMの項目の「全消去」を「消去」にする。（98ページ）

❹ 「消去します」を選び、「決定」を押す。

「消去中」が出る。
全消去が完了すると「完了」が出る。

機能画面に戻す

「閉じる」を押す。

消去を中止する

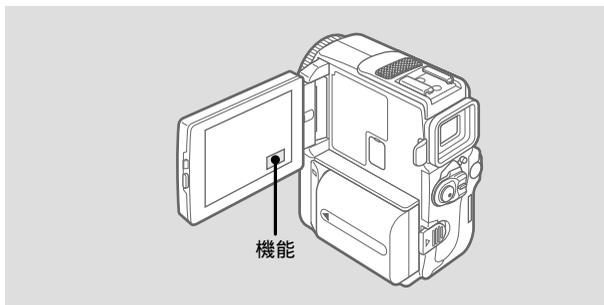
手順3または4で「戻る」を選び、「決定」を押す。

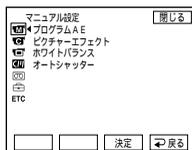
メニューで設定を変える

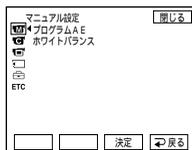
画面上のメニュー項目を、「↓」／「↑」で選択し、本機のお買い上げ時の設定を一部変更することができます。

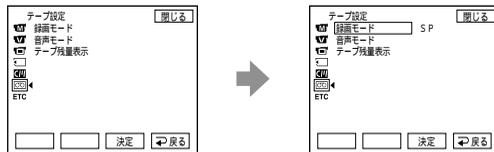
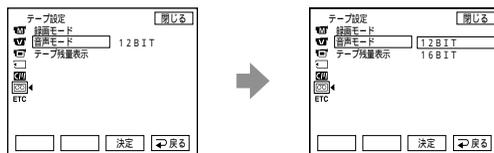
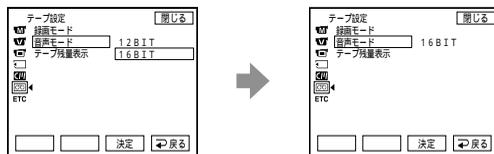
次の順で選択します。
メニュー画面→アイコン→項目→設定内容

メニュー項目は
以下のアイコン（絵文字）で区別されています。

- マニュアル設定
- カメラ設定
- ビデオ設定
- パネル／VF設定
- メモリー設定
- カセットメモリー設定
- テープ設定
- 初期設定
- ETC その他

❶ ［撮影スタンバイ中］または電源スイッチを「ビデオ」、「メモリー」にしたとき
「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❷ **「メニュー」を押して、メニュー画面を出す。**

撮影スタンバイ中のとき（「カメラ」のとき）

「ビデオ」のとき

「メモリー」のとき

❸ 「↓」／「↑」を押して希望のアイコンを選び、「決定」を押す。

❹ 「↓」／「↑」を押して希望の項目を選び、「決定」を押す。

❺ 「↓」／「↑」を押して設定を切り換え、「決定」を押す。

❻ 必要なだけ手順3〜5を繰り返す。

手順3に戻るには、「⮐戻る」を押す。

詳しくは「各設定項目の説明」（100ページ）をご覧ください。

機能画面に戻す

「閉じる」を押す。

各設定項目の説明　お買い上げ時は、下表の●印側に設定されています。

電源スイッチの位置によって、操作できる項目に違いがあります。本機の画面には、その時使える項目のみ表示されます。

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
[M] **プログラムAE**		被写体や撮影状況により適した調節を自動的に行う。（42ページ）	「カメラ」「メモリー」
ピクチャーエフェクト		画像にテレビや映画のような特殊効果を加える。（39、55ページ）	「ビデオ」「カメラ」
ホワイトバランス		ホワイトバランスを調整する。（44ページ）	「カメラ」「メモリー」
オートシャッター	●入	明るいとき、自動的に電子シャッターが働く。	「カメラ」
	切	明るいときでも、自動的に電子シャッターが働かない。	
[C] **デジタルズーム**	●切	デジタルズームが働かない。10倍までのズームが働く。	「カメラ」
	20×	ズームが10倍を超えると20倍までデジタルズームが働く。（22ページ）	
	120×	ズームが10倍を超えると120倍までデジタルズームが働く。（22ページ）	
ワイドTV	●切	ワイド録画モードにしない。	「カメラ」
	入	ワイド録画モードにする。（36ページ）	
手ぶれ補正	●入	手ぶれ補正が働く。	「カメラ」
	切	手ぶれ補正が働かない。三脚を使用するときに自然な画像になる。	
N.S.**ライト**	●入	NIGHTSHOTライトを使用する。（24ページ）	「カメラ」「メモリー」
	切	NIGHTSHOTライトを使用しない。	
コマ撮り	●切	コマ撮り機能を働かせない。	「カメラ」
	入	コマ撮り機能を働かせる。（52ページ）	
インターバル録画	入	インターバル録画機能を働かせる。（49ページ）	「カメラ」
	●切	インターバル録画機能を働かせない。	
	設定	インターバル録画機能の「ウェイトタイム」と「録画タイム」を設定する。	
エディットサーチ	●切	「Ⓒ／−」/「＋」を表示しない。	「カメラ」
	入	「Ⓒ／−」/「＋」を表示する。	

手ぶれ補正は
- 手ぶれ補正が「入」になっていても、手ぶれが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- コンバージョンレンズ（別売り）を取り付けると、手ぶれ補正が効きにくくなります。

手ぶれ補正を解除すると
本機を左右に動かしたときにその動きを補正しようとするなど、不必要な補正を防ぎます。このとき画面に手ぶれ補正「切」表示（OFF）が出ます。

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
バイリンガル	●切	ステレオ音声または主＋副音声で再生する。（163ページ）	「ビデオ」
	メイン	左音声または主音声で再生する。	
	サブ	右音声または副音声で再生する。	
音声ミックス		音声モードST1←→ST2間のバランスを調節する。（88ページ） ST1 ▲ ST2	「ビデオ」
A/V入力→DV出力	●切	本機を通してデジタルの画像音声をアナログ出力する。	「ビデオ」
	入	本機を通してアナログの画像音声をデジタル出力する。（79ページ）	
パネルバックライト	●明るさノーマル	液晶画面の明るさを標準にする。	「ビデオ」「カメラ」「メモリー」
	明るい	液晶画面を明るくする。	
パネル色のこさ		液晶画面の色のこさを「↓」／「↑」を押して、バーで調節する。 うすくなる ▲ こくなる	「ビデオ」「カメラ」「メモリー」
VFバックライト	●明るさノーマル	ファインダーの明るさを標準にする。	「ビデオ」「カメラ」「メモリー」
	明るい	ファインダーを明るくする。	

「パネルバックライト」、「VFバックライト」の「明るい」を選ぶと
撮影時のバッテリー使用時間が約1割短くなります。

バッテリー以外の電源使用時は
「パネルバックライト」、「VFバックライト」は自動的に「明るい」になります。

メニューで設定を変える（つづき）

アイコン/項目		設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
静止画設定				
	連写	●切	連写しない。	「メモリー」
		マルチ画面連写	9連写する。（116ページ）	
	画質	●ファイン	高画質で静止画を記録する。	「ビデオ」 「メモリー」
		スタンダード	標準の画質で静止画を記録する。	
ムービー設定				
	画像サイズ	●320×240	動画を320×240サイズで記録する。	「ビデオ」 「メモリー」
		160×112	動画を160×112サイズで記録する。	
	メモリー残量表示	●オート	以下の時にメモリー残量を表示する。 • 電源／“ メモリースティック ”を入れた後、“ メモリースティック ”残量が確定してから5秒間。 • 電源スイッチを「メモリー」にして“ メモリースティック ”の残量が1分未満になったとき。 • 動画記録が終了してから5秒間。	「ビデオ」 「メモリー」
		入	メモリー残量を常に表示する。	
スライドショー		—	スライドショーをする。（144ページ）	「メモリー」
全消去		—	プロテクトのかかっていないすべての画像を消去する。（149ページ）	「メモリー」

画質を選ぶと
画質に合った記録可能枚数が表示されます。

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
フォーマット	●戻る	フォーマット（初期化）を中止する。	「メモリー」
	フォーマット	本機に入れた“メモリースティック”をフォーマット（初期化）する。 1「フォーマット」の項目を選び、「決定」を押す。 2「フォーマット」を選び、「決定」を押す。 3「フォーマットします」を選び、「決定」を押す。 「フォーマット中」の表示が点滅する。「完了」と表示されると終了。	
オートフォトコピー	—	テープの静止画を“メモリースティック”にコピーする。（128ページ）	「ビデオ」
タイトル消去	—	タイトルを消去する。（91ページ）	「ビデオ」「カメラ」
タイトル表示	●入	タイトルを入れてあるところでタイトルを出す。	「ビデオ」
	切	タイトルを出さない。	
Cメモリーサーチ	●入	サーチ時にカセットメモリーを使用する。（59ページ）	「ビデオ」
	切	サーチ時にカセットメモリーを使用しない。	
カセットラベル作成	—	カセットに名前を付ける。（95ページ）	「ビデオ」「カメラ」
全消去	—	カセットメモリーのデータをすべて消去する。（97ページ）	「ビデオ」「カメラ」

フォーマットについて

- 市販の“メモリースティック”はお買い上げ時にフォーマット（初期化）済みです。あらためてフォーマット（初期化）する必要はありません。
- 「フォーマット中」と表示されている間は電源スイッチを切り換えたりボタン操作をしないでください。
- “メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると、フォーマット（初期化）できません。
- 「メモリースティックフォーマットエラー」と表示された時は、フォーマット（初期化）してください。

フォーマット（初期化）すると“メモリースティック”の記録内容は消去されます。
画像にプロテクトをかけても消去されます。

次のページへつづく

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
録画モード	●SP	SP（標準）モードで録画する。	「ビデオ」「カメラ」
	LP	SPモードの1.5倍の録画時間で録画する。長時間録画できる。	
音声モード	●12BIT	12ビット（2つのステレオ音声）の記録ができる。	「ビデオ」「カメラ」
	16BIT	16ビット（高音質で1つのステレオ音声）の記録ができる。	
テープ残量表示	●オート	以下のときにテープ残量を表示する。 • 電源／テープを入れた後、テープ残量が確定してから8秒間。 • ►II 再生ボタンまたは画面表示／タッチパネルボタンを押してから8秒間。	「ビデオ」「カメラ」
	入	テープ残量を常に表示する。	

LPモードについて

- LPモードでは本機で記録したテープを本機で再生することをおすすめします。他機で記録したテープを本機で再生すると、モザイク状のノイズが現れることがあります。
- LPモードで記録するときは、本機の性能を最大限に生かすためにソニー製のMaster（マスター）DVテープをおすすめします。
- アフレコしたいときはSPモードで録画してください。LPモードで録画したテープにはアフレコできません。
- テープの途中で、SP/LPモードを切り換えると、再生画像が乱れたり、タイムコードが正しくつながらないことがあります。

音声モードを「16BIT」にすると
アフレコできません。

音声モードが16ビットで記録されたテープでは
音声ミックスのバランス調節をすることができません。

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
日時あわせ	—	日付・時刻を合わせる。（13ページ）	「カメラ」 「メモリー」
デモモード	●入	本機の機能を一覧できる。	「カメラ」
	切	デモンストレーションを表示しない。	
ETC データコード（リモコン操作時）	●日付／カメラデータ	データコードボタンを押したとき、日付・時刻またはカメラデータを表示する。	「ビデオ」 「メモリー」
	日付データ	日付・時刻を表示する。	
時差補正	—	時差の設定をする。 「↓」／「↑」を押して時差を設定すると、時刻も時差に合わせて変わる。時差を0に設定すると、補正前の時間に戻る。	「カメラ」 「メモリー」
おしらせブザー	●メロディー	撮影スタート／ストップ時や、誤った操作をしたときにメロディーが鳴る。	「ビデオ」 「カメラ」 「メモリー」
	ノーマル	メロディーのかわりにブザーが鳴る。	
	切	メロディー、ブザー、シャッター音が鳴らない。	
リモコン	●入	付属のワイヤレスリモコンが働く。	「ビデオ」 「カメラ」 「メモリー」
	切	リモコンが働かない。他機のリモコンによる誤動作を防ぐ。	
画面表示	●パネル	カウンターなどの画面表示を液晶画面とファインダーに出す。	「ビデオ」 「カメラ」 「メモリー」
	ビデオ出力／パネル	テレビ画面にも画面表示を出す。	
録画ランプ	●入	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯する。	「カメラ」 「メモリー」
	切	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しなくなる。被写体に撮影していることを意識させずに撮影できる。	
プログラムエディット	—	プログラムの作成、実行をする。（68ページ）	「ビデオ」
エディット設定	—	デジタルプログラムエディットでダビングするときに、録画機を操作するための設定とタイミング補正をする。（68ページ）	「ビデオ」

デモモードは
- カセットが入った状態では操作できません。
- お買い上げ時は「スタンバイ」という設定になっています。これは10分後にデモンストレーションが始まる設定です。カセットを入れるか、電源スイッチを「カメラ」以外にするか、メニューで「切」にすれば解除されます。再び「スタンバイ」にするにはメニューで「入」にしたまま電源スイッチをいったん「切（充電）」にし、「カメラ」に戻します。
- デモンストレーション中にタッチパネルを押すと、デモンストレーションが中断され、スタンバイ状態になります。10分後に再びデモンストレーションが始まります。
- NIGHTSHOTスイッチを「入」にしていると、「" NIGHTSHOT "」が表示され、デモンストレーションは始まりません。また、メニューで「デモモード」が選べません。

ご注意

「画面表示」が「ビデオ出力／パネル」のとき画面表示／タッチパネルボタンを押すと、外部入力ができなくなります。

電源をはずして5分以上たつと

「音声ミックス」、「リモコン」、「バイリンガル」、「プログラムAE」、「ホワイトバランス」はお買い上げ時の設定に戻ります。その他のメニュー項目は電源をはずしても設定を保持します。

被写体に接近して撮るとき

「録画ランプ」が「入」になっていると録画ランプの赤色が被写体に反射して映ることがあります。その場合は、「録画ランプ」を「切」にすることをおすすめします。

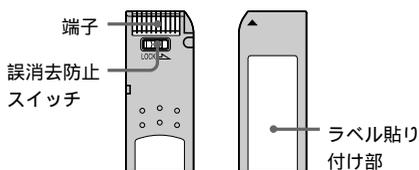
“ メモリースティック ”を使う – はじめに

別売りの“ メモリースティック ”は、画像を記録し、見たい画像を簡単に再生するほか、以下のようなことができます。
– 画像をテープから“ メモリースティック ”、“ メモリースティック ”からテープへ取りこむ。
– 別売りのパソコン接続キット等を使用し、パソコンに画像データを取りこむ。
– 画像の消去、プロテクト、プリントマーク操作。

静止画の圧縮形式（JPEG）
本機は、撮影した静止画データをJPEG（Joint Photographic Experts Group）方式で圧縮/記録しています。ファイル拡張子は「. jpg」です。

動画の圧縮形式（MPEG）
本機は、撮影した動画データをMPEG（Moving Picture Experts Group）方式で圧縮/記録しています。ファイル拡張子は「. mpg」です。

画像のデータファイル名
静止画の場合
– 本機の画面表示：100-0001
– パソコンの画面表示：Dsc00001.jpg
動画の場合
– 本機の画面表示：MOV00001
– パソコンの画面表示：Mov00001.mpg

“ メモリースティック ”について

- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録、消去ができなくなります。
- モデルによっては、誤消去防止スイッチの位置や形状が異なる場合があります。
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  – 読み込み中、書き込み中に“ メモリースティック ”を抜いたり、本機の電源を切った場合
  – 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 端子部に触れたり、金属を接触させないでください。
- ラベルの貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。
  – 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  – 直射日光のあたる場所
  – 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- 持ち運びや保管の際は、“ メモリースティック ”に付属の収納ケースに入れてください。

パソコンでフォーマット（初期化）した“ メモリースティック ”は

パソコン（Windows OS/Macintosh OS）でフォーマットした“ メモリースティック ”は、本機での動作を保証致しません。

画像の互換性について

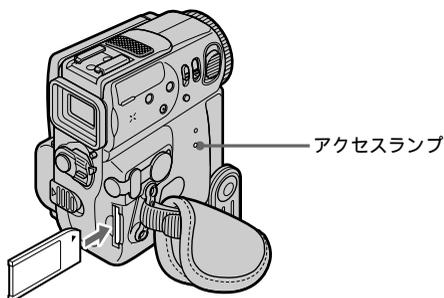
- 本機は（社）電子情報技術産業協会にて制定された統一規格“ Design rules for Camera File systems ”に対応しています。
  統一規格に対応していない機器（DCR-TRV900, DSC-D700/D770）で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 他機で使用した“ メモリースティック ”が本機で使えないときは、103ページの手順にしたがい本機でフォーマット（初期化）をしてください。フォーマットすると“ メモリースティック ”に記録してあるデータは全て消去されますので、ご注意ください。

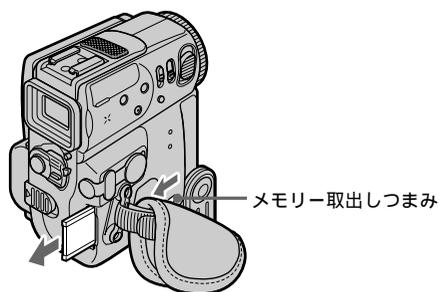
- “ Memory Stick ”（“ メモリースティック ”）、MEMORY STICK はソニー株式会社の商標です。
- WindowsおよびWindows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- MacintoshおよびMac OS、QuickTimeは、Apple Computer Inc.の商標です。
- Real Playerは、米国また諸各国において、米国RealNetworks, Inc.社の登録商標あるいは登録申請中の商標です。
- その他、本書で登録するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文ではTM、®マークは明記していません。

アクセスランプ点灯中および点滅中は
データの読み込み、または書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“ メモリースティック ”やバッテリーを取りはずしたりしないでください。画像データが壊れることがあります。

「メモリースティックエラー」と表示されたときは
“ メモリースティック ”を2，3度入れ直してください。それでも表示が出るときは、“ メモリースティック ”が壊れていることがあります。“ メモリースティック ”を交換してください。

“ メモリースティック ”を入れる

“ メモリースティック ”を、▲マークを下の図のようにして奥まで押しこむ。

“ メモリースティック ”を取り出す

メモリー取出しつまみを矢印の方向へずらす。

“ メモリースティック ”を使う

ご注意

- タッチパネルを使うときは、液晶画面の裏側をささえながら親指で押すか、人差し指で軽く押してください。ペンなどの先の尖ったもので押さないでください。
- ぬれた手で液晶画面に触れないでください。
- 「機能」が表示されていないときは、液晶画面を軽く押すと表示されます。液晶画面の表示は、本機の画面表示／タッチパネルボタンを押して出したり消したりすることができます。
- 押したボタンが動作しないときは調節（キャリブレーション）が必要です。（171ページ）

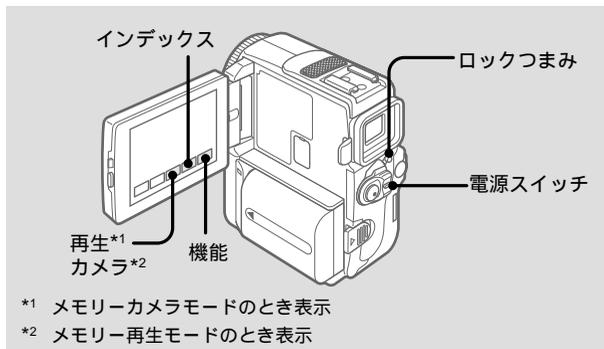
各々の項目が設定されているときは
緑色のバー表示が項目の上に出ます。

選択できないボタンは
グレー表示になります。

タッチパネルは
ファインダーを見ながら操作することもできます。（53ページ）

タッチパネルの使い方

操作に必要なボタンが液晶画面に表示されます。指で直接ボタンを押して操作します。

*1　メモリーカメラモードのとき表示
*2　メモリー再生モードのとき表示

❶ 電源スイッチを「メモリー」にする。

ロックつまみが左側になっているときは右側（解除）にする。

❷ OPENボタンを押して、液晶画面を開ける。

操作に必要なボタンが出る。

メモリーカメラモードのとき

メモリー再生モード（静止画）のとき

2つのモードは「再生」ボタンまたは「カメラ」ボタンを押すことで入れ換わります。

「機能」を押すと

液晶画面に操作ボタンが現れます。

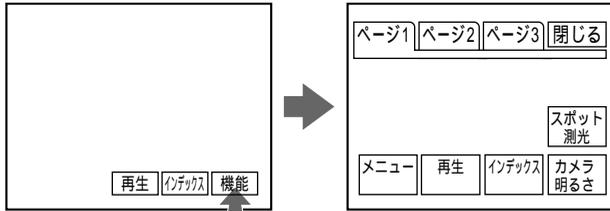
［メモリーカメラモード］
ページ1画面のとき
- 「メニュー」
- 「再生」
- 「インデックス」
- 「スポット測光」
- 「カメラ明るさ」

［メモリーカメラモード］
ページ2画面のとき
- 「パネル明るさ」
- 「再生」
- 「インデックス」
- 「メモリーミックス」

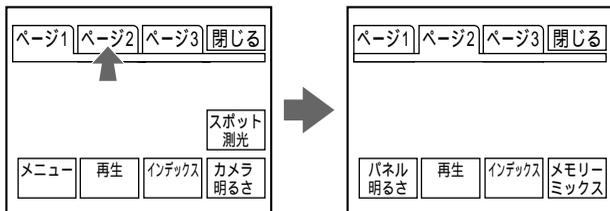
［メモリーカメラモード］
ページ3画面のとき
- 「セルフタイマー」
- 「再生」
- 「インデックス」
- 「音量」

［メモリー再生モード］
ページ1画面のとき
- 「メニュー」
- 「カメラ」
- 「インデックス」
- 「消去」
- 「＋」
- 「－」

［メモリー再生モード］
ページ2画面のとき
- 「パネル明るさ」
- 「カメラ」
- 「インデックス」
- 「再生ズーム」
- 「＋」
- 「－」

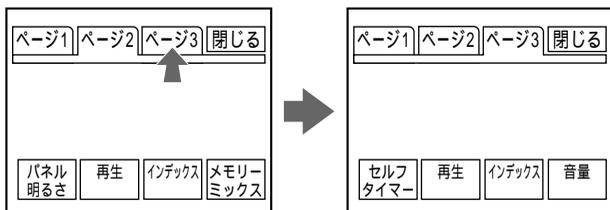
［メモリー再生モード］
ページ3画面のとき
- 「データコード」
- 「カメラ」
- 「インデックス」
- 「＋」
- 「－」

❸ 「機能」を押す。

操作に必要なボタンが出る。（ページ1画面）

メモリーカメラモードのとき

❹ 「ページ2」を押す。

操作に必要なボタンが出る。（ページ2画面）

❺ 「ページ3」を押す。

操作に必要なボタンが出る。（ページ3画面）

❻ 希望の項目を押す。

詳しくは各機能の説明をご覧ください。

機能画面に戻す

「閉じる」を押す。

設定を決定する

「⮐決定」を押す。

設定を解除する

「⮐切」を押す。ページ1／ページ2／ページ3画面に戻る。

ご注意

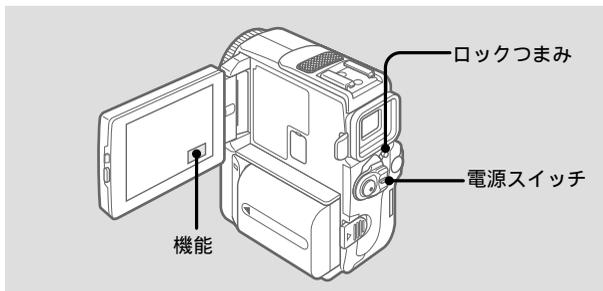
画像によっては、画質を変えても画質に差がないことがあります。

画質の違いは
画像はJPEG方式で圧縮処理をしてから記録されます。記録されるときに割り当てられるメモリー容量は画質により、次のようになります。
（画像サイズは、画質モードに関係なく640×480で、圧縮前のデータ量は約600Kバイトです。）

ファイン	約100Kバイト
スタンダード	約 60Kバイト

画質表示は
再生時は表示されません。

静止画の画質を選ぶ

あらかじめ静止画記録時の画質を選んで記録できます。お買い上げ時は「ファイン」に設定されています。

❶ **電源スイッチを「メモリー」または「ビデオ」にする。**

ロックつまみが左側になっているときは右側（解除）にする。

❷ **「機能」を押し、ページ1画面を出す。**

❸ **メニューで▭の項目の「静止画設定」を選び、「決定」を押す。（98ページ）**

❹ **「↓」/「↑」を押して「画質」を選び、希望の画質を選ぶ。**

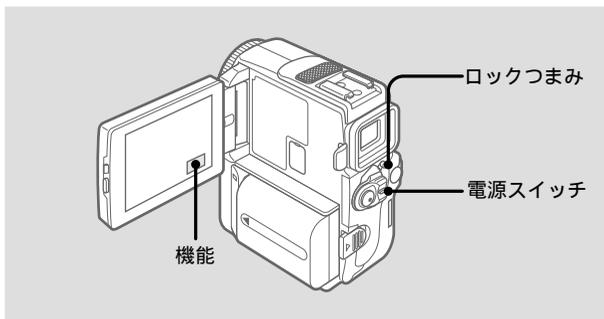
画質について

設定	表示	意味
ファイン	FINE	画質を優先するときに使います。約1/6に圧縮されます。
スタンダード	STD	標準の画質です。約1/10に圧縮されます。

機能画面に戻す

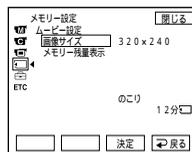
「閉じる」を押す。

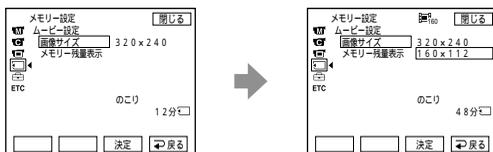
動画の画像サイズを選ぶ

動画のサイズには「320×240」または「160×112」の2種類あります。お買い上げ時は「320×240」に設定されています。

❶ **電源スイッチを「メモリー」にする。**

ロックつまみが左側になっているときは、右側（解除）にする。

❷ **「機能」を押し、ページ1画面を出す。**

❸ **メニューで□の項目の「ムービー設定」を選び、「決定」を押す。（98ページ）**

“メモリースティック”を使う

❹ 「↓」/「↑」を押して、「画像サイズ」を選び、「決定」を押す。

❺ 「↓」/「↑」を押して、希望の画像サイズを選び、「決定」を押す。

表示は次のように変わります。

320 ←→ 160

画像サイズについて

設定	意味	表示	
		記録時	再生時
640×480	静止画を640×480サイズで記録する。	–	–
320×240	動画を320×240サイズで記録する。	320	320
160×112	動画を160×112サイズで記録する。	160	160

動画の最大記録時間について

画像サイズ	最大記録時間
320×240	15秒
160×112	60秒

1枚の“ メモリースティック ”に記録できる静止画枚数の目安

画質の設定および被写体の状況で撮影枚数が異なります。下の表の数字は、本機でフォーマットした“ メモリースティック ”に記録できる枚数です。

4Mバイトタイプ（別売り）

ファイン	約40枚
スタンダード	約60枚

8Mバイトタイプ（別売り）

ファイン	約81枚
スタンダード	約122枚

16Mバイトタイプ（別売り）

ファイン	約164枚
スタンダード	約246枚

32Mバイトタイプ（別売り）

ファイン	約329枚
スタンダード	約494枚

64Mバイトタイプ（別売り）

ファイン	約659枚
スタンダード	約988枚

128Mバイトタイプ（別売り）

ファイン	約1319枚
スタンダード	約1978枚

1枚の“ メモリースティック ”に記録できる動画の記録時間の目安

画像サイズの設定および被写体の状況で撮影時間が異なります。下の表の数字は、本機でフォーマットした“ メモリースティック ”に記録できる時間です。

4Mバイトタイプ（別売り）

画像サイズ	160×112	320×240
記録時間	約2分40秒	約40秒

8Mバイトタイプ（別売り）

画像サイズ	160×112	320×240
記録時間	約5分20秒	約1分20秒

16Mバイトタイプ（別売り）

画像サイズ	160×112	320×240
記録時間	約10分40秒	約2分40秒

32Mバイトタイプ（別売り）

画像サイズ	160×112	320×240
記録時間	約21分20秒	約5分20秒

64Mバイトタイプ（別売り）

画像サイズ	160×112	320×240
記録時間	約42分40秒	約10分40秒

128Mバイトタイプ（別売り）

画像サイズ	160×112	320×240
記録時間	約85分20秒	約21分20秒

“ メモリースティック ”に静止画を撮る – メモリーフォト撮影

“ メモリースティック ”に静止画を記録できます。

9枚の静止画を連写することもできます。（マルチ画面連写）

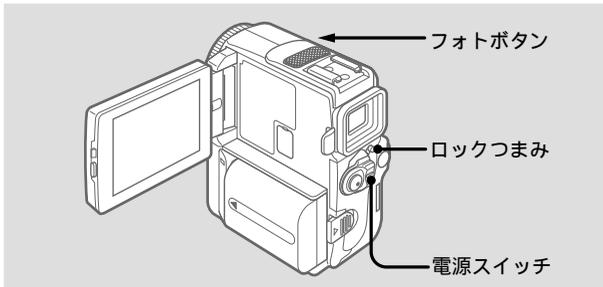
電源スイッチを「メモリー」にすると
以下の機能が使えません。
- ワイドTV
- デジタルズーム
- 手ぶれ補正
- SUPER NIGHTSHOT
- フェーダー
- ピクチャーエフェクト
- デジタルエフェクト
- タイトル
- プログラムAEのキャンドル（表示が点滅します）
- プログラムAEのスポーツレッスン（表示が点滅します）

静止画を記録中は
電源を切ったりフォトボタンを押したりすることはできません。

リモコンのフォトボタンを押すと
押したときに映っている画像が記録されます。

手順2でフォトボタンを軽く押すと
画像が瞬間的にまたたきますが、異常ではありません。

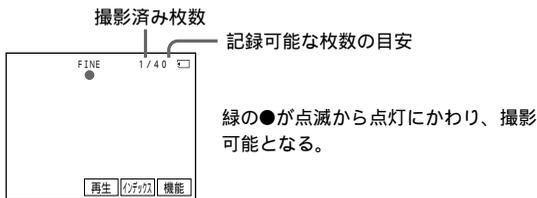
撮影日時／カメラデータは
画面には出ません。自動で“ メモリースティック ”上に記録され、再生時に「データコード」を押せば見ることができます。リモコンも使えます。（30ページ）

撮影可能枚数は
画質の設定および被写体の状況で異なります。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「メモリー」にする。

ロックつまみが左側になっているときは右側（解除）にする。

❷ フォトボタンを軽く押したまま、画像を確認する。

画像の明るさとフォーカスが固定され、撮影が可能になる。撮影するとき、明るさとフォーカスは画面の中央部分の被写体に合わせて調整されます。

緑の●が点滅から点灯にかわり、撮影可能となる。

❸ フォトボタンを深く押す。

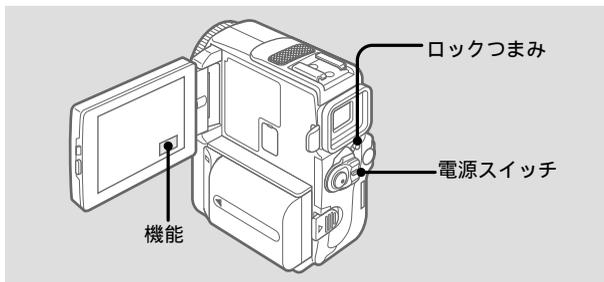
「カシャ」とシャッター音がして、画像が静止画になる。バーのスクロール表示が終わると、記録が完了する。

ボタンを深く押したときの画像が“ メモリースティック ”に記録される。

ビデオフラッシュライト（別売り）は
マルチ画面連写をしているときは使えません。

連続して撮る（連写）

あらかじめ下記の設定をしてメモリーフォト撮影をすると、以下の連写ができます。

マルチ画面連写
約0.5秒間隔で9枚の静止画を連続して撮影し、9分割された1つの画面に表示します。（表示：▦）

❶ **電源スイッチを「メモリー」にする。**

ロックつまみが左側になっているときは右側（解除）にする。

❷ **「機能」を押し、ページ1画面を出す。**

❸ **メニューで静止画設定の「連写」を「マルチ画面連写」にする。（98ページ）**

機能画面に戻す

「閉じる」を押す。

“ メモリースティック ”の容量がいっぱいになると

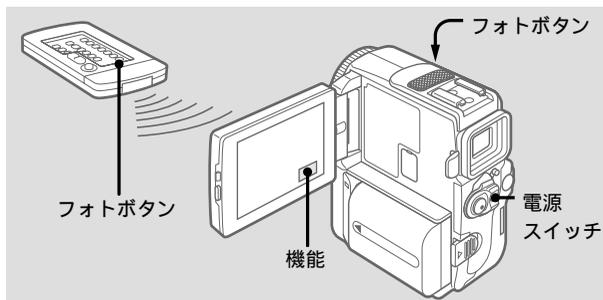
「メモリースティックのメモリーがいっぱいです」と表示され、メモリーフォト撮影は終了します。

ご注意

次の場合、セルフタイマーは自動的に解除されます。
- セルフタイマー撮影を実行したあと。
- 電源スイッチを「切（充電）」または「ビデオ」にしたとき。

画像の確認
本体のフォトボタンを軽く押して、画像を確認できます。深く押すとセルフタイマー撮影が始まります。

セルフタイマーメモリーフォト撮影

セルフタイマーを使って“ メモリースティック ”に静止画を記録できます。リモコンも使えます。

❶ 電源スイッチを「メモリー」にする。
ロックつまみが左側になっているときは、右側（解除）にする。

❷「機能」を押し、「ページ3」を押してページ3画面を出す。

❸「セルフタイマー」を押す。
セルフタイマー表示が出る。

❹ フォトボタンを深く押す。
セルフタイマーの秒読みが始まる。秒読み中はブザー音が鳴り、2秒前にブザー音が速くなる。ボタンを押してから10秒後に、自動的に撮影される。

セルフタイマーで“ メモリースティック ”に動画を撮るとき

手順4でスタート/ストップボタンを押す。
撮影を終了するときは、もう一度スタート/ストップボタンを押す。

セルフタイマーを止めるとき

撮影スタンバイ中にもう1度「セルフタイマー」を押し、セルフタイマー表示を消す。リモコンを使って撮影を中断することはできません。

テープの画像を静止画として取りこむ

テープに記録された画像を、“ メモリースティック ”に静止画として記録できます。

また、他機の画像を取りこんで、“ メモリースティック ”に静止画として記録できます。

アクセスランプ点灯中および点滅中は
本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“ メモリースティック ”やバッテリーを取りはずしたりしないでください。画像データが壊れることがあります。

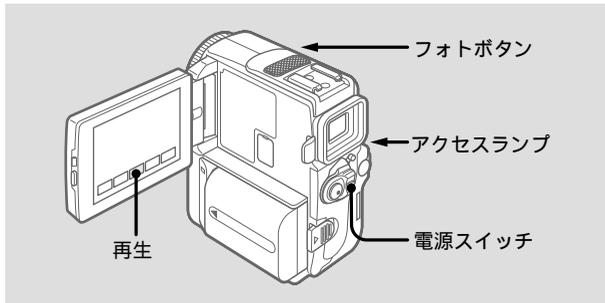
画面に「メモリースティックを確認してください」と表示されたら
フォーマットの形式が違うなど本機で認識できない“ メモリースティック ”を使用しています。フォーマット形式をご確認ください。

再生中にフォトボタンを軽く押すと
テープは一時停止します。

テープに記録された音声は
記録できません。

タイトルは
記録できません。フォトボタンを押して画像を記録しているときは、タイトルは表示されません。

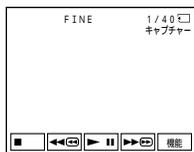
テープに記録されたデータコードは
“ メモリースティック ”には記録できません。
“ メモリースティック ”に取りこんだ時の撮影日時を記録します。カメラデータは記録できません。

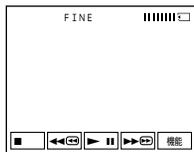
リモコンのフォトボタンを押すと
押したときに映っている画像が記録されます。

- 録画済みのテープを入れておいてください。
- あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「ビデオ」にする。

❷ ►II 再生ボタンを押す。

テープの画像が映る。

❸ 画像を取り込みたい部分でフォトボタンを軽く押したまま、画像を確認する。

テープの画像が一時停止し、キャプチャー表示が出る。このとき記録はされません。

❹ フォトボタンを深く押す。

バーのスクロール表示が終わると、記録が完了する。

ボタンを深く押したときの画像が“ メモリースティック ”に記録される。テープの画像は再生に戻る。

ご注意

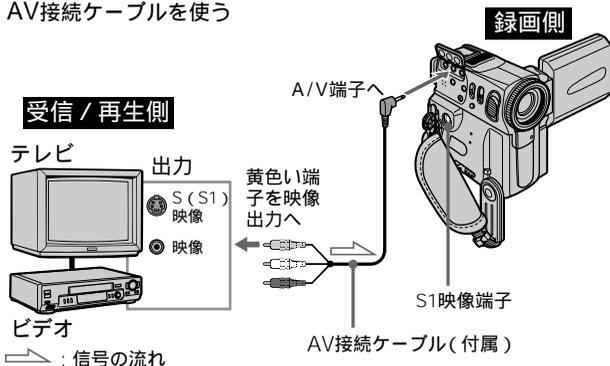
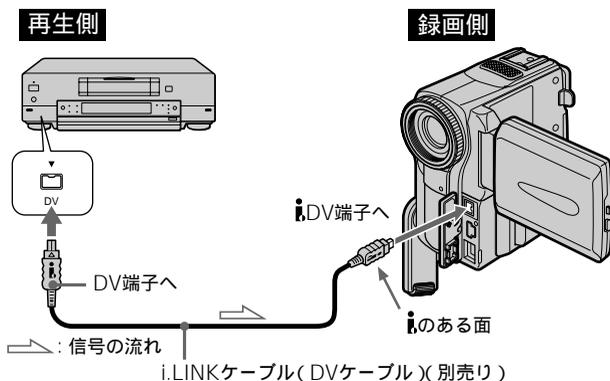
次の場合、表示が点滅します。" メモリースティック " を入れ直し、乱れのない画像を記録してください。
- ダビングを繰り返した等で記録状態の悪いテープ
- テレビチューナーユニット使用時の電波状態が悪く、乱れた画像を取りこもうとしたとき

別売りのS映像ケーブルを使うと

録画画像がより忠実に再現できます。ビデオやテレビにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色端子（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルで、本機のS1映像端子とビデオやテレビのS（S1）映像端子を接続することをおすすめします。

DV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

他機をつないで静止画を取りこむ

AV接続ケーブルを使う

i.LINKケーブル（DVケーブル）を使う

- メニューで「画面表示」を「パネル」にしてください。（お買い上げ時は、「パネル」に設定されています。）
- メニューで「A/V入力→DV出力」を「切」にしてください。（お買い上げ時は、「切」に設定されています。）

❶ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

❷ 他機のビデオなどで再生を始める。または録画したいテレビを受信する。

他機の画像が液晶画面またはファインダーに映ります。

❸ 118ページの手順3～4を行う。

“ メモリースティック ”に動画を撮る – MPEGムービー撮影

“ メモリースティック ”に音声つきで動画を
記録できます。

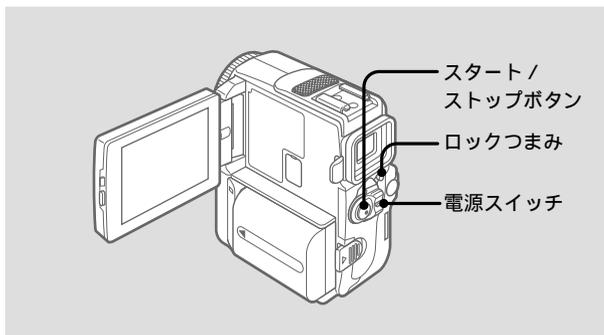
ご注意

音声はモノラルで記録されます。

電源スイッチを「メモリー」にすると
以下の機能が使えません。
- ワイドTV
- デジタルズーム
- 手ぶれ補正
- SUPER NIGHTSHOT
- フェーダー
- ピクチャーエフェクト
- デジタルエフェクト
- タイトル
- プログラムAEのキャンドル（表示が点滅します）
- プログラムAEのスポーツレッスン（表示が点滅します）

別売りのフラッシュを接続しているとき
MPEGムービー撮影をするときは、フラッシュの電源を「切」にしてください。フラッシュへの充電音が記録されることがあります。

撮影日時は
画面には出ません。自動で“ メモリースティック ”上に記録され、再生時に「データコード」を押せば見ることができます。カメラデータは記録できません。リモコンも使えます。（30ページ）

撮影中は
カセットを取り出さないでください。カセット取り出し中は音声を記録しません。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「メモリー」にする。

ロックつまみが左側になっているときは、右側（解除）にする。

❷ スタート/ストップボタンを押す。

撮影が始まり、録画ランプが点灯する。
メニューの「画像サイズ」を「160×112」に設定したときは、最大60秒まで録画します。
ただし、メニューの「画像サイズ」を「320×240」に設定したときは、録画時間は最大15秒までになります。

撮影を中止する

スタート/ストップボタンを押す。

テープの画像を動画として取りこむ

テープに記録された画像を、“ メモリースティック ”に動画として記録できます。

また、他機の画像を取りこんで、“ メモリースティック ”に動画として記録できます。

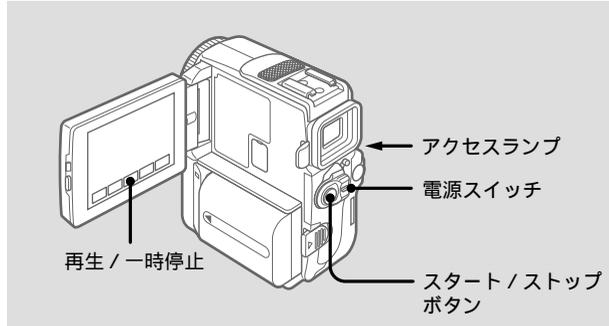
ご注意

- テープの音声が48KHzでも、32KHzに変換されて記録されます。
- ステレオで記録された音声はモノラルに変換されて記録されます。

アクセスランプ点灯中および点滅中は
本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“ メモリースティック ”やバッテリーを取りはずしたりしないでください。画像データが壊れることがあります。

タイトルは
記録できません。スタート/ストップボタンを押し込んで画像を記録しているときは、タイトルは表示されません。

「メモリースティックに録画できません〔音声エラー〕」と表示されたときは
本機では取りこめない音声で記録されています。他機を再生機としてAV接続ケーブルを使って外部入力してください。（122ページ）

テープに記録されたデータコードは
“ メモリースティック ”には記録できません。
“ メモリースティック ”に取りこんだ時の撮影日時が記録されます。カメラデータは記録できません。

- 録画ずみのテープを入れておいてください。
- あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

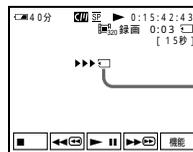
❶ 電源スイッチを「ビデオ」にする。

❷ ▶ II 再生/一時停止ボタンを押す。

テープの画像が映る。

画像を取り込みたい部分の開始点で ▶ II 再生/一時停止ボタンを押す。

❸ スタート/ストップボタンを押す。

メニューの「画像サイズ」を「160×112」に設定したときは、最大60秒まで録画します。
ただし、メニューの「画像サイズ」を「320×240」に設定したときは、録画時間は最大15秒までになります。

記録可能な秒数が表示されます。

スタート/ストップボタンを押してから5秒間表示されます。
記録はされません。

撮影を中止する/終了する。

スタート/ストップボタンを押す。

“ メモリースティック ”を使う

次のページへつづく

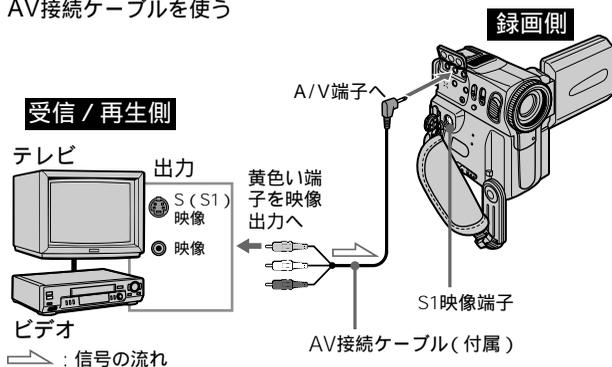
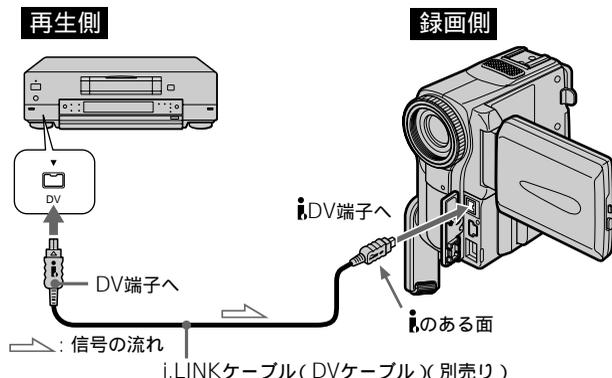
ご注意

次の場合、表示が点滅します。“ メモリースティック ”を入れ直し、乱れのない画像を記録してください。
- ダビングを繰り返した等で記録状態の悪いテープ
- テレビチューナーユニット使用時の電波状態が悪く、乱れた画像を取りこもうとしたとき

別売りのS映像ケーブルを使うと
録画画像がより忠実に再現できます。ビデオやテレビにS（S1）映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色端子（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルで本機のS1映像端子とビデオ、またはテレビのS（S1）映像端子を接続することをおすすめします。
DV方式の高解像度を生かすためにはこの接続を行ってください。

記録中は
カセットを取り出さないでください。カセット取り出し中は音声を記録しません。

他機をつないで動画を取りこむ

AV接続ケーブルを使う

i.LINKケーブル（DVケーブル）を使う

- メニューで「画面表示」を「パネル」にしてください。（お買い上げ時は、「パネル」に設定されています。）
- メニューで「A/V入力→DV出力」を「切」にしてください。（お買い上げ時は、「切」に設定されています。）

❶ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

❷ 他機のビデオなどで再生を始める。または録画したいテレビを受信する。

他機の画像が液晶画面またはファインダーに映る。

❸ 画像を取りこみたい部分の開始点で121ページの手順3を行う。

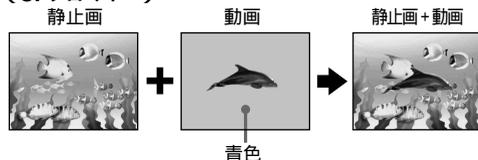
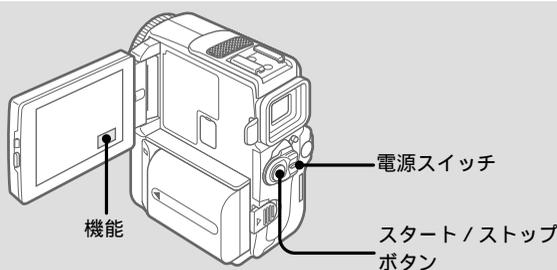
静止画を重ねて撮る – メモリーミックス

“ メモリースティック ”に記録してある静止画を、カメラで撮影している動画に重ねることができます。
重ねた画像はテープまたは“ メモリースティック ”に記録できます。
(“ メモリースティック ”には静止画のみ記録できます)

M. クロマキー（メモリークロマキー）
イラストや枠などの静止画を使い、静止画の青色の部分を抜いて動画と重ねる。

M. ルミキー（メモリールミキー）
手書きイラストやタイトルなどの静止画を使い、静止画の明るい部分を抜いて動画に重ねる。旅行やイベントの前にあらかじめタイトルを“ メモリースティック ”に入れておくと便利です。

C. クロマキー（カメラクロマキー）
背景などの静止画に動きのある被写体を重ねる。(青色を背景に被写体を撮影し、青色の部分を抜く。)

M.オーバーラップ*（メモリーオーバーラップ）
オーバーラップフェーダーと同様に、“ メモリースティック ”に記録してある静止画から、カメラで撮影している動画にフェードインをする。
*“ メモリースティック ”に記録することはできません。

重ねた画像をテープに記録するとき

• あらかじめ静止画が記録された“ メモリースティック ”を入れておいてください。
• 記録用のテープを入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「カメラ」にする。

次のページへつづく

静止画を重ねて撮る － メモリーミックス（つづき）

ご注意

- MPEGムービー撮影した動画にメモリーミックスすることはできません。
- 重ねる静止画に白い部分が多いと、小画面で表示したときにはっきりと見えないことがあります。
- モードを選び直すことはできません。一度「⮐切」を押し、ページ2画面まで戻ってください。

パソコンで加工した画像データや他機で撮影した画像データは
本機で再生できないことがあります。

静止画をそのままテープに記録するには
M. ルミキーモードで、画面左側の「－」／「＋」を押してバー表示を右側いっぱいまで増やします。

❷ ［撮影スタンバイ中］に
「機能」を押し、ページ2画面を出す。

❸ **「メモリーミックス」を押す。**

最後に撮影した静止画、または最後に合成した静止画が画面の右下に出る。

静止画

❹ **画面右側の「－」／「＋」を押して、重ねたい静止画を選ぶ。**

－：前の画像を出すとき
＋：次の画像を出すとき

❺ **希望のモードを選ぶ。**

静止画が撮影スタンバイ中の動画と重なる。

❻ **画面左側の「－」／「＋」を押して効果を調節し、「⮐決定」を押す。**

ページ1画面に戻る。

調節する内容は以下の通り。

M. クロマキー	静止画の、青色の抜き具合。
M. ルミキー	静止画の、明るい部分の抜き具合。
C. クロマキー	動画の、青色の抜き具合。
M. オーバーラップ	調節の必要はありません。

バー表示を小さくするほど効果が大きくなる。

ご注意

メモリーオーバーラップを選ぶと、静止画を選び直せません。一度「⮐切」を押し、メモリーオーバーラップを解除してから選び直してください。

手順8でフォトボタンを押すと
テープに静止画を記録できます。

❼ 「閉じる」を押して、機能画面に戻る。

❽ スタート／ストップボタンを押して撮影を始める。

静止画を選び直す

手順6の前で画面右側の「−」／「＋」を押す。

メモリーミックスを解除する

「⮐切」を押す。ページ2画面に戻る。

ご注意

- MPEGムービー撮影した動画にメモリーミックスすることはできません。
- 重ねる静止画に白い部分が多いと、小画面で表示したときにはっきりと見えないことがあります。
- モードを選び直すことはできません。一度「⏎切」を押し、ページ2画面まで戻ってください。

パソコンで加工した画像データや他機で撮影した画像データは
本機で再生できないことがあります。

“メモリースティック”にメモリーミックスするときは
プログラムAEはできません。

重ねた画像を“メモリースティック”に静止画として記録するとき

- あらかじめ静止画が記録された“メモリースティック”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「メモリー」にする。

ロックつまみが左側になっているときは、右側（解除）にする。

❷ ［撮影スタンバイ中］に
「機能」を押し、ページ2画面を出す。

❸ 「メモリーミックス」を押す。

最後に撮影した静止画、または最後に合成した静止画が画面の右下に出る。

❹ 画面右側の「－」／「＋」を押して、重ねたい静止画を選ぶ。

－：前の画像を出すとき
＋：次の画像を出すとき

❺ 希望のモードを選ぶ。

静止画が撮影スタンバイ中の動画と重なる。

❻ 画面左側の「−」／「+」を押して効果を調節し、「⮐決定」を押す。

ページ1画面に戻る。

調節する内容は以下の通り。

M. クロマキー	静止画の、青色の抜き具合。
M. ルミキー	静止画の、明るい部分の抜き具合。
C. クロマキー	動画の、青色の抜き具合。

バー表示を小さくするほど効果が大きくなる。

❼ 「閉じる」を押して、機能画面に戻る。

❽ フォトボタンを深く押す。

バーのスクロール表示が終わると、記録が完了する。

ボタンを深く押したときの画像が“メモリースティック”に記録される。

静止画を選び直す

手順6の前で画面右側の「−」／「+」を押す。

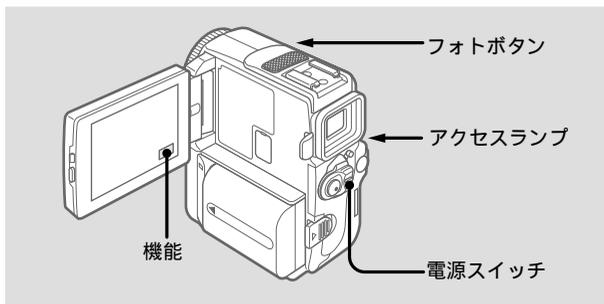
メモリーミックスを解除する

「⮐切」を押す。ページ2画面に戻る。

テープの静止画を自動記録する – オートフォトコピー

サーチ機能を使って、テープに記録されている静止画のみを“ メモリースティック ”に順次取りこんで、記録できます。

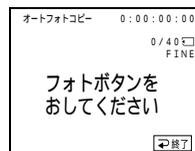
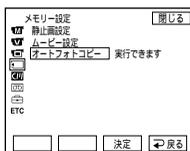
アクセスランプ点灯中および点滅中は
本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“ メモリースティック ”やバッテリーを取りはずしたりしないでください。画像データが壊れることがあります。

“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると
「実行できません」と表示されます。

- 録画済みのテープを入れて、巻き戻しておいてください。
- あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

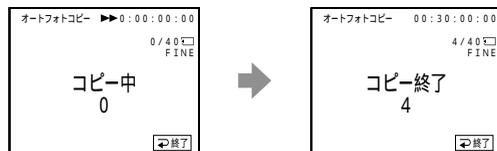
❶ **電源スイッチを「ビデオ」にする。**

❷ **「機能」を押し、ページ1画面を出す。**

❸ **メニューで▭の項目の「オートフォトコピー」を選び「決定」を押す。（98ページ）**

「フォトボタンをおしてください」の表示が出る。

途中で“ メモリースティック ”を入れかえると
前の“ メモリースティック ”に記録した画像データの続きの画像から記録し始めます。

❹ フォトボタンを深く押す。

テープの静止画が“ メモリースティック ”に記録される。コピーされた静止画の数が表示され、コピーが終了すると、「コピー終了」の表示が出る。

コピーを中止する／終了する

「終了」を押す。

機能画面に戻す

「終了」を押すと、ページ1画面に戻る。そのあと「閉じる」を押す。

“ メモリースティック ”の容量がいっぱいになると

「メモリーフル」と表示され、コピーは終了します。
「終了」を押し“ メモリースティック ”を入れ換え、もう1度手順2から操作してください。

静止画を見る – メモリーフォト再生

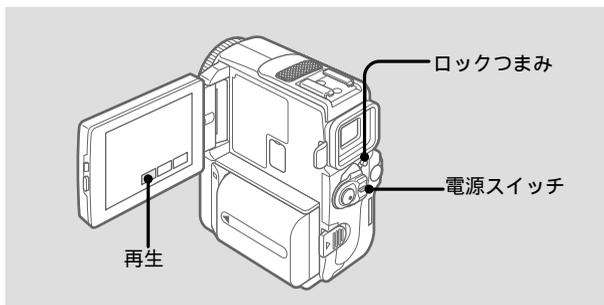
“ メモリースティック ”に記録してある静止画を見ることができます。
また、インデックス表示をすると、データファイル順に動画も含めた画像を6枚ずつ表示できます。

データファイル名について
- ディレクトリ構造がDCF98規格に準拠していないと、ディレクトリ番号は表示されず、ファイル名のみ表示される場合があります。
- ディレクトリ構造がDCF98規格に準拠していないと「メモリースティックディレクトリエラー」と表示されることがあります。このとき、再生は可能ですが、記録することはできません。
- データファイル名が点滅したときは、ファイルが壊れているか、本機で扱えないファイル形式です。

テレビで見るときは
- あらかじめ本機を付属のAV接続ケーブルでつないでおいてください。
- テレビや液晶画面でメモリーフォト再生をすると、画質が劣化しているように見えることがありますが、故障ではありません。データ上は問題ありません。
- テレビの音量を下げておいてください。テレビのスピーカーから「ピー」という音（ハウリング）が出ることがあります。

パソコンで加工した画像データや他機で撮影した画像データは
正しく再生ができない場合があります。

静止画は
ページ1/ページ2/ページ3画面上でも、「–」/「+」を押して選ぶことができます。

“ メモリースティック ”内部に表示できる画像が1枚もないときは
「ファイルがありません」のメッセージが表示されます。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「メモリー」にする。

ロックつまみが左側になっているときは右側（解除）にする。

❷「再生」を押す。

最後に撮影した画像が出る。

❸「–」／「+」を押して、静止画を選ぶ。

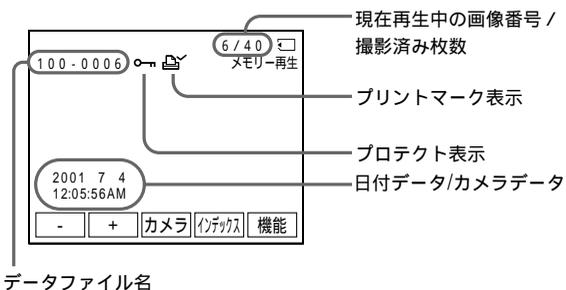
–：前の画像を見るとき
+：次の画像を見るとき

メモリーフォト再生を止める

「カメラ」を押す。

撮影日時/カメラデータは
「データコード」を押すと見ることができます。リモコンも使えます。(30ページ)

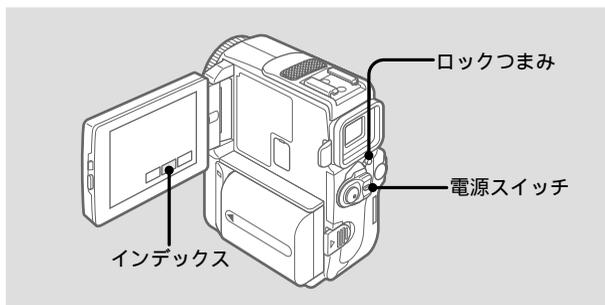
画面表示を消すには
画面表示／タッチパネルボタンを押す。

静止画再生中の画面表示

ご注意

インデックス表示をしているときの画像右上の番号は、“メモリースティック”の記録順を示す番号です。データファイル名（106ページ）とは違いますのでご注意ください。

パソコンで加工した画像データや他機で撮影した画像データは
インデックス表示ができない場合があります。

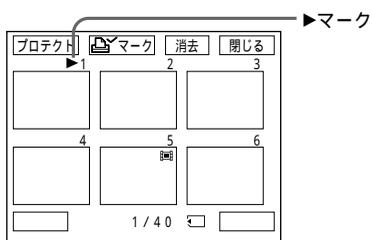
画像を6枚ずつ表示する（インデックス表示）

撮影した画像を6枚ずつ一度に再生できます。画像を検索するときなどに便利です。

❶ 電源スイッチを「メモリー」にする。

ロックつまみが左側になっているときは右側（解除）にする。

“メモリースティック”を使う

❷ **「インデックス」を押す。**

インデックス表示をする前に映っていた画像に赤色の▶マークが表示される。

- 前の6枚を見るときは「←」を押す
- 次の6枚を見るときは「→」を押す

機能画面に戻す

「閉じる」を押す。

1枚の表示（シングル表示）に戻す

表示したい画像を押す。

動画を見る – MPEGムービー再生

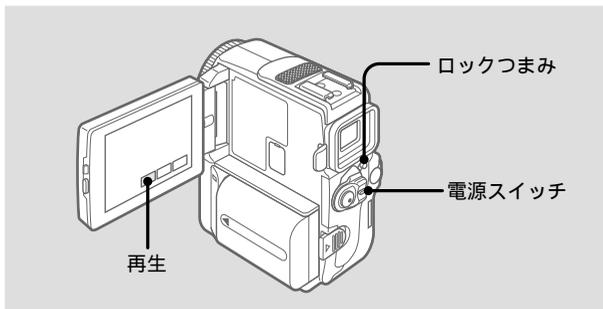
“ メモリースティック ”に記録した動画を見ることができます。

また、インデックス表示をすると、データファイル順に静止画も含めた画像を6枚ずつ表示することができます。

テレビで見るときは
- あらかじめ本機を付属のAV接続ケーブルでつないでおいてください。
- テレビの音量を下げておいてください。テレビのスピーカーから「ピー」という音（ハウリング）が出ることがあります。

パソコンで加工した画像データや他機で撮影した画像データは
正しく再生ができない場合があります。

“ メモリースティック ”内部に表示できる画像が1枚もないときは
「ファイルがありません」のメッセージが表示されます。

動画は
ページ1/ページ2/ページ3画面上でも、「–」/「+」を押して選ぶことができます。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「メモリー」にする。

ロックつまみが左側になっているときは、右側（解除）にする。

❷ 「再生」を押す。

最後に撮影した画像が出る。

❸ 「–」/「+」を押して、動画を選ぶ。

–：前の画像を見るとき
+：次の画像を見るとき

❹ 「MPEG▶❚❚」を押して、再生を始める。

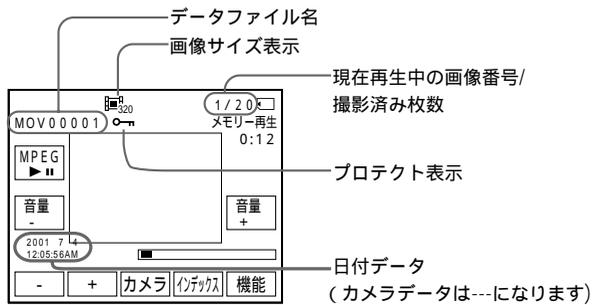
❺ 「音量–」/「音量+」を押して、音量を調節する。

–：小さくするとき
+：大きくするとき

MPEGムービー再生を止める
「MPEG▶❚❚」を押す。

撮影日時は
「データコード」を押すと、見ることができます。カメラデータは記録されません。リモコンも使えます。（30ページ）

画面表示を消すには
画面表示／タッチパネルボタンを押す。

動画再生中の画面表示

パソコンで画像を見る

パソコンで画像を見るには、別売りのパソコン接続キット（DPCK-US10A）が必要です。
“ メモリースティック ”に記録した画像をパソコンで見ることができます。

ご注意

- “ メモリースティック ”に記録した画像は、以下の形式で保存されています。それぞれのファイル形式の対応アプリケーションがパソコンにインストールされていることをご確認ください。
  – 静止画：JPEG形式
  – 動画/音声：MPEG形式
- Real PlayerやWindows Media Playerがインストールされていること。（動画再生時）
- Quick Time 3.0以降がインストールされていること。（動画再生時）

パソコンの推奨使用環境

推奨Windows環境

OS： Microsoft Windows 98、Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 Professional
上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。
上記のOS内でもアップグレードされた場合は動作保証いたしません。

CPU： MMX Pentium 200 MHz以上。

USB端子が標準で装備されていることが必要です。

推奨Macintosh環境

Mac OS 8.5.1/8.6/9.0/9.1が工場出荷時にインストールされているMacintosh。ただし、Mac OS 8.6が工場出荷時にインストールされている“ CD-ROMドライブがスロットローディング方式のiMac ”、“ iBook ”、“ Power Mac G4 ”はMac OS 9.0/9.1にアップグレードしてご使用ください。

USB端子が標準で装備されていることが必要です。

ご注意

- Windows環境/Macintosh環境とも、1台のパソコンで2つ以上のUSB接続をする場合、またハブをご使用の場合は動作保証致しません。
- 同時に使われるUSB機器によっては動作致しません。
- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

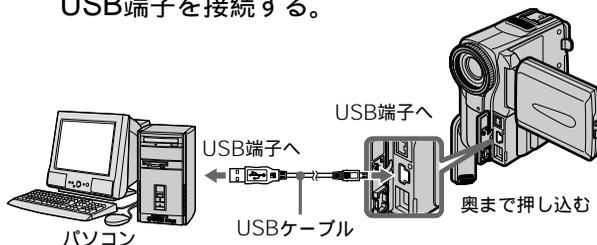
ご注意

- “ メモリースティック ”が入っていないと、インストールできません。
  必ず本機に“ メモリースティック ”を入れてください。
- USBドライバのインストールが完了する前にUSBケーブルを接続すると、USBドライバが誤って登録されます。137ページの手順に従って、もう一度インストールしてください。

USBドライバをインストールする

本機をパソコンに接続するには、お手持ちのパソコンにUSBドライバのインストールが必要です。USBドライバは、パソコン接続キット（DPCK-US10A）（別売り）に付属しているCD-ROMに、画像を見るためのアプリケーションソフトとともに収録されています。
USBドライバのインストールが完了するまでは、パソコンにUSBケーブルを接続しないでください。

Windows 98/98SE、Windows Me、Windows 2000をお使いの場合

1. **パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。**
2. **パソコン接続キット（別売り）に付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする。**
   アプリケーションソフトの画面が起動します。
3. **CD-ROMに入っているアプリケーションソフトの画面が起動したら、「USB Driver Installation for Windows98/98SE/Me and Windows2000」をクリックする。**
   USBドライバのインストール画面が起動します。
4. **画面の指示に従ってUSBドライバをインストールする。**
5. **パソコン接続キット（別売り）に付属のUSBケーブルで、本機のUSB端子とパソコンのUSB端子を接続する。**

6. **本機に“ メモリースティック ”を入れ、ACアダプター/チャージャーを接続して本機の電源スイッチを「メモリー」にする。**
   本機の液晶画面に「USB モード」と表示され、パソコンからの通信が始まります。パソコンが本機を確認し、Windowsのドライバをインストールします。

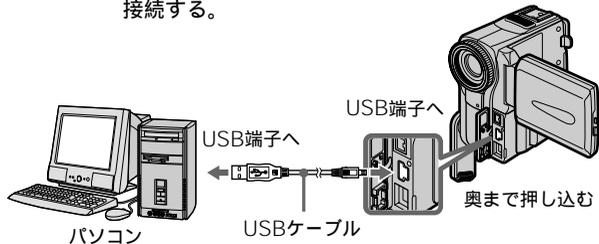
❼ **画面の指示に従ってハードウェアを認識させる。**

2種類のUSBドライバをインストールするため、ハードウェア追加ウィザードは2回起動します。途中で中断せずに最後までインストールしてください。

USB接続ができない場合

USBドライバのインストールが完了する前に本機とパソコンを接続したためUSBドライバが誤って登録されています。正しくインストールするためには、以下の手順を行ってください。

手順1：誤って登録されたUSBドライバをアンインストールする

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。
2 パソコン接続キット（別売り）に付属のUSBケーブルで、本機のUSB端子とパソコンのUSB端子を接続する。

3 本機に“ メモリースティック ”を入れ、ACパワーアダプター／チャージャーを接続して本機の電源スイッチを「メモリー」にする。
4 パソコンの「デバイスマネージャ」を開く。
Windows 2000 Professionalをお使いの場合：
「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「ハードウエア」タブを開き、「デバイスマネージャー」ボタンをクリックする
上記OS以外：
「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「システム」を選択し、「デバイスマネージャー」をクリックする
5 「その他のデバイス」を選択する。
（？）マークが付いた機器を選択して削除します
例：（？）Sony Handycam
6 本機の電源を切り、USBケーブルを抜く。
7 パソコンを再起動する。

手順2：付属のCD-ROMよりUSBドライバをインストールする

136ページの「USBドライバをインストールする」の手順を行ってください。

Mac OS 9.1は
USBドライバのインストールは必要ありません。
本機とパソコンをUSBケーブルで接続するだけで、ドライブとして認識します。

Mac OS 8.5.1/8.6/9.0をお使いの場合

❶ **パソコンの電源を入れ、Mac OSを起動する。**

❷ **パソコン接続キット（別売り）に付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする。**

❸ **CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックし、ウィンドウを開く。**

❹ **OSの入っているハードディスクのアイコンをダブルクリックし、ウィンドウを開く。**

❺ **手順3で開いたウィンドウから、以下の2つのファイルを、手順4で開いたウィンドウの「システムフォルダ」のアイコンの上に移動する（ドラッグ・アンド・ドロップする）。**

- Sony Camcorder USB Driver
- Sony Camcorder USB Shim

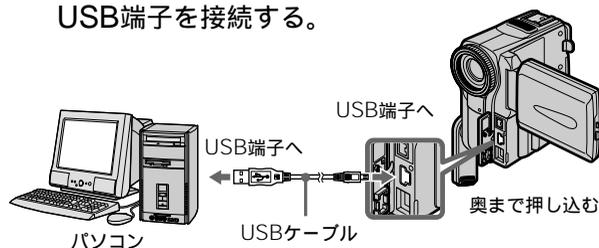
❻ **「機能拡張フォルダに入れますか？」と表示されたら「OK」を選択する。**

❼ **パソコンを再起動する。**

画像を見る

Windowsをお使いの場合

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。

2 パソコン接続キット（別売り）に付属のUSBケーブルで本機のUSB端子とパソコンのUSB端子を接続する。

3 本機に“ メモリースティック ”を入れ、ACアダプター/チャージャーを接続する。

4 本機の電源スイッチを「メモリー」にする。
本機の液晶画面に「USB モード」と表示されます。

5 Windows 上で「マイコンピュータ」を開き、新しく認識されたドライブ（例：「リムーバブルディスク（E:)」）をダブルクリックする。
“ メモリースティック ”内のフォルダが表示されます。

6 見たい画像ファイルをフォルダの中から選んで、ダブルクリックする。
詳しくは「画像ファイルの保存先とファイル名」（142ページ）をご覧ください。

再生したいファイル	この順でダブルクリックする
静止画	「Dcim」フォルダ→「100msdcf」フォルダ→画像ファイル
動画*	「Mssony」フォルダ→「Moml0001」フォルダ→画像ファイル*

* パソコンのハードディスクにコピーしてから再生することをお勧めします。“ メモリースティック ”から直接再生すると、画像/音声がとぎれることがあります。

“メモリースティック”を使う

USBケーブルを抜く/“ メモリースティック ”を取り出す

Windows 2000/Meをお使いの場合

USBケーブルを抜く、または“ メモリースティック ”を取り出すには、以下の操作が必要です。

❶ **タスクトレイの中の「ハードウェアの取り外し」アイコンより該当するドライブを停止する。**

❷ **「安全に取り外すことができる」とメッセージが出てから、USBケーブルを抜く、または“ メモリースティック ”を取り出す。**

Macintoshをお使いの場合

❶ **ソフトウェアを閉じる。**

アクセスランプが点灯していないことを確認する。

❷ **“ メモリースティック ”アイコンをごみ箱に捨てる、または「特別」メニューから「取り出し」を選択する。**

❸ **“ メモリースティック ”を取り出す。**

パソコンを使用するときのご注意

“ メモリースティック ”

- パソコンでフォーマットした“ メモリースティック ”を本機に使用した場合や、USB接続時に本機内の“ メモリースティック ”をパソコンからフォーマットした場合は動作保証致しません。
- Windowsで“ メモリースティック ”の最適化はしないでください。“ メモリースティック ”の寿命を縮めます。
- “ メモリースティック ”内のデータを圧縮しないでください。圧縮されたデータは本機で使用できなくなります。

ソフトウェア

- アプリケーションソフトによっては、静止画ファイルを開くとファイルサイズが大きくなる場合があります。
- レタッチソフト等を使って加工した画像をパソコンから本機に取り込む場合、または本機の画像を直接加工した場合、画像形式が異なるためファイルエラー表示が出たりファイルが開けない場合があります。

パソコンとの通信

パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

ソニーパーソナルコンピューターVAIOシリーズをお使いの場合

パソコン接続キット（別売り）に付属のCD-ROMに収録されている画像処理ソフト使用時、ソフトが強制終了されることがあります。また、MPEGデータを再生すると再生時間が極端に短くなることもあります。その際は下記のホームページで最新ドライバー［Sony MPEG Decoder］を入手してご使用ください。

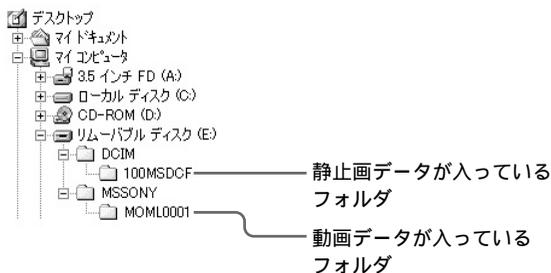
http://www.vaio.sony.co.jp

アップデートプログラムから［Sony MPEG Decoder］を選び、ダウンロードする。

画像ファイルの保存先とファイル名

本機で撮影した画像ファイルは、撮影モードごとにフォルダにまとめられています。

ファイル名の意味は以下の通りです。□□□□には0001から9999までの数字が入ります。

Windows Meで見たときの例
（本機が認識されたドライブは（E:））

フォルダ名	ファイル名	意味
100msdcf	DSC0□□□□.JPG	静止画ファイル
Moml0001	MOV0□□□□.MPG	動画ファイル

“ メモリースティック ”に撮った静止画を拡大する – メモリー再生ズーム

“ メモリースティック ”に記録した静止画を
拡大して見ることができます。

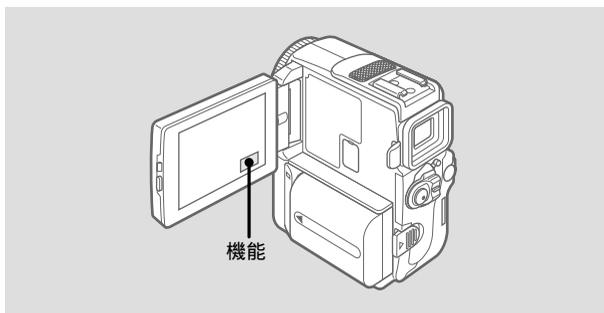
ご注意

再生ズームで拡大した画像を“ メモリースティック ”に記録することはできません。本機を再生機とし、他のビデオへ録画してください。

再生ズームの画像は
i DV端子から出力することはできません。

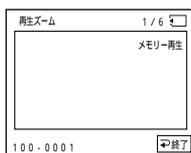
再生ズーム中に
画面表示／タッチパネルボタンを押すと表示枠が消えます。この時押した部分を画面の中心に移動することはできません。

画像の周辺部分は
拡大することはできますが、画面の中心には移動しません。

MPEGムービー撮影した画像は
再生ズームはできません。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

1 ［メモリー再生中］に
「機能」を押し、「ページ2」を押してページ2画面を出す。

2 **「再生ズーム」を押す。**

再生ズーム画面が出る。

3 **画面上の枠内の拡大したい部分を押す。**

押した部分を中心に2倍に拡大された画像が再生されます。さらに枠内の別の場所を押すと、押した部分を画面の中心に移動することができます。

メモリー再生ズームを解除する

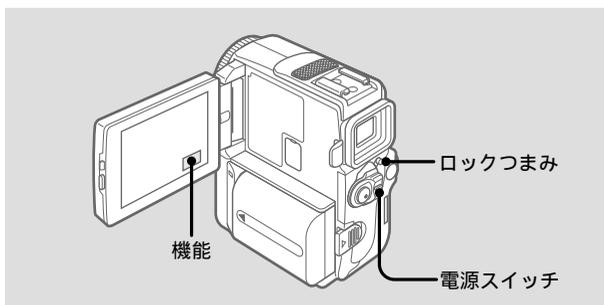
「終了」を押す。

“ メモリースティック ”を使う

画像を順番に自動再生する – スライドショー

画像を順番に自動再生します。
記録された画像のチェックやプレゼンテーションなどに便利です。

テレビで見るときは
あらかじめ本機を付属のAV接続ケーブルでつないでください。

設定中に“ メモリースティック ”を入れ換えると
スライドショーは動作しません。“ メモリースティック ”を入れ換えたら、始めから操作し直してください。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「メモリー」にする。

ロックつまみが左側になっているときは右側（解除）にする。

❷ 「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❸ メニューでの項目の「スライドショー」を選び、「決定」を押す。（98ページ）

❹ 「スタート」を押す。

“ メモリースティック ”の画像が順番に再生される。

スライドショーを中止する

「⮐終了」を押す。

スライドショーを一時停止する

「ポーズ」を押す。

機能画面に戻す

「⮐終了」を押すと、ページ1画面に戻る。そのあと「閉じる」を押す。

お好みの画像からスライドショーを始める

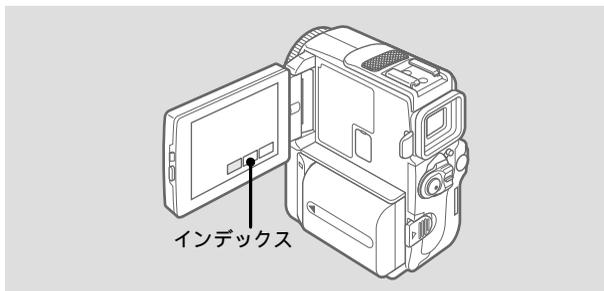
手順4の前に「－」／「＋」で最初の画像を選んでおく。

大事な画像を残す – プロテクト

大事な画像を誤って消さないために、撮影した画像を選んで誤消去防止（プロテクト）指定ができます。

ご注意

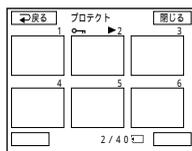
画像にプロテクトがかかっていても“ メモリースティック ”をフォーマットすると“ メモリースティック ”の内容はすべて失われます。フォーマットする前に内容を確認してください。

“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると
プロテクトは実行できません。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「メモリー」にする。
ロックつまみが左側になっているときは右側（解除）にする。

❷「インデックス」を押し、インデックスを表示する。

❸「プロテクト」を押す。
プロテクト画面になる。

❹ プロテクトしたい画像を押す。
プロテクトされた画像に「O╥」マークが表示される。

機能画面に戻す

「閉じる」を押す。

プロテクトを解除する

手順4でプロテクトを解除する画像をもう一度押す。解除された画像からは「O╥」マークが消える。

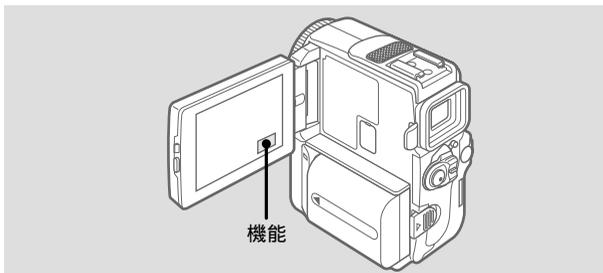
画像を消す – 消去

不要になった画像を消去できます。
撮影したすべての画像を消去したり、画像を選んで消去したりできます。

ご注意

- プロテクトされている画像は消去できません。プロテクトされている画像を消去したいときは、あらかじめプロテクトを解除してください。
- 一度消去した画像はもとに戻せません。消去する前に内容を確認してください。

“メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっていると
消去は実行できません。

シングル画面表示のとき

あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

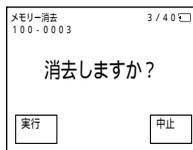
❶ 電源スイッチを「メモリー」にする。
ロックつまみが左側になっているときは右側（解除）にする。

❷ 消去したい画像を再生する。

❸ 「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❹ 「消去」を押す。
「消去しますか？」の表示が出る。

メモリー消去　3／40
100−0003
消去しますか？
実行　中止

❺ 「実行」を押す。
画像が消去される。

機能画面に戻す
「閉じる」を押す。

画像の消去を中止する
手順5で「中止」を押す。

インデックス表示のとき

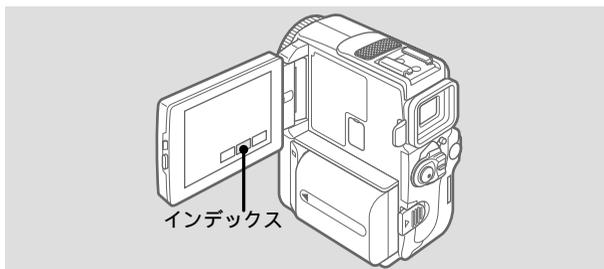
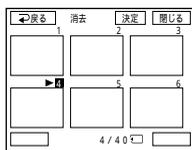
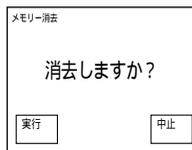
あらかじめ“メモリースティック”を入れておいてください。

❶ **電源スイッチを「メモリー」にする。**
ロックつまみが左側になっているときは右側（解除）にする。

❷ **「インデックス」を押し、インデックスを表示する。**

❸ **「消去」を押し、消去したい画像を押す。**
消去する画像の番号が反転する。

❹ **「決定」を押す。**
「消去しますか？」の表示が出る。

❺ **「実行」を押す。**

機能画面に戻す

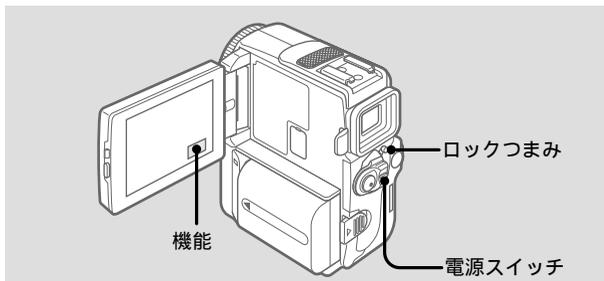
「閉じる」を押す。

画像の消去を中止する

手順5で「中止」を押す。

「消去中」と表示されているときは
電源スイッチを切り換えたり、ボタン操作を行わないでください。

すべての画像を消去する

プロテクトのかかっていない画像ファイルをすべて消去します。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「メモリー」にする。

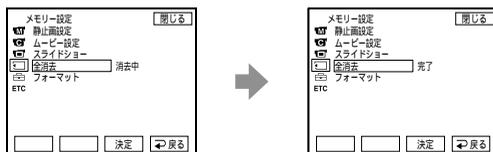
ロックつまみが左側になっているときは右側（解除）ににする。

❷ 「機能」を押し、ページ1画面を出す。

❸ メニューで▭の項目の「全消去」を選び「消去」にして「決定」を押す。（98ページ）

「消去」が「消去します」の表示に変わる。

❹ 「決定」を押す。

「消去中」と表示され、プロテクトのかかっていないすべての画像が消去されると、「完了」と表示される。

機能画面に戻す

「閉じる」を押す。

全消去を中止する

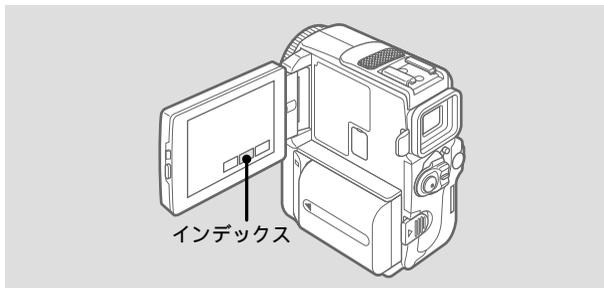
手順3または4で「戻る」を選び、「決定」を押す。

プリントマークを付ける – プリントマーク

“ メモリースティック ”に撮影した静止画の中からプリントしたい画像を直接指定して、マークを付けることができます。後でプリントするときに便利です。

本機はプリントしたい画像を選択できるDPOF（Digital Print Order Format）規格に対応しています。

“ メモリースティック ”の誤消去防止つまみが「LOCK」になっていると
プリントマークは実行できません。

動画には
プリントマークを付けることができません。

あらかじめ“ メモリースティック ”を入れておいてください。

❶ 電源スイッチを「メモリー」にする。

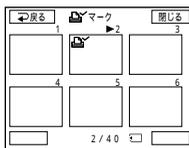
ロックつまみが左側になっているときは右側（解除）にする。

❷ 「インデックス」を押し、インデックスを表示する。

❸ 「 マーク」を押す。

「 マーク」画面になる。

❹ プリントマークを付ける画像を押す。

「 」マークが表示される。

機能画面に戻す
「閉じる」を押す。

プリントマークを解除する
手順4でマークを解除する画像をもう一度押す。解除された画像からは「 」マークが消える。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

液晶画面やファインダーに「C:□□:□□」のような表示が出たときは、自己診断表示機能が働いています。159ページをご覧ください。

撮影中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
スタート／ストップボタンを押してもテープが走行しない。	•電源スイッチが「カメラ」になっていない。	•「カメラ」にする。	18
	•テープが終わりになっている。	•巻き戻すか、新しいカセットを入れる。	15、31
	•カセットが誤消去防止状態になっている。	•誤消去防止ツマミを元に戻す。または新しいカセットを入れる。	15
	•テープがヘッドドラムに貼りついている (結露)。	•カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	169
電源が途中で切れる。	•撮影スタンバイ状態が5分以上続いたとき、バッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するために自動的に電源が切れます。	•電源スイッチを「切（充電）」にしてから、もう1度「カメラ」にする。	ー
	•バッテリーが消耗している。	•満充電されたバッテリーを取りつける。	8、11
ファインダーの画像がはっきりしない。	•ファインダーを縮めたままにしている。	•ファインダーをのばす。	22
	•視度調節が正しくない。	•視度調節する。	
手ぶれ補正が働かない。	メニューの「手ぶれ補正」が「切」になっている。	「入」にする。	98
オートフォーカスが働かない。	•手動ピント合わせになっている。	•フォーカスボタンを押し、自動調節にする。	48
	•オートフォーカスが働きにくい状態で撮影している。	•手動でピントを合わせて撮影する。	48

撮影中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
ファインダーの画像が消えている。	液晶画面が開いている。	液晶画面を使って撮影しないときは液晶画面を閉じる。	20
ろうそくの火やライトなどを暗い背景の中で撮ると、縦に帯状の線が出る。	背景とのコントラストが強い被写体の場合に出る現象で、故障ではありません。	ー	ー
明るい被写体を映すと、縦に尾を引いたような画像になる。	スミア現象といい、故障ではありません。	ー	ー
画面に白点が出ることがある。	スローシャッターやキャンドル、SUPER NIGHTSHOT のときに出る現象で、故障ではありません。	ー	ー
見慣れぬ画面が現れる。	カセットを入れずに電源を「カメラ」にして10分たつと、自動的にデモンストレーションが始まります。	カセットを入れるか液晶画面のどこかを押すとデモンストレーションが中断される。デモンストレーションが出ないようにすることもできます。	105
画像の色が正しくない。	NIGHTSHOTが「入」になっている。	「切」にする。	24
画面が白すぎて画像が見えない。	•明るいところでNIGHTSHOTを「入」にしている。 •逆光補正が働いている。	•「切」にする。 •解除する。	24 23
シャッター音が出ない。	メニューの「お知らせブザー」が「切」になっている。	「お知らせブザー」を「メロディー」または「ノーマル」にする。	98
テレビやコンピューターの画面を撮影すると黒い帯が出る。	ー	メニューの「手ぶれ補正」を「切」にする。	98
別売りのフラッシュが発光しない	•電源が入っていない。または、取り付けられていない。 •フラッシュを2つ以上取り付けている。	•電源を入れる。または、取り付ける。 •別売りのフラッシュは1つしか取り付けられません。	ー ー

再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
再生できない。	テープが終わりになっている。	テープを巻き戻す。	31
画像に横線が入る。またはぼけたり映らなかったりする。	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	169
音声が小さい。または聞こえない。	•音量を最小にしている。 •メニューの「音声ミックス」が「ST2」側になっている。	•音量を大きくする。 •「音声ミックス」を調節する。	29 98
撮影日を画面に出して日付サーチできない。	•カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。 •メニューの「Cメモリーサーチ」が「切」になっている。 •テープの始めや途中に無記録部分がある。	•カセットメモリー付きカセットを使う。 •「入」にする。 ー	61 98 162
タイトルサーチできない。	•カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。 •メニューの「Cメモリーサーチ」が「切」になっている。 •タイトルが入っていない。 •テープの始めや途中に無記録部分がある。	•カセットメモリー付きカセットを使う。 •「入」にする。 •タイトルを入れる。 ー	59 98 89 162
アフレコした音声が聞こえない。	メニューの「音声ミックス」が「ST1」側になっている。	「音声ミックス」を調節する。	88、98
タイトルが出ない。	•メニューの「タイトル表示」が「切」になっている。 •画面表示が出ている。	•「入」にする。 •画面表示を消す。	98 30

撮影中・再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
電源スイッチを「ビデオ」／「カメラ」／「メモリー」にしても動作しない。	•バッテリーが消耗している／消耗が近い／取り付けられていない。	•充電されたバッテリーを取り付ける。	8、11
	•ACアダプター／チャージャーのプラグがコンセントからはずれている。	•コンセントに差し込む。	12
	•ACアダプター／チャージャーのモード切換スイッチが「充電」側になっている。	•「ビデオ／カメラ」側にする。	12
エンドサーチが働かない。	•カセットメモリーの付いていないカセットで、撮影後にカセットを取り出した。	―	26
	•カセットを入れてからエンドサーチ操作をするまでに、１度も撮影していない。	―	
エンドサーチが誤動作する。	テープの始めや途中に無記録部分がある。	―	26
バッテリーの消耗が早い。	•周囲の温度が極端に低い。	―	―
	•充電が不充分。	•満充電する。	8
	•バッテリーそのものの寿命。	•新しいバッテリーに交換する。	11
バッテリー残量が正しくない。	•温度が極端に高いまたは低いところで長時間使用している。	―	
	•バッテリーそのものの寿命。	•新しいバッテリーに交換する。	11
	•バッテリーが消耗している。	•満充電されたバッテリーを取り付ける。	8
	•残量表示にズレが生じた。	•満充電すると残量が正しく表示される。	8
バッテリー残量が充分あるのに電源がすぐ切れる。	•残量表示にズレが生じた。	•満充電すると残量が正しく表示される。	8
カセットが取り出せない。	•電源（バッテリーやACアダプター／チャージャー）がはずれている。	•電源をきちんと接続する。	11、12
	•バッテリーが消耗している。	•満充電されたバッテリーを取り付ける。	8、11
💧や⏏が点滅し、カセット取出しつまみ以外働かない。	結露している。	カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	169
カセットメモリー付きのカセットを使用しているのにカセットメモリー表示が出ない。	カセットの金メッキ端子が汚れている。または、ゴミが付着している。	金メッキ端子をクリーニングする。	163
テープ残量表示が出ない。	メニューの「テープ残量表示」が「オート」になっている。	常にテープ残量を出したいときは「テープ残量表示」を「入」にする。	98

“ メモリースティック ”操作中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
操作を受け付けない。	•電源スイッチが「メモリー」になっていない。 •“ メモリースティック ”が入っていない。	•「メモリー」にする。 •“ メモリースティック ”を入れる。	115 107
撮影ができない。	•すでにメモリー容量いっぱいに撮影している。 •フォーマット形式の異なる“ メモリースティック ”を入れた。 •“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	•不要な画像を消去してから撮影する。 •本機でフォーマットするか、別の“ メモリースティック ”を入れる。 •「LOCK」を解除する。	147 103、107 106
画像を消去できない。	•プロテクトされている。 •“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	•プロテクトを解除する。 •「LOCK」を解除する。	146 106
フォーマットが実行できない。	“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	「LOCK」を解除する。	106
全消去が実行できない。	“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	「LOCK」を解除する。	106
プロテクトが実行できない。	•“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。 •インデックス表示になっていない。	•「LOCK」を解除する。 •インデックス表示にしてプロテクトを実行する。	106 146
プリントマークが実行できない。	•“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。 •インデックス表示になっていない。 •メモリースティック ”の容量がいっぱいになっている。 •動画にプリントマークを付けようとしている。	•「LOCK」を解除する。 •インデックス表示にしてプリントマークを付ける。 •不要な画像を消去し、もう一度プリントマークを付ける。 •動画にはプリントマークを付けることができません。	106 150
オートフォトコピーが実行できない。	“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	「LOCK」を解除する。	106
正しい画像サイズで再生できない	他機で撮影した画像を再生しようとすると画像サイズが正しく表示されないことがありますが、故障ではありません。	ー	ー

その他

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
タイトルを入れられない。	•カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。	•カセットメモリー付きカセットを使う。	89
	•カセットのメモリー容量がいっぱいになっている。	•不要なタイトルを消去する。	91
	•カセットが誤消去防止状態になっている。	•誤消去防止ツマミを元に戻す。	15
	•無記録部分にタイトルを入れようとしている。	•録画された部分にタイトルを入れる。	89
カセットに名前を付けられない。	•カセットメモリーの付いていないカセットを使っている。	•カセットメモリー付きカセットを使う。	95
	•カセットのメモリー容量がいっぱいになっている。	•不要なタイトルを消去する。	91
	•カセットが誤消去防止状態になっている。	•誤消去防止ツマミを元に戻す。	15
デジタルプログラムエディットが働かない。	•録画機側の入力切換ができていない。	•接続を確認して録画機側の入力切換スイッチを設定し直す。	68
	•ソニー以外のDV機器と接続している。	•操作を「リモコン」にする。	69
	•無記録部分にプログラム設定しようとしている。	•録画された部分に設定し直す。	75
	•本機と録画機のタイミングが合わない。	•タイミング補正をする。	73
	•リモコンコードが違う。	•正しいリモコンコードを設定する。	69
付属のワイヤレスリモコンが働かない。	•メニューの「リモコン」を「切」にしている。	•「入」にする。	98
	•リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がある。	•障害物を取り除く。	ー
	•リモコンの乾電池の⊕極と⊖極が、正しく入っていない。	•⊕極と⊖極を正しく入れる。	175
	•乾電池そのものの寿命。	•新しい乾電池に交換する。	175
外部入力しているのに液晶画面やファインダーに画像が映らない。	メニューの「画面表示」が「ビデオ出力／パネル」になっている。	「パネル」にする。	98

その他

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
ACアダプター/チャージャーで充電できない。	ACアダプター/チャージャーのモード切換スイッチが「ビデオ/カメラ」側になっている。	「充電」側にする。	8
バッテリー充電中に充電ランプが点滅する。または充電異常が表示される。	•バッテリーが正しく取り付けられていない。 •バッテリーが故障している。	•正しく取り付ける。 •テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。	8 —
電源が入っているのに操作できない。	—	バッテリーまたはACアダプター/チャージャーのDKケーブルを取りはずし、約1分後再びバッテリーまたはACアダプター/チャージャーのDKケーブルを取り付け電源を入れる。それでも操作できないときは、RESET(リセット)ボタンを先のとがったもので押す。(この操作をすると日時を含めすべての設定が解除されます。)	11、12、174
本体に取り付けたバッテリーを充電中、CHARGE(充電)ランプが点灯していない。	•ACアダプター/チャージャーのモード切換スイッチが、「充電」側になっている。 •充電が完了している。 •バッテリーが正しく取り付けられていない。	•「ビデオ/カメラ」側にする。 — •正しく取り付ける。	166 166 11
本体に取り付けたバッテリーを充電できない。	本機の電源スイッチが「切(充電)」になっていない。	電源スイッチを「切(充電)」にする。	166
本機に取り付けたバッテリーを充電中にCHARGE(充電)ランプが点滅する。	•バッテリーが正しく取り付けられていない。 •バッテリーが故障している。	•正しく取り付ける •テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。	167 —
おしらせブザーが5秒間鳴りつづける。	•結露している。 •本機に異常が発生している。	•カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。 •カセットを入れ直し、再度操作し直す。	169 —

その他

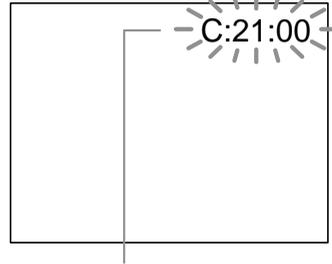
こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
タッチパネルのボタンが表示されていない。	画面表示／タッチパネルボタンを押した。	•液晶画面を軽く押す。 •本機の画面表示/タッチパネルボタンまたはリモコンの画面表示ボタンを押す。	ー 30
タッチパネルのボタンが働かない。	—	画面を調節（キャリブレーション）する。	171
ファインダー内の文字が反転する。	対面撮影時におこる現象で、故障ではありません。（出力したモニターでも反転しますが故障ではありません。）	ー	20
USB**接続ができない。**	USBドライバのインストールが完了する前にUSBケーブルを接続した。	正しく認識されなかったドライバを削除してから、USBドライバをインストールする。	137
カセットぶたを開けてもテープが出てこない。	本機が結露しかけている。	ー	169

自己診断表示 – アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。

これは本機が正しく動作していないときに、液晶画面またはファインダーにアルファベットと数字の5桁の表示でお知らせする機能です。表示によって、本機の状態がわかるようになっています。

詳しくは以下の表をご覧になり、各表示に合った対応をしてください。表示の末尾2桁（□□）の数字は、本機の状態によって変わります。

液晶画面またはファインダー

自己診断表示
「C:□□:□□」：
お客様自身で正常に戻せる状態
「E:□□:□□」：
テクニカルインフォメーションセンターに相談していただく状態

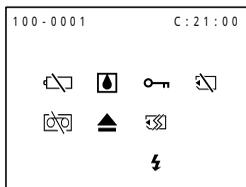
表示	原因	対応の仕方	参照ページ
C:04:□□	“インフォリチウム”以外のバッテリーを使用している。	“インフォリチウム”バッテリーをご使用ください。	9、164
C:21:□□	結露している。	カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	169
C:22:□□	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	169
C:31:□□ C:32:□□	お客様自身で対応できる上記以外の状態になっている。	• カセットを入れ直し、再度操作し直す。 • 電源を一度取りはずし、取りつけ直してから再度操作し直す。	– –
E:61:□□ E:62:□□	お客様自身で対応できない状態になっている。	テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。その際は、表示の5桁すべてをお知らせください。 例：E:61:10	–

お客様自身で対応できる場合でも、2、3度繰り返しても正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

警告表示とお知らせメッセージ

液晶画面またはファインダーには、次のような表示が出ます。

詳しい説明は、（　）内のページにあります。

警告表示

100−0001 ファイル関連の警告
遅い点滅
- ファイルが壊れている
- 扱えないファイル
- 動画ファイルをメモリーミックスしようとした（123ページ）

C:21:00 自己診断表示（159ページ）

バッテリー残量に関する警告
遅い点滅
- バッテリー残量が少ない
  使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約5分から10分でも警告表示が点滅することがあります。

結露の警告*
速い点滅
- テープが結露している
  テープを取り出し、電源をはずしてカセット入れを開けたまま約1時間放置する（169ページ）

“ メモリースティック ”関連の警告*
遅い点滅
- “ メモリースティック ”が入っていない

速い点滅
- 認識できない“ メモリースティック ”が入っている（106ページ）
- 取り込めない画像を記録しようとした（119、122ページ）

“ メモリースティック ”フォーマット関連の警告*
速い点滅
- “ メモリースティック ”が壊れている（106ページ）
- “ メモリースティック ”が正しくフォーマットされていない（103ページ）

テープ関連の警告
遅い点滅
- テープ残量が5分を切った
- テープが入っていない*
- テープが誤消去防止状態になっている*（15ページ）

速い点滅
- テープが終わっている*

テープを取り出す必要がある警告*
遅い点滅
- テープが誤消去防止状態になっている（15ページ）

速い点滅
- 結露している（169ページ）
- テープが終わっている
- 自己診断表示が出ている（159ページ）

画像プロテクトの警告*
遅い点滅
- 画像が消去できないようになっている（146ページ）

フラッシュ（別売り）関連の警告
遅い点滅
- 充電中

速い点滅
- 別売りのフラッシュに異常がある

* 警告表示/お知らせメッセージが出るときに、「おしらせブザー」が鳴ります。

お知らせメッセージ

警告表示とともに、以下のお知らせメッセージが出ます。
メッセージにしたがって操作してください。

- バッテリーを取りかえてください（11ページ）
- このバッテリーは古くなりました　取りかえてください（11ページ）
- “インフォリチウム”バッテリーをつかってください（9ページ）
- テープが終わっています*
- カセットを入れてください*
- カセットの誤消去防止ツマミを確認してください*（15ページ）
- メニューで日付　時刻をあわせてください（13ページ）
- ⊗ヘッドが汚れています／ クリーニングカセットをつかってください（169ページ）
- 結露しています　カセットを取りだしてください*（169ページ）
（テープが入っていないとき、メッセージは「結露しています」になります。）
- ダビングプロテクトされています　録画できません*（162ページ）
- 音声モードがちがいます　確認してください*（104ページ）
- 録画モードがちがいます　確認してください*（104ページ）
- テープを確認してください*（86ページ）
- “i. LINK”ケーブルをぬいてください*（86ページ）
- カセットメモリー付きカセットに入れかえてください*
- カセットメモリーがいっぱいです*（90ページ）
- メモリースティックを確認してください*（118ページ）
- メモリーフル（129ページ）
- メモリースティックに録画できません［音声エラー］*（121ページ）
- メモリースティックのメモリーがいっぱいです*（116ページ）
- メモリースティックの誤消去防止ツマミを確認してください*（106ページ）
- ファイルがありません*（130ページ）
- メモリースティックを入れてください*
- メモリースティック エラー*（107ページ）
- フォーマット中です*
- 全消去中です*
- メモリースティック フォーマットエラー*（103ページ）
- メモリースティック ディレクトリエラー*（130ページ）
- 充電中です*

* 警告表示／お知らせメッセージが出るときに、「おしらせブザー」が鳴ります。

ビデオカセットについて

使えるビデオカセット

本機はDV方式のビデオカメラレコーダーです。本機には、ミニDVカセットのみ使えます。Mini DVマークのついたカセットをお使いください。*

8、Hi8方式や、VHS、VHS C、S VHS、S VHS C、β、ED Beta、DV、D方式のビデオカセットは使えません。

* ミニDVカセットには、カセットメモリー付きのものと、カセットメモリーなしのものがあります。カセットメモリー付きカセットにはCM（Cassette Memory）マークが付いています。本機ではカセットメモリー付きのものを推奨しています。

カセットメモリー付きのカセットは、カセット自体にICメモリーを内蔵しています。本機はこのICメモリーを利用して、画像情報（録画日時､タイトルなど）を書き込んだり、呼び出したりします。
カセットメモリー機能は、テープ上に記録された信号を基準にして動作します。テープの始めや途中に1度無記録部分を作ると、信号が不連続になり、タイトルが間違って表示されたり、サーチが誤動作することがあります。無記録部分を作らないために、下記の操作を行ってください。

撮影の途中でテープを出し入れしたり、ビデオモードで再生した場合には、次の撮影の前にエンドサーチボタンを押し、撮影終了位置に戻す。

無記録部があったり、テープ上の信号が不連続なものは、左記の点に注意して新たにテープの最初から最後まで撮影すれば、カセットメモリー機能を正しくお使いいただけます。
カセットメモリー機能付きデジタルビデオカメラレコーダーで録画したテープの上に、機能なしカメラレコーダーで録画したときも同じ症状が出ることがあります。

著作権保護信号について

再生するとき

本機で再生されるカセットに著作権保護のための信号が記録されている場合には、他機をつないで本機の画像を記録するとき、記録が制限されることがあります。

記録するとき

著作権保護のための信号が記録されている映像音声は本機で記録することはできません。
このような映像音声を記録しようとすると液晶画面またはファインダーに「ダビングプロテクトされています 録画できません」の表示が現れます。

なお、ビデオカメラで撮影した画像には、著作権保護のための信号は記録されません。

カセットのCM 4K マークについて
この表示は、このカセットで4キロビットまでメモリーができることを示します。なお、本機は16キロビットのカセット（CM16K マークが本体正面についています）まで対応しています。

これらは商標です。

Mini DV Digital Video Cassette
ミニDVカセットのマークです。

CM Cassette Memory
カセットメモリーのマークです。

音声多重記録テープを再生するとき

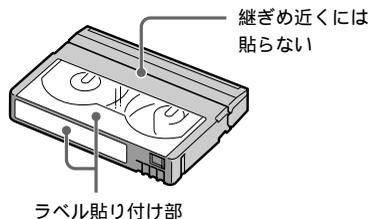
ステレオ音声で二重音声を記録したテープを再生するときは、下の表のように必要に応じてメニューの「バイリンガル」を設定してください。（101ページ）

メニューの「バイリンガル」の設定	再生される音声	
	ステレオを記録したテープ	二重音声を記録したテープ
「切」にする	ステレオ音声	主音声＋副音声
「メイン」にする	左音声	主音声
「サブ」にする	右音声	副音声

本機では二重音声は記録できません。

ミニDVカセットについてのご注意

ラベルは指定の位置に

カセットにラベルを貼るときは、指定の位置に正しくお貼りください。故障の原因になります。

ミニDVカセットの使用後は

ご使用後は必ずテープを巻き戻してください。（画像や音声が乱れる原因となります。）巻き戻したテープはケースに入れ、立てて保管してください。

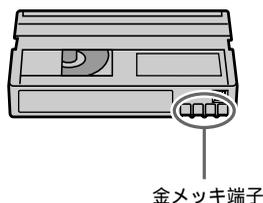
カセットメモリー機能が働かないときは

カセットを入れ直してください。金メッキ端子にゴミなどが付着して機能が働かないことがあります。

金メッキ端子のお手入れ

カセットの金メッキ端子が汚れたり、ゴミが付着したりすると、テープ残量表示などが正しく表示されなかったり、カセットメモリーを使う機能などが正しく働かないことがあります。

カセットの取り出し回数10回を目安にして、綿棒でカセットの金メッキ端子をクリーニングしてください。

その他

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは？

“インフォリチウム”バッテリーは、本機や別売りACアダプター/チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。

“インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。別売りACアダプター/チャージャーを使用すると、使用可能時間や充電終了時間も計算して表示します。

充電について

- 本機をご使用になる前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10～30℃の範囲で、充電ランプが消える（満充電）まで充電することをおすすめします。これ以外では効率のよい充電ができないことがあります。
- 充電終了後は、DKケーブルを本機のDC IN端子から抜くかバッテリーを取りはずしてください。

バッテリーの上手な使い方

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、寒いところではバッテリーを使用できる時間が短くなります。安心してより長い時間ご使用いただくために、次のことをおすすめします。
  - －バッテリーをポケットなどに入れて暖かくしておき、撮影の直前、本機に取りつける。
  - －高容量バッテリー「NP-FM70/FM90/FM91/QM70/QM91（別売り）」を使用する。
- 液晶画面の使用や再生/早送り/巻戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。高容量バッテリー「NP-FM70/FM90/FM91/QM70/QM91（別売り）」のご使用をおすすめします。
- 本機で撮影または再生中は、こまめに電源スイッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などに濡らさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再度満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし長時間高温で使用したり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安としてお使いください。
- バッテリー残量時間が約5～10分でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告するマークが点滅することがあります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってから湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、カセットを入れずに電源が切れるまで撮影状態にしてください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

i.LINK（アイリンク）について

本機のDV端子はi.LINKに準拠したDV入力/出力端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

i.LINKとは？

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。

i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。

複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。

ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

ご注意

i.LINKケーブル（DVケーブル）で本機と接続できる機器は通常１台だけです。複数接続できるDV対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

i.LINK（アイリンク）はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。

IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、以下の3種類があります。

S100（最大転送速度　約100Mbps*）
S200（最大転送速度　約200Mbps）
S400（最大転送速度　約400Mbps）

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。

本機のように特に転送速度の記載がされていない機器の最大転送速度は「S100」です。

最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbpsとは？
「Mega bits per second」の略で「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。
100Mbpsならば
100メガビットのデータを送ることができます。

本機でのi.LINK操作は

他のDV端子付きビデオとつないでダビングする方法については67、82ページをご覧ください。

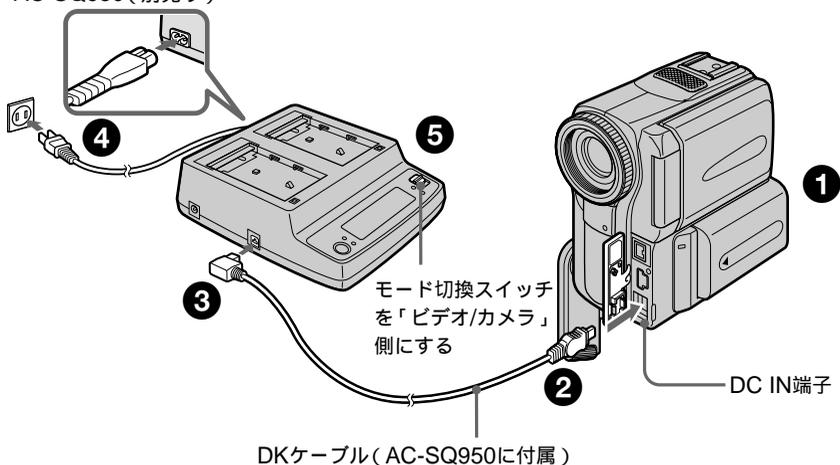
また、本機はビデオ機器以外のソニー製i.LINK（DV）対応機器（パーソナルコンピュータVAIOシリーズなど）とも接続してご使用になれます。

接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションソフトの有無などについては、接続する機器の取扱説明書を合わせてご覧ください。

必要なi.LINKケーブル

ソニーのi.LINKケーブルをお使いください
4ピン←→4ピン（DVダビング時）

本体に取り付けたバッテリーを充電する

本機に取り付けたバッテリーを充電することができます。（本体内充電）

ご注意

ACアダプター/チャージャーに接続したDKケーブルを金属類でショートさせせないでください。故障の原因になります。

本体内充電中は

ACアダプター/チャージャーに取り付けたバッテリーは充電されません。

❶ **バッテリーを本機に取り付ける。（11ページ）**

❷ **端子カバーを開け、DKケーブルを▲マークをホールドグリップ側にして、本機のDC IN端子につなぐ。**

❸ **DKケーブルをACアダプター/チャージャーにつなぐ。**

❹ **電源コードをACアダプター/チャージャーとコンセントにつなぐ。**

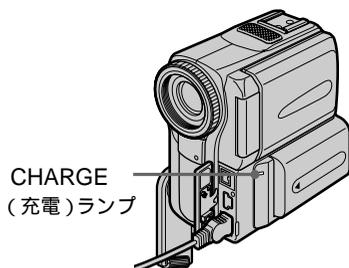
❺ **ACアダプター/チャージャーのモード切換スイッチを「ビデオ/カメラ」側にする。**

充電中のCHARGE（充電）ランプについて

以下の場合、点滅することがあります。

- バッテリーが正しく取り付けられていない。
- バッテリーが故障している。

❻ 本機の電源スイッチを「切（充電）」にする。

充電が始まると、CHARGE（充電）ランプが点灯し、終わるとランプは消える（**満充電**）。

❼ DKケーブルを本機から取りはずす。

バッテリーの充電が終わったら、DKケーブルを本機のDC IN端子から取りはずしてください。

充電時間

バッテリー	満充電時間
NP-FM50	150
NP-FM70/QM70	240
NP-FM90	330
NP-FM91/QM91	360

使い切ったバッテリーを25℃で充電したときの時間（約　分）。

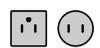
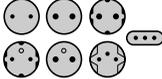
海外で使う

本機は外国でもお使いになれます

別売りのACアダプター／チャージャーAC-SQ950**は、**AC100V〜240V・50/60Hz**の広範囲な電源でお使いいただけます。**

また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国または地域では、**電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。**

電子式変圧式（トラベルコンバーター）はご使用にならないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	主に北米、南米など	主にヨーロッパなど
使用する変換アダプター	**不要です。** ACパワーアダプターのプラグを直接差し込みます。	

再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC**）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）および接続ケーブルが必要です。**

日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国または地域（五十音順）

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- スリナム
- セントルシア
- 大韓民国
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバコ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- バミューダ
- バルバドス
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- 米領サモア
- ボリビア
- ホンジュラス
- ミクロネシア
- ミャンマー
- メキシコ

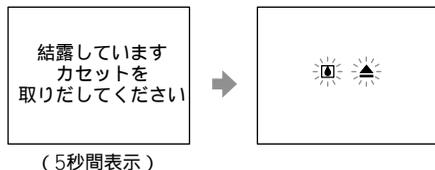
時差補正機能について

海外でお使いになるときはメニューで「時差補正」を選べば、時差を設定するだけで時刻を現地時間に合わせることができます。詳しくは105ページをご覧ください。

お手入れ

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起こると、下のように警告表示が出ます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。

（5秒間表示）

結露が起きたときは

カセットは直ちに取り出してください。警告表示が出ている間は、開く/⏏カセット取出しつまみ以外は働きません。
電源を切ってカセット入れを開けたまま、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押しても⏏が点滅しなければ使用できます。

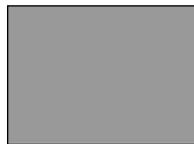
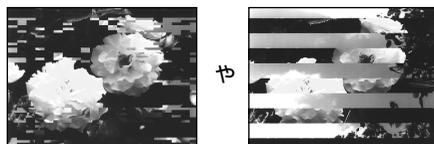
結露気味のときは、本機が結露を検出できないことがあります。このようなときは、カセットぶたを開けてから約10秒間カセットが出てこないことがありますが、故障ではありません。カセットが出てくるまでカセットぶたを閉めないでください。

ヘッドをきれいにする

ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかったり、ノイズの多い再生画像になったりします。
次のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットDVM-12CLDを10秒間使ってヘッドをきれいにしておきましょう。

- 再生画面に四角いノイズが出る。
- 再生画面の一部が動かない。
- 再生画像が出ない。
- 録画中に「⊗ヘッドが汚れています」と「クリーニングカセットをつかってください」の表示が交互に出る。

ビデオヘッドが汚れているときの画像

や

ビデオヘッドがさらに汚れると青一色の画面になります。このような画像になったら、クリーニングカセットをお使いください。

結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

ビデオヘッドは

長時間使用すると摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、付属の液晶クリーニングクロスを使ってきれいにすることをおすすめします。

別売りの液晶クリーニングキット（KK-LC1）を使用するときは、クリーニングリキッドを直接LCDパネルにかけず、必ずクリーニングペーパーに染み込ませてご使用ください。

レンズのお手入れおよび保管について

- レンズ面に指紋などがついたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使用したときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良いゴミやほこりの少ない場所に保管してください。

カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的におこなってください。またビデオカメラレコーダーを良好な状態で長期にわたってご使用いただくためにも、月に一回程度、ビデオカメラレコーダーの電源を入れて操作することをおすすめします。

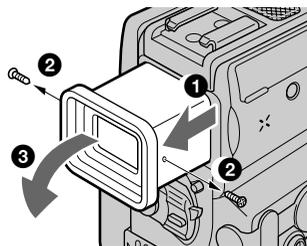
内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために充電式ボタン電池を内蔵しています。充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し3ヶ月近く全く使わないと完全に放電してしまいます。充電してからご使用ください。
ただし、充電式ボタン電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことはできます。

充電方法

本機を別売りのACアダプター／チャージャーを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源スイッチを「切（充電）」にして24時間以上放置する。

ファインダーをきれいにする

❶ 1. **ファインダーをのばす。**
2. **両側のねじを2本はずす。**
3. **アイカップをはずす。**

アイカップの軸を落としたり、曲げたり、ケガをしないようにご注意ください。

❷ **アイカップの内側、ファインダー内部のゴミを、カメラ用のブロワーブラシなどで取り除く。**

❸ **❶と逆の動作でアイカップを取り付ける。**

画面調節（キャリブレーション）について

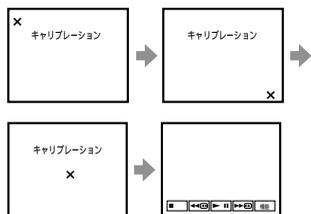
タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンにずれが生じることがあります。このような症状になったときは、次の操作を行ってください。

❶ 電源スイッチを「切（充電）」にする。

❷ テープを取り出して、接続ケーブル類をはずす。

❸ 本体の画面表示／タッチパネルボタンを押しながら、電源スイッチを「ビデオ」にする。その後約5秒間画面表示／タッチパネルボタンを押し続ける。

❹ “メモリースティック”の角などを使って

1. **画面左上の×マークを押す。**
2. **画面右下の×マークを押す。**
3. **画面中央の×マークを押す。**

正しい位置を押さなかった場合、左上からやり直しになります。

その他

主な仕様

システム

録画方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン
録音方式	回転2ヘッド 12ビット32kHz（ステレオ1、ステレオ2） 16ビット48kHz（ステレオ）
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
使用可能カセット	Mini DVマークのついたミニDVカセット
テープ速度	SP：約18.81mm/秒 LP：約12.56mm/秒
録画/再生時間	SP：60分（DVM60使用時） LP：90分（DVM60使用時）
早送り、巻き戻し時間	バッテリー使用時： 約2分30秒（DVM60使用時） ACアダプター使用時： 約1分45秒（DVM60使用時）
ファインダー 総ドット数	電子ファインダー：カラー 180 000ドット 横800×縦225
撮像素子	4.5mm（1/4型）CCD固体撮像素子 約68万画素（有効画素数：約34万画素）
ズームレンズ	カール ツァイス 10倍（光学）、120倍（デジタル） f=3.3〜33mm （35mmカメラ換算では42〜420mm） F1.7〜2.2 フィルター径30mm
色温度切り換え	オート、 ホールド、 屋内（3 200K）、 屋外（5 800K）
最低被写体照度	11ルクス（F1.7） 0ルクス（NIGHTSHOT時）

入・出力端子

S1映像端子	入力／出力自動切り換え Y出力　1Vp-p 75Ω不平衡、同期負 C出力　0.286Vp-p 75Ω不平衡
映像音声端子	AVミニジャック 入力／出力自動切り換え 映像：1 Vp-p、75 Ω不平衡、同期負 音声：327mV（47 kΩ負荷時）、出力インピーダンス2.2 kΩ 入力インピーダンス47 kΩ以上
ヘッドホン端子	ステレオミニジャック（Ø3.5）
USB端子	mini-B
LANC端子	ステレオミニミニジャック（Ø2.5）
マイク入力端子	ステレオミニジャック（Ø3.5）
i.DV端子	i.LINK（IEEE1394．4ピン特殊コネクターS100）

液晶画面

画面サイズ	6.2cm（2.5型）
総ドット数	211 200ドット 横960×縦220

電源部、その他

電源電圧	バッテリー端子入力7.2V DV端子入力8.4V
消費電力（バッテリー使用時）	2.7W （ファインダー使用時、明るさ標準） 3.5W （液晶画面使用時、明るさ標準）
動作温度	0℃〜+40℃
保存温度	–20℃〜+60℃
外形寸法 （最大突起部を除く）	58×104×97mm （幅×高さ×奥行き）
本体質量	約 490g（本体のみ）
撮影時総質量*	約 590g * バッテリーNP-FM50、テープ（DVM60）、レンズキャップ含む。
付属品	レンズキャップ（1） ワイヤレスリモコン（1） 単3形乾電池（リモコン用）（2） AV接続ケーブル（1） バッテリー端子カバー（1） クリーニングクロス（1） 取扱説明書（1） 安全のために（1） カスタマーご登録のお勧め（1） 保証書兼カスタマーご登録はがき（1） カスタマーご登録CD-ROM（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは
テクニカルインフォメーションセンター（本書の裏面参照）にご相談ください。

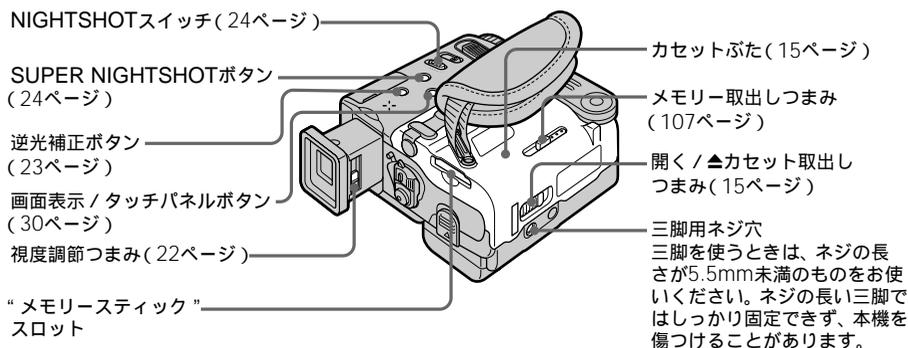
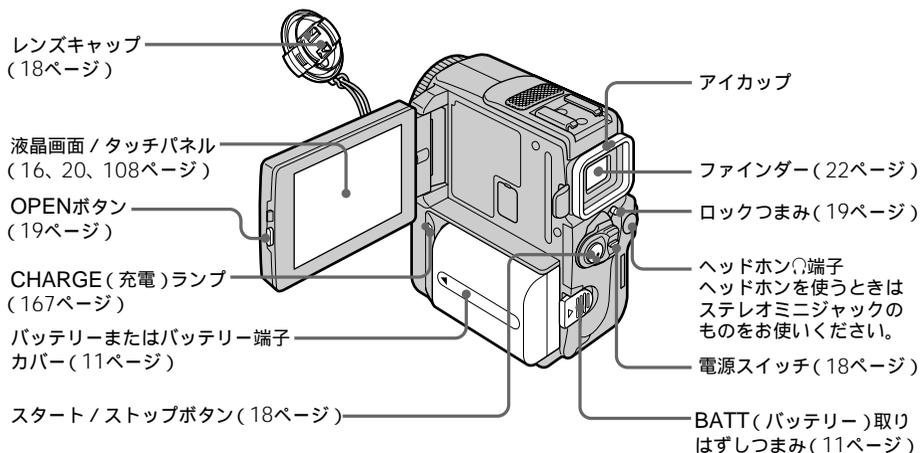
保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

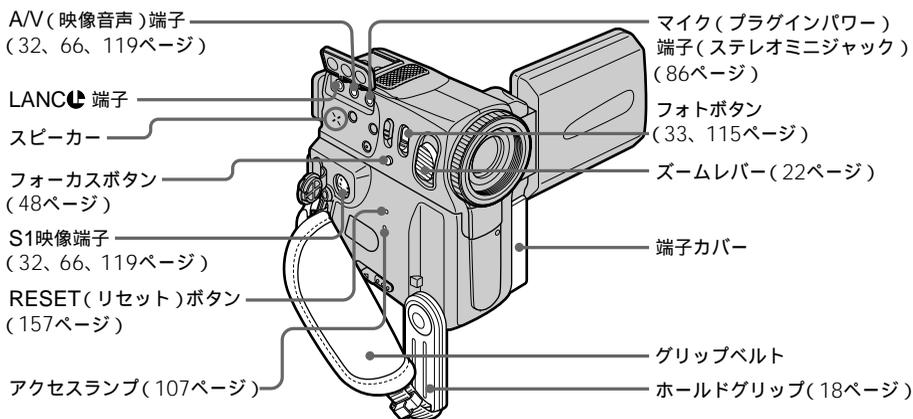
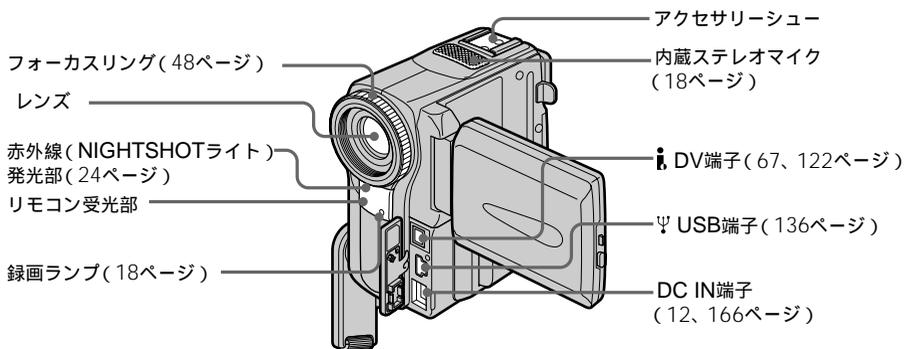
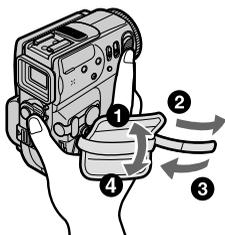
保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

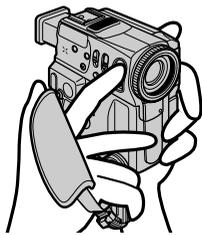
部品の保有期間について
当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

各部のなまえ

使いかたの説明は、(　)内のページにあります。

本体

この純正マークは、ソニー(株)のビデオ機器関連商品が純正製品であることを表すマークです。

ソニー(株)のビデオ機器をお求めの際は, 純正マークもしくはソニーロゴタイプが表示されているビデオ機器関連商品をご購入されることをおすすめします。

グリップベルトのしめ方

グリップベルトはしっかりとしめてください。

ホールドグリップのにぎり方

ホールドグリップをしっかりとにぎってください。

LANC（リモート）マークについて
は、LANC端子のマークです。LANC端子とは、ビデオ機器と周辺機器を接続し、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。

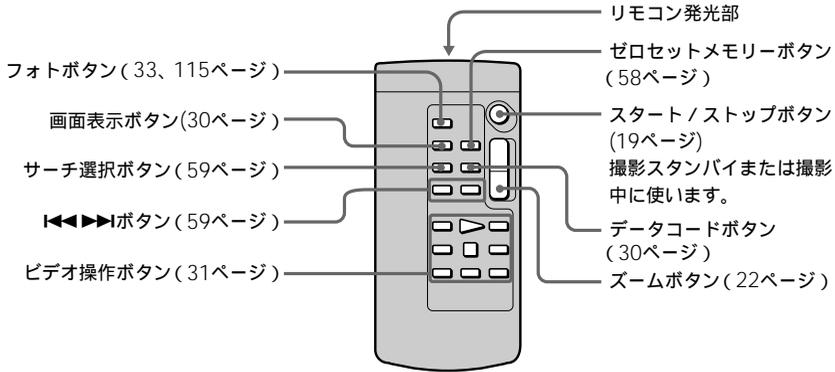
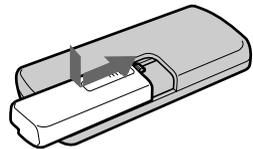
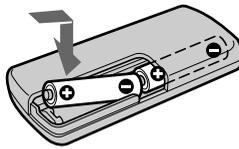
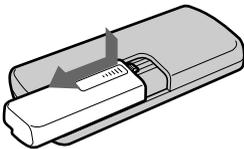
ヘッドホンを使うと
スピーカーから音は出ません。

別売りの外部マイクを使う場合
マイク(プラグインパワー)端子はプラグインパワー方式の外部マイク用電源端子とマイク入力端子が兼用になった端子です。

ワイヤレスリモコン

電池の入れかた

❶ 押しながらずらす。

❷ 入れる。

❸ 元に戻す。

リモコンについて

- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、他のビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをVTR2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

ファインダーと液晶画面の表示

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

ワ行

アルファベット順

カスタマー登録のご案内

電話のおかけ間違いにご注意ください。

ソニーではハンディカムをお買い上げの皆様へのサポートをより充実させていくため、お客様に「カスタマー登録」をお勧めしています。詳しくは同梱の「ハンディカム カスタマーご登録のお勧め」をご覧ください。

■カスタマー登録および登録内容の変更はこちらのホームページから
http://www.sony.co.jp/di-regi/

■カスタマー登録に関するお問い合わせは
ソニーマーケティング（株）カスタマー専用デスク
電話： 03-5977-7255
受付時間：月～金曜日　午前10時～午後6時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

お問い合わせ窓口のご案内

電話のおかけ間違いにご注意ください。

■ デジタルイメージングカスタマーサポート
デジタルハンディカムとパソコンの接続方法や、最新サポート情報をご案内するホームページです。
http://www.sony.co.jp/support-di/

■ テクニカルインフォメーションセンター
ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談、および修理受付の窓口です。
電話： 0564-62-4979
受付時間： **月～金曜日　午前9時～午後5時**
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

ソニー株式会社
〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
● ナビダイヤル………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311
● Fax…………………………… 0466-31-2595
受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00

D-Imaging World（デジタルイメージングワールド）
ハンディカムやデジタルスチルカメラを楽しく使っていただくためのホームページです。
http://www.sony.co.jp/di-world/

http://www.sony.co.jp/

この説明書は再生紙を使用しています。

Printed in Japan

3 0 6 8 3 3 1 0 2